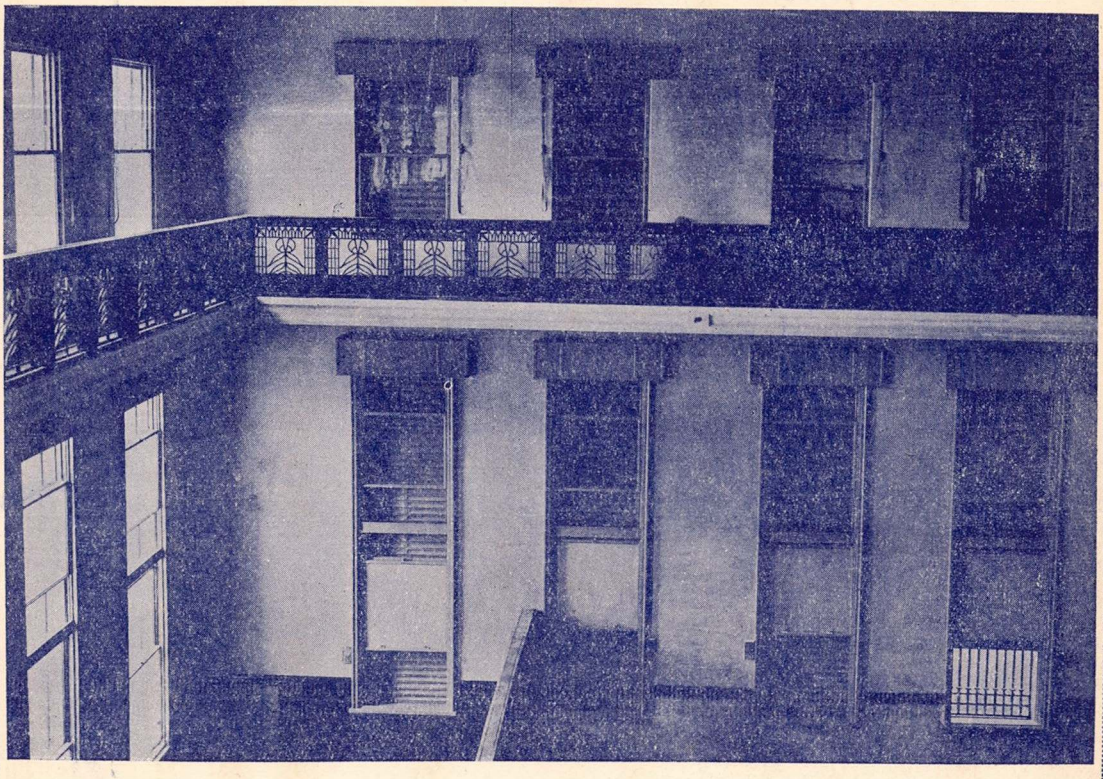
建築と社會

第十輯
第五號

日本建築協會
昭和三年五月一日

34 Ginkoo Namba S.ten.
Sekkei: Takeuti Kentikuzimusyo.
Sekoo: Osaka Hasimotogumi.

Shutter: Numasimasiki Kwanzen *Balance.*
Tyuunikai: Sotohimobiki.
Kaika: Utihimobiki.
Kayooni hosonagai mado no *Shutter* wa yosono *Spring* siki dewa dekinaiga, N.K.B. ni yoruto nanno mendoo mo naku, aketate wa hanahada hayaku, karuku, nameraka de arimasu.



Goomei Kwaisya Hanken Seisakusyo.
Oosakasi Konohanaku Okizima Kitanotyoo 11.
DENWA: TOSABORI 4020.

Dairiten {Mitui Bussan Kabusiki Kwaisya.
Sanki Koogyoo Kabusiki Kwaisya.

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

（特許大野式シヤッター）

這般の大震火災に於て兼て御定評を蒙り居り候日常開閉の至便、防火耐熱力優秀にして內外國同種類品中最も御安心相願はれ得可きものなることは左記事實に依り能く之を證明致候

一捲上ヶ戸の閉鎖が咄嗟の間に完全に行はれたること

一戸鈑の連鎖堅牢にして烈火に面したる場所に於ても戸鈑各個の脫落、鎖鎖の破壞を來したるものなかりしこと

一戸鈑と戸鈑との間、戸鈑と溝金との間、上方捲込口煙返し等の密着充分にして間隙を生じたるものなく能く火炎熱風の浸入を阻止し防火の效を奏したること

以上數多の實蹟に徵し更に一段の注意を拂ひ御期待に副ひ可申確信の下に努力罷在候處幸ひ御承認を辱ふし他製品取換の御注文を始め有數建築物の復興工事新建築物防火設備等着々御採用を蒙り居候、何卒多少に拘らず御用命被仰付度奉希候

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地　電話高輪 二二三三 七七五五番

取付員詰所・大阪此花區上福島二中佐土堀二七二五番　電話

建築と社會　第拾壹輯　第五號　目次

卒業計畫

音樂學校……京都帝國大學本年度卒業計畫……中島活石君
演舞場……同……荒木正利君
共同住宅館……同……嵐田周男君
ダルトンシステムによる幼稚園　神戸高等工業學校本年度卒業計畫…岡田鴻記君
美術學校及び研究所……同……中川文雄君

巻頭

新版大阪圖繪……難波橋上より大阪府廳を眺む……若葉……一

建築の色彩

―〔漫畫〕―……本野精吾…五―一七

大阪の地盤と杭打基礎工事

―〔漫畫〕―……池田宮彦…一九―二七

建築と思想（一）

……八木幸次郎…二九―四三

▼微苦笑……三五
△習慣…△風致…△癈物…△博覽會

建築と社會ニュース

南大阪の郊外に理想的都市を？
四貫島に樂園
政岡氏の寄附で出來上る
法隆寺防火水道工事落成式
成長十年の『新しき村』
廣島大本營保護御下賜金
支那皇帝の椅子
阪急曾根に住宅地新設
新築の明治座
鐵道のお客調べ

◇建設へ　建設へ◇

宮城内の工事



▽住宅笑話……

二次率一様ならざる柱を有する小屋組の解法

大阪橋本組設計部 工學士 石井勇

(3)4 三九—五九

▼新刊紹介……五九

▼編輯後記……六〇

═{卒業計畫}═

浴場計畫模型……京都高等工藝學校本年度卒業計畫……清水義文君

ポスター……同……白井成一君

アパートメントの草案……同……木本和一君

壁懸……同……神笠繁夫君

陳列室の裝飾……同……楠原宗一君

ポスター……同……植村俊郎君

舞臺面……同……矢野誠之君

壁懸……同……

絶對映畫……同……西村進君

ごん底……同……竹内勝君

▼社團法人日本建築協會々報……

新東京市廳

百萬圓突破の大邸宅

日本一の本屋

木造說まで出た兩國驛改築

滿鮮隨一の安東驛中ホーム

新廣島縣廳

門司稅關上家建築工事

門司市廳改築

鐵道倉庫の新增築

◇

海外奇聞

パリーに栗林公園

ダンス場の大爆發

看板と飾窓とに稅金

小野田ポルトランドセメント

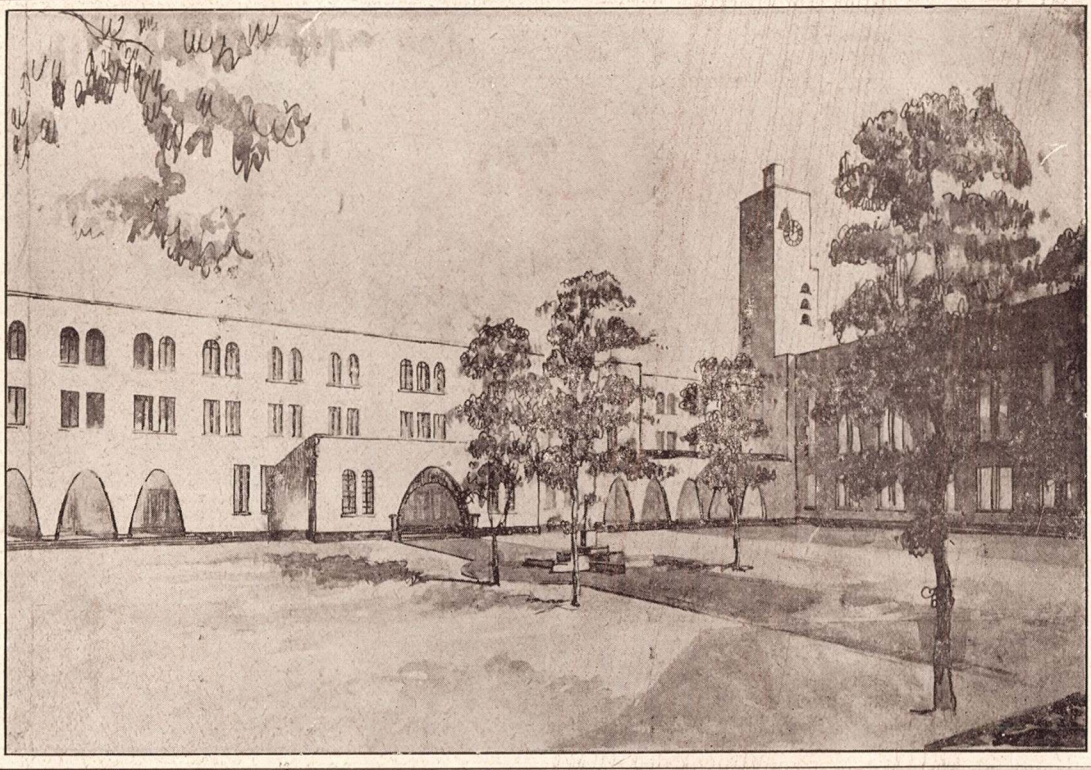
製品均齊・品質高級

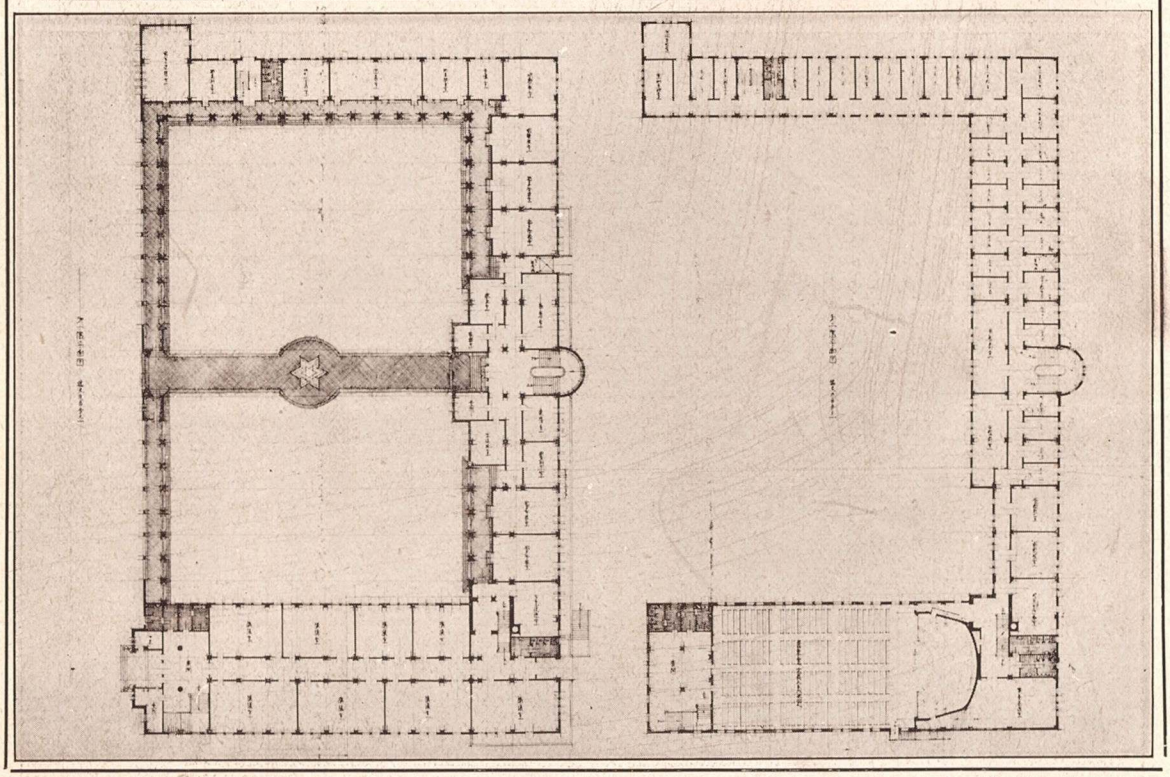
小野田白色ポルトランドセメント

東洋唯一・純白優良

製造元 小野田セメント製造株式會社

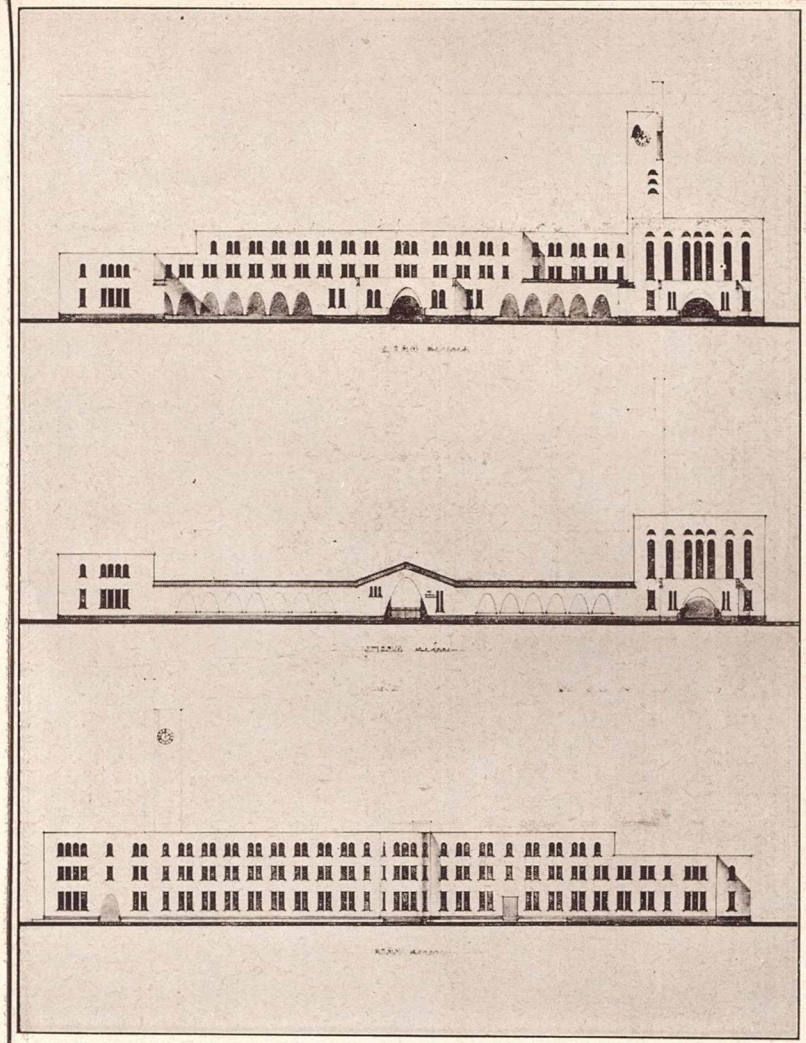
一手販賣 三井物産株式會社

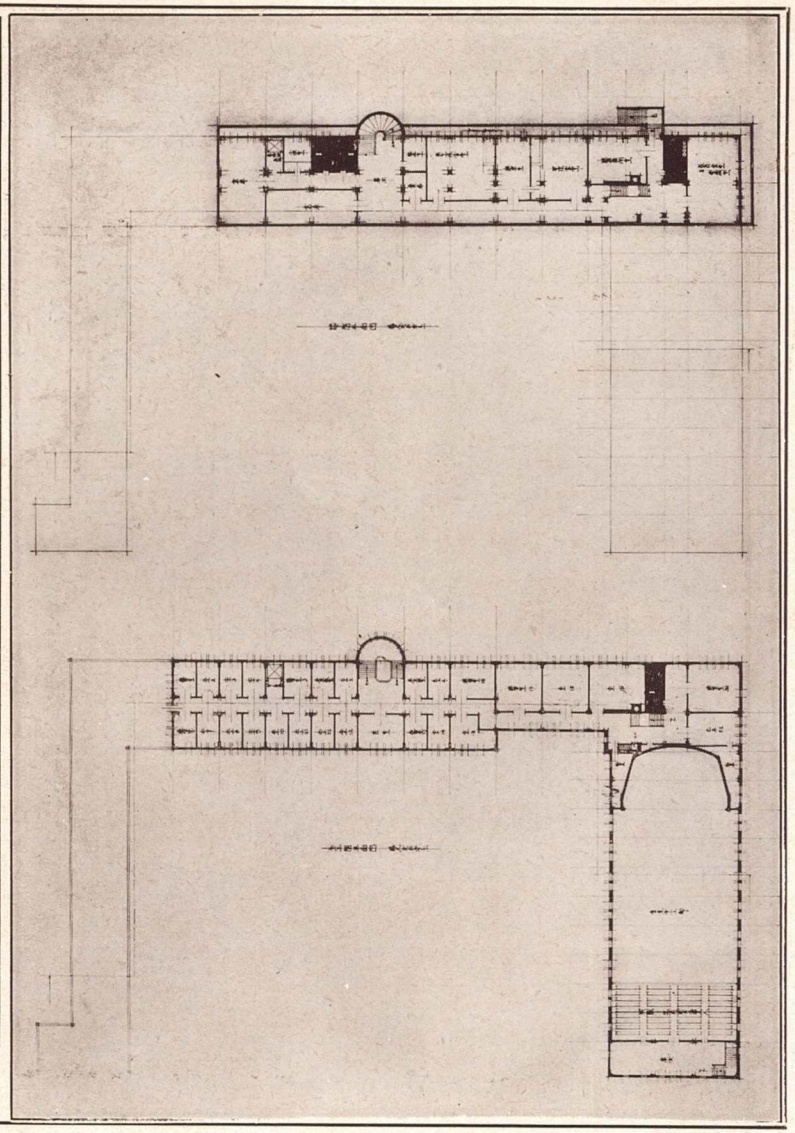




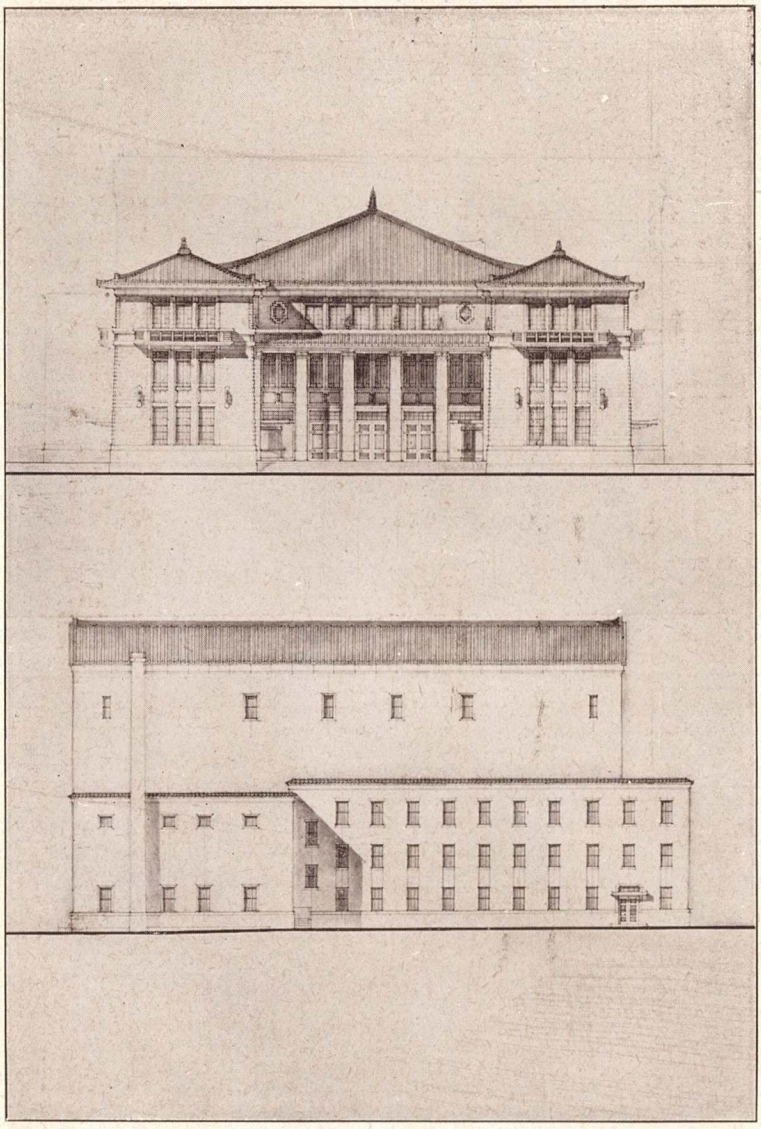
京都帝國大學本年度卒業計畫 • 中島活石君

音樂學校





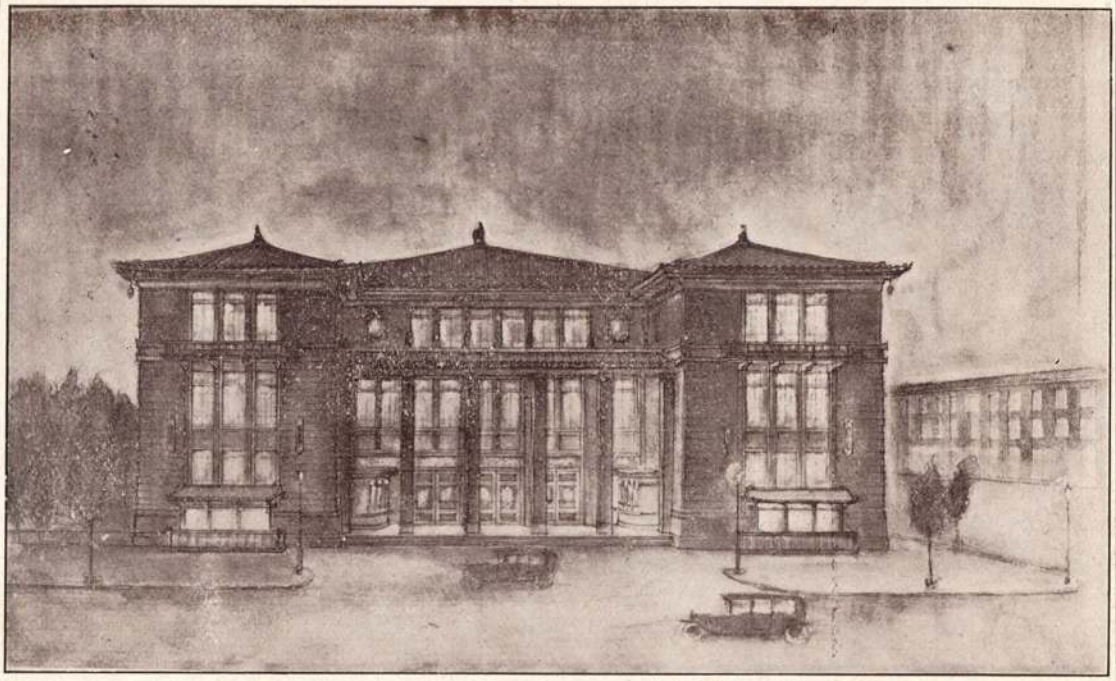
京都帝國大學本年度卒業計畫・中島活石君　　音樂學校

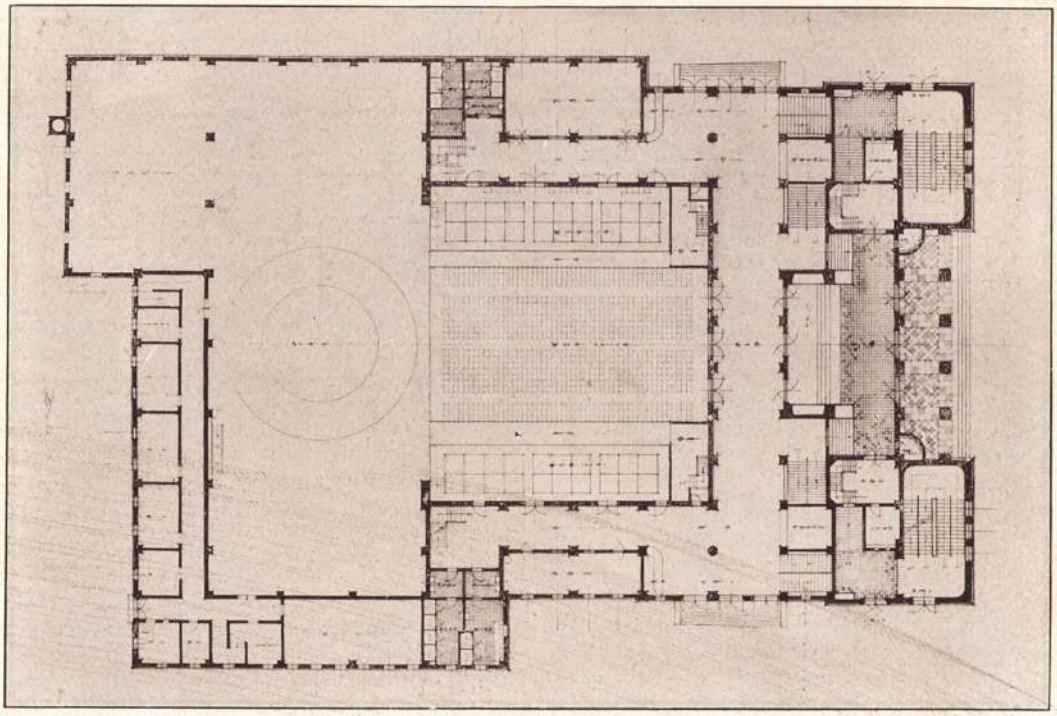


京都帝國大學本年度
卒業計畫

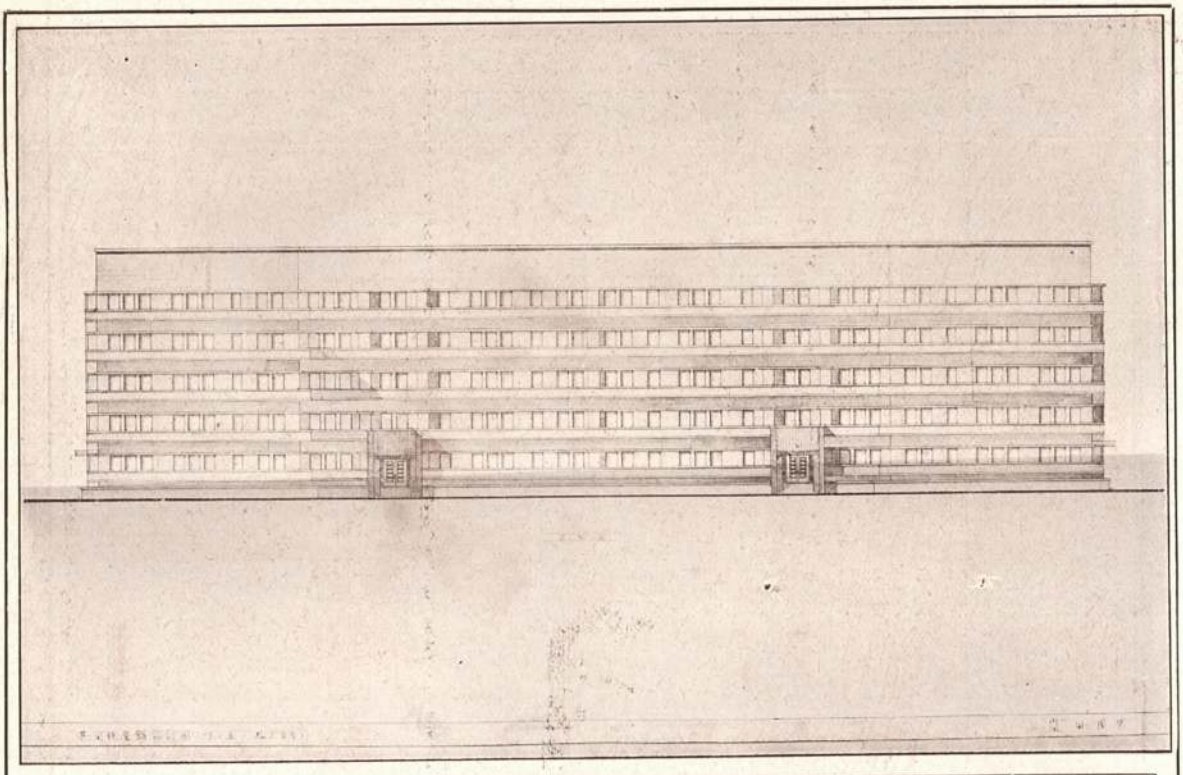
演舞場

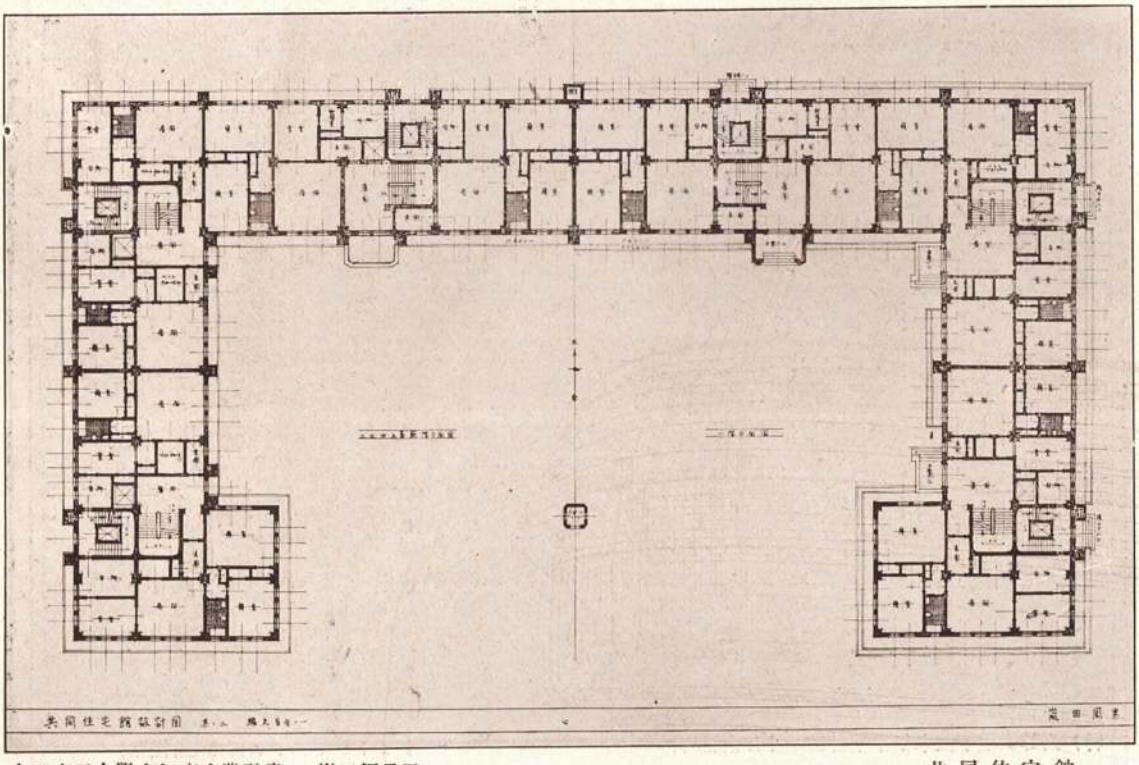
荒木正利君





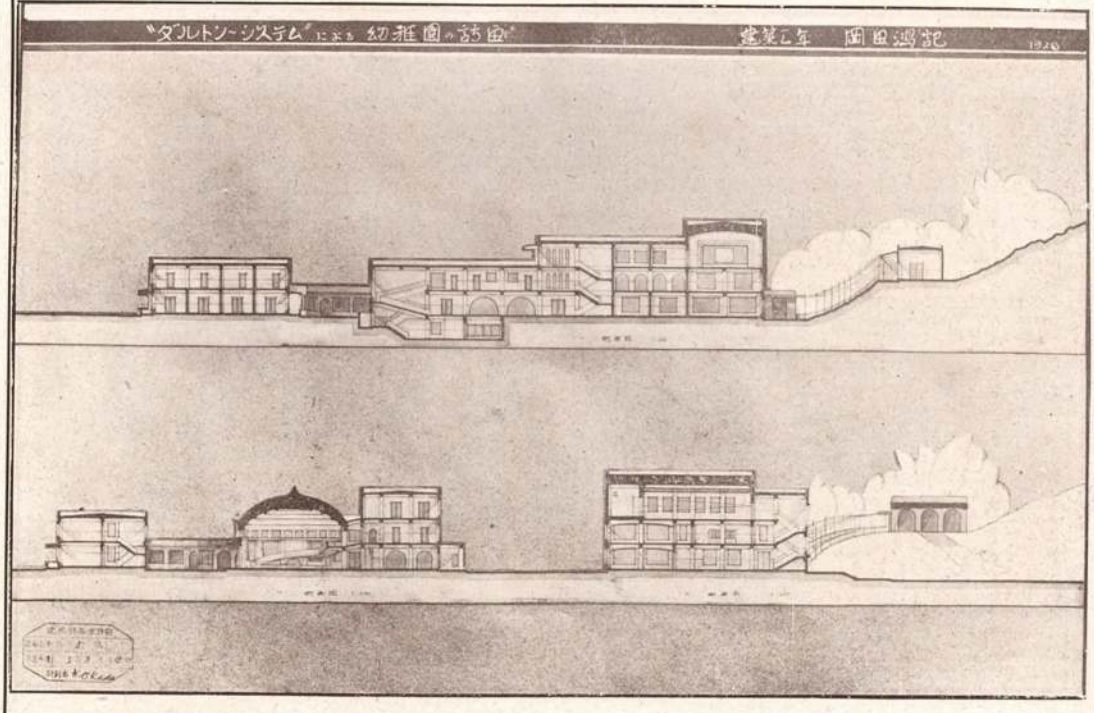
京都帝國大學本年度卒業計畫・荒木正利君　　演　舞　場



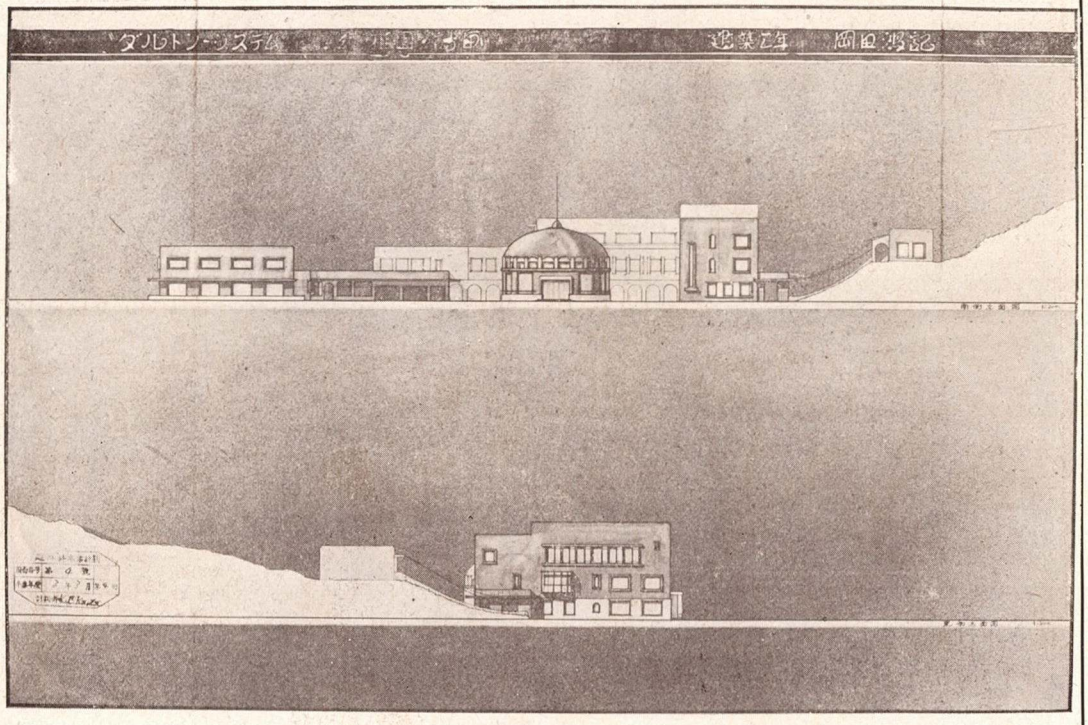


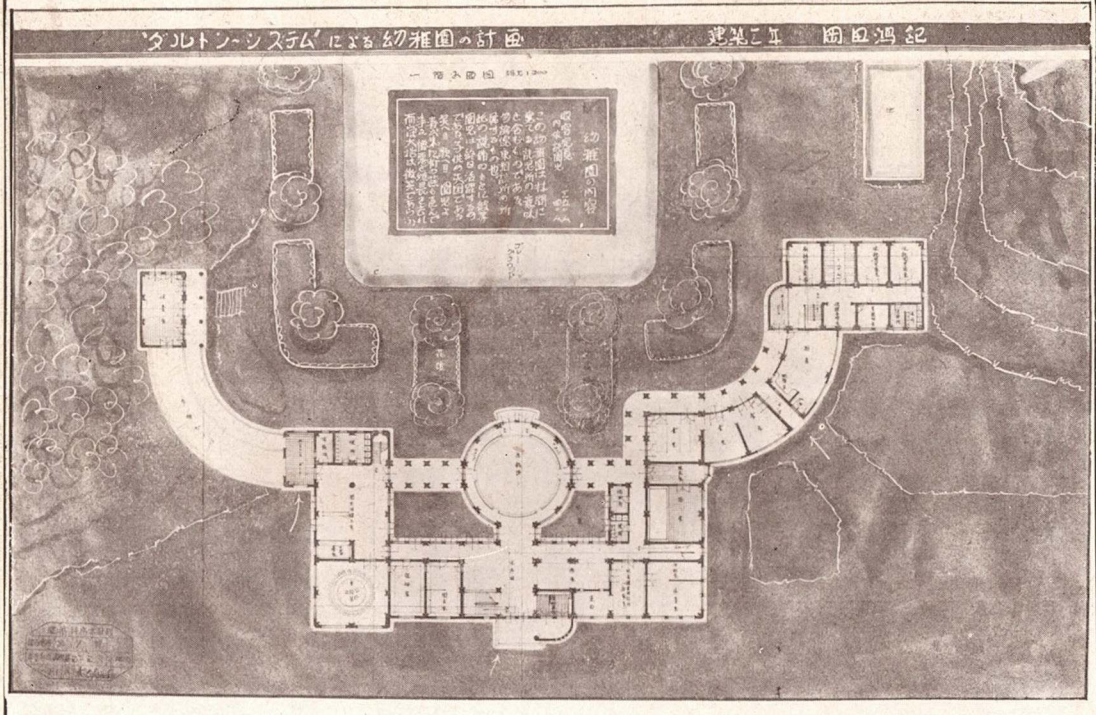
京都帝國大學本年度卒業計畫・嵐田周男君　　共同住宅館



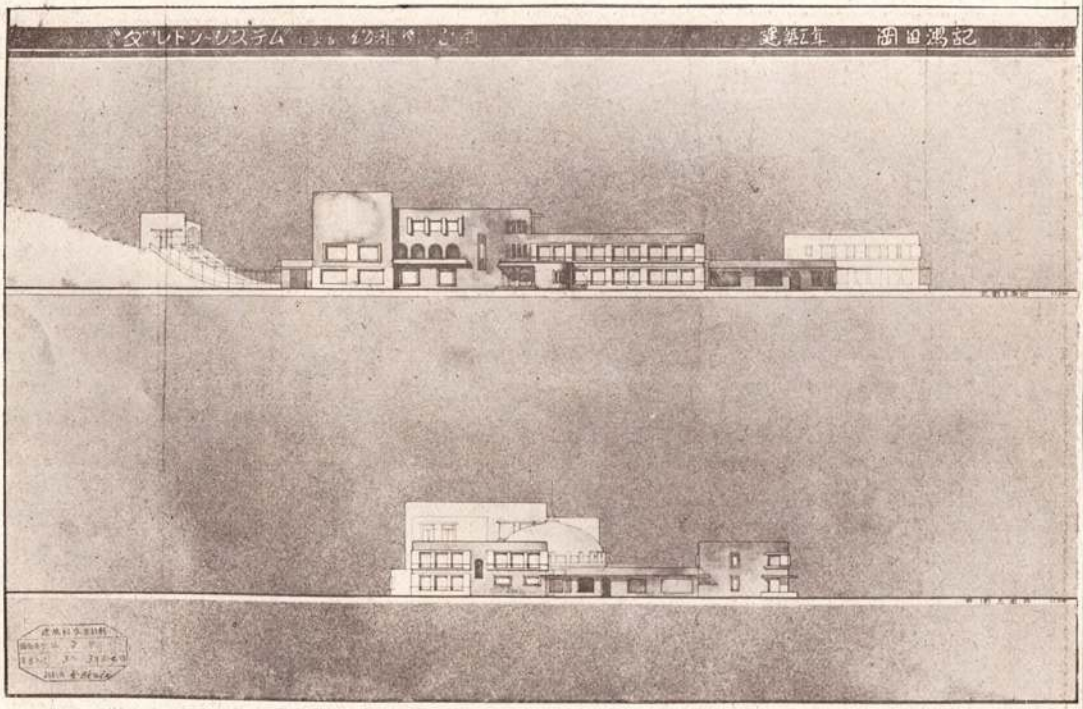


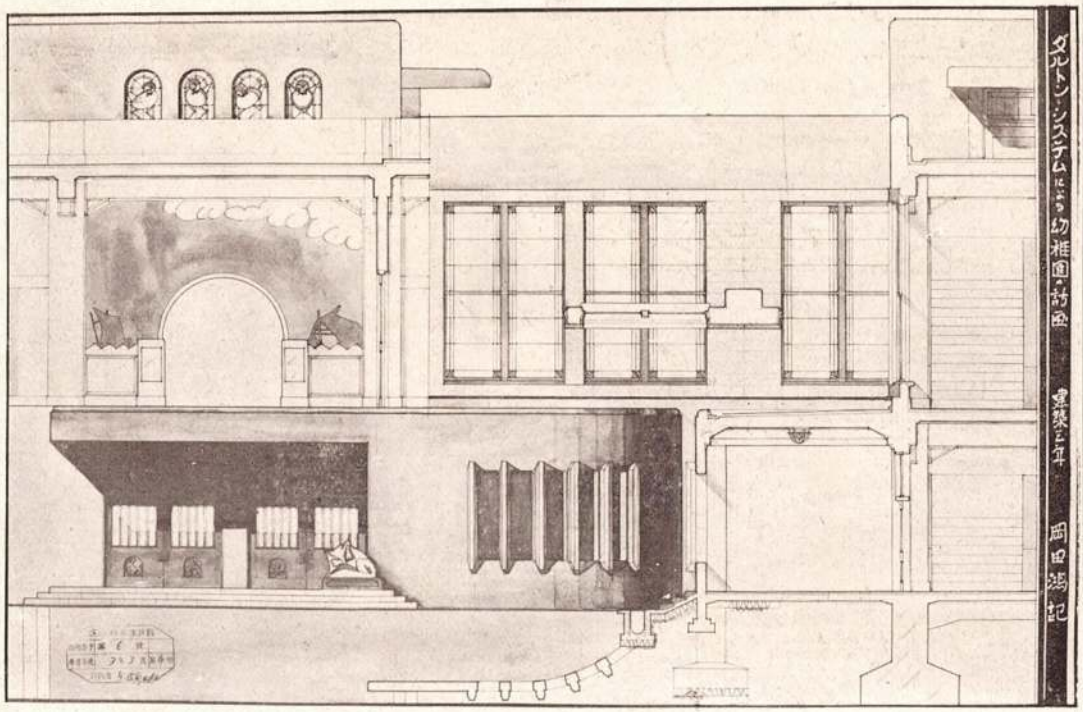
神戸高等工業學校本年卒業計畫・岡田鴻記君　　ダルトンシステムによる幼稚園





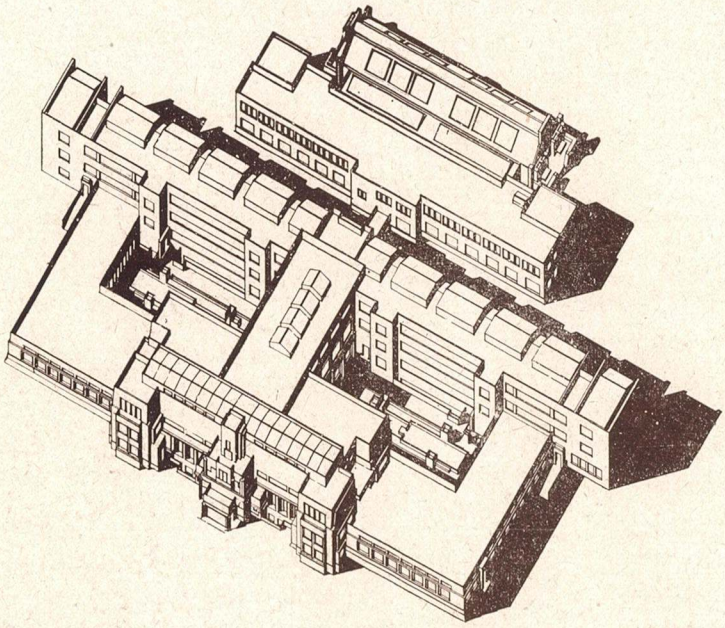
神戸高等工業學校本年卒業計畫・岡田鴻記君　　ダルトンシステムによる幼稚園





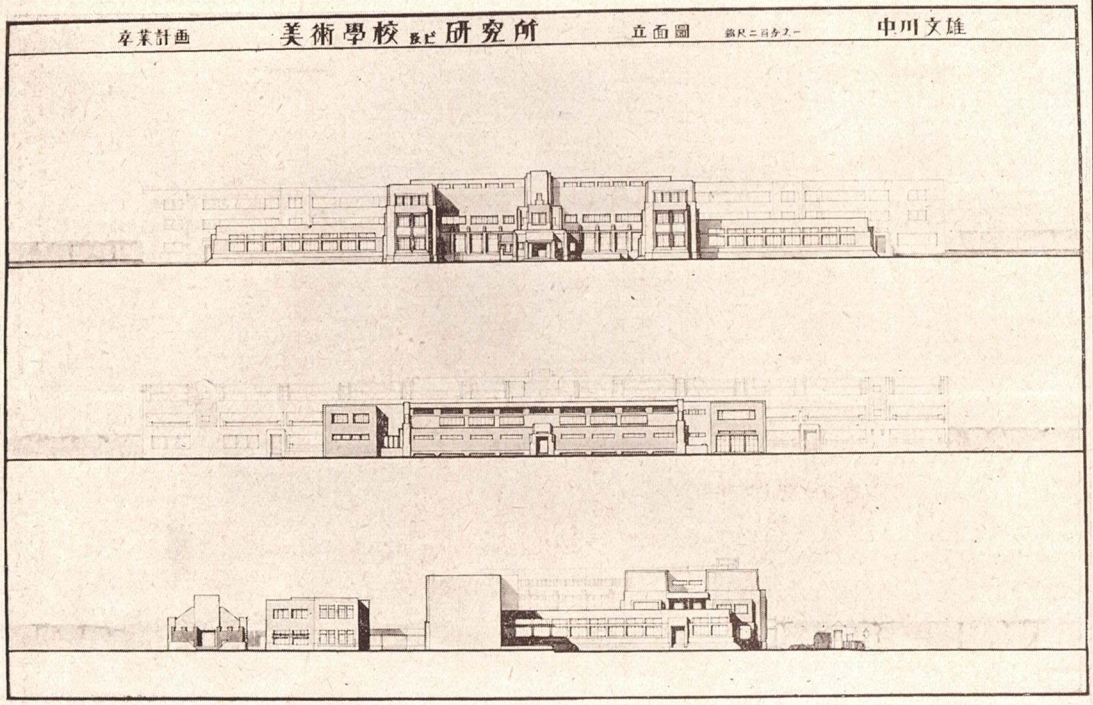
神戸高等工業學校本年卒業計畫・岡田鴻記君　　ダルトンシステムによる幼稚園

卒業計畫　美術學校及び研究所

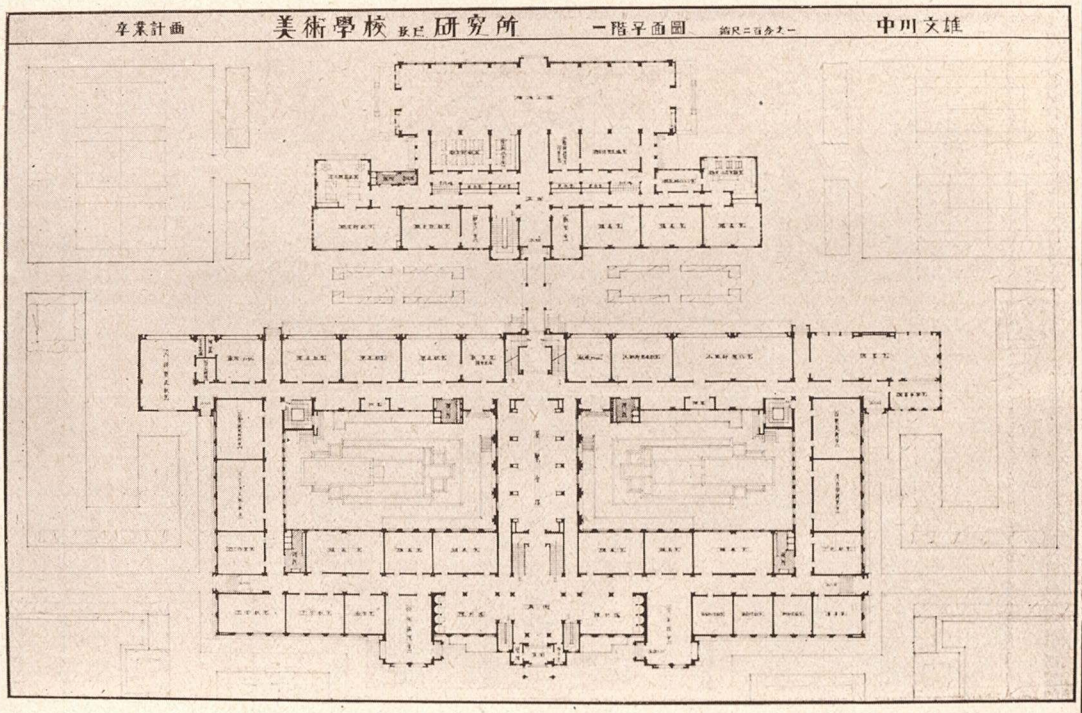


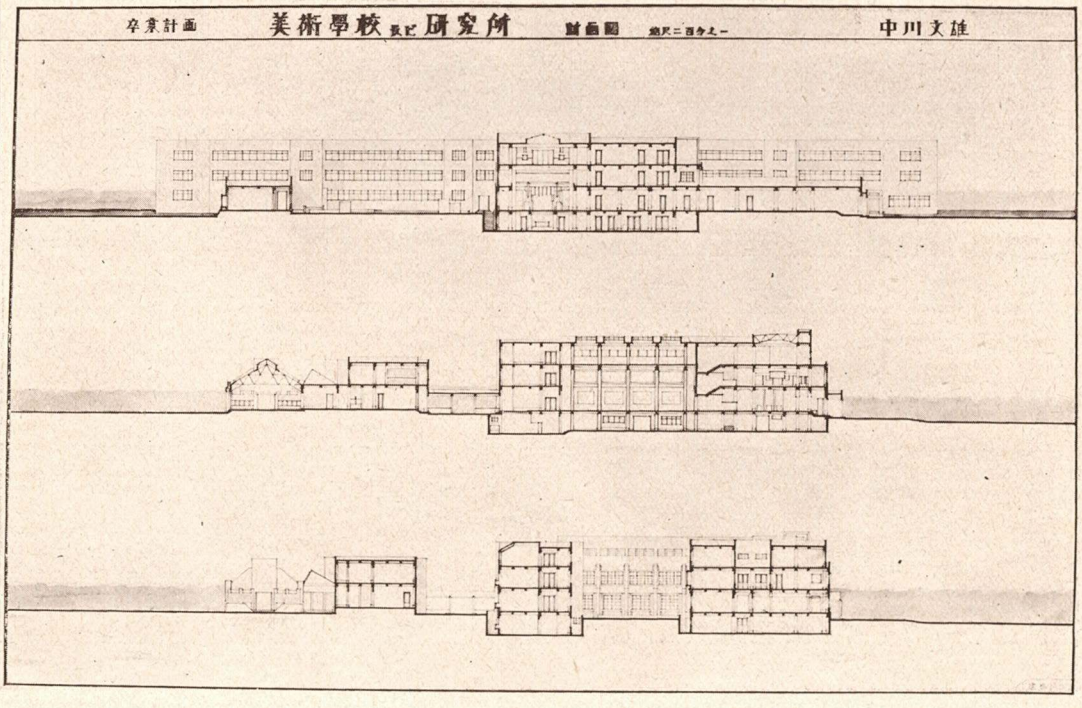
昭和三年三月

卒業生　中川文雄



神戸高等工業學校本年卒業計畫・中川文雄君





神戸高等工業學校本年卒業計畫・中川文雄君

Rolscreens

The Ideal Screen For Casements

夏ハ蚊蟲ハ

ロールスクリーン

（型錄贈呈）



日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　一二四番　三一六九番
　　三一六八番

晝は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便な**ロールスクリーン**の御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實に**スクリーン**の問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此の**スクリーン**の用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我が**ロースス クリーン**の出現及び提供であります

◆耐震耐火＝品質優良＝優美高尚＝價格至廉◆

金屬天井



金屬天井御採用の三菱銀行東京本店

◆田村商會創始
◆參拾五年經驗
◆施工全部請負
◆特殊圖案製作

營業種目

◆建築材料部
▲金屬天井
▲リブプレツクス（リブラス）
▲コーナービード
▲内外メタルラス
▲タイガーボード（耐火石膏板紙）
▲舶來ウオールボード各種
▲ルーフキング（便利瓦）
▲アスファルトフェルト
▲其他建築材料一般

◆木材部
▲米材各種
▲チーク材
▲ラワン材
▲床板各種

◆穀類部
▲内外小麥粉
▲内外麩
▲内外米

◆工業部
▲製粉工場
▲製米工場
▲金屬鈑工場

型錄進呈

田村商會

本店
神戸市榮町六丁目
電話元町（五〇一、五〇二、五〇三、五〇四）

支店
大阪市西區靱上通り一丁目
電話土佐堀（六八八〇、六八八一）
東京市日本橋區元四日市町
電話大手（三七〇五、六三六〇、四六七一、二五二六）
横濱市濱町一丁目
電話長者町 二五四〇
北米晩香坡市ダンレピー街
電話 八八一

工場
神戸市兵庫新川
電話兵庫（九一、一四〇三、二四四、六四〇）

AMERICAN RADIATOR COMPANY

アメリカンラヂエーター會社製

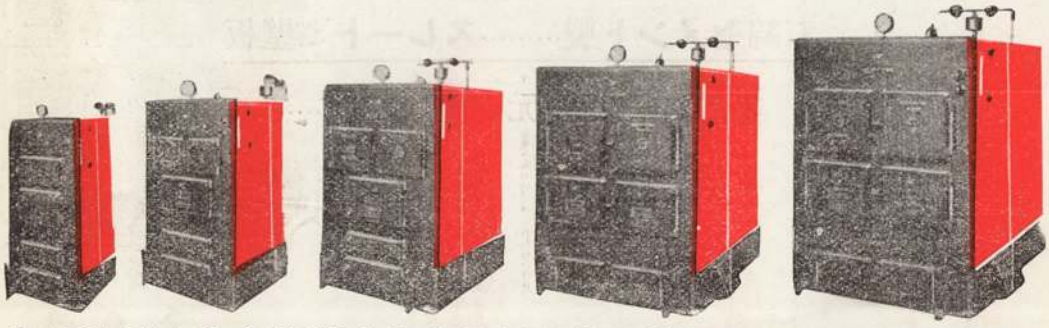
新型　アイデアル　レッド　ジャケット　ボイラー

1. 完成サレタル構造……長キダブルフリユー能率至高
2. 機械的調節裝置並ニ附屬品一式具備
3. 最モ體裁ノ良キ赤色ジャケットヲ以テ覆ヘレ完全ニ保温サル
4. 外觀美麗……各扉ハ精巧ナル琺瑯仕上ゲ

然モ價格ハ從來ノ製品ニ比シ低廉ナリ

種類　蒸實罐　350平方呎ヨリ　17,900平方呎
　　温水罐　600平方呎ヨリ　29'400平方呎

IDEAL RED JACKET BOILER



No. 1. Ideal Red Jacket Boiler　No. 2. Ideal Red Jacket Boiler　No. 3. Ideal Red Jacket Boile　No. 4. Ideal Red Jaerket Boiler　No. 5. Ideal RedJacket Boiler

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　　大阪北濱



石綿セメント製……スレート乙壁板

斯界に一新紀元を畫する……

品　質　卓　絶
絶　對　低　廉
在　庫　豊　富

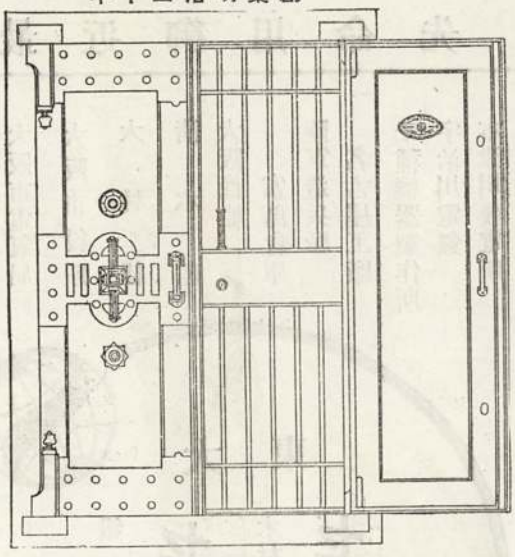
万年スレート株式會社

大阪市西區新町南通三丁目

電話新町四〇七〇番

大塚製金庫扉の特色は

防火的理想の完成したる
昭和參年新案特許第壹壹貳五七〇號
瀧村式防火裝置（自働アスベストパッキング）



金庫室防火扉

創業明治二十年

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

御一報次第型錄差出申候
應貴意設計圖面調製提出
可仕候

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

三十四銀行　鴻飛農工銀行　大野銀行　墟野義商店
三井銀行　吉備貯蓄銀行　奈良信託（株式會社）　武田長兵衛商店
名古屋銀行　蘇原銀行　三井信託（大阪支店）　八馬邸
名古屋貯蓄銀行　灘商業銀行　三井物産（名古屋支店）　竹内邸
加島銀行　西海商業銀行　岡谷本邸（名古屋）　池田商店
明治銀行　大阪貯蓄銀行　岡谷合資（東京金物部）　安藤商店
第二銀行　內國貯金銀行　三菱電氣（神戸製作所）　平瀬邸
大阪野村銀行　山口銀行　萩町信用組合（名古屋）　西郷邸
野村證券（株式會社）　久美濱銀行　松坂屋呉服店　三宅邸
濱松銀行　大垣貯蓄銀行　東邦瓦斯（株式會社）
中埜銀行　武庫銀行　大日本人造肥料（株式會社）

大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主　瀧村松之助

電話西五〇一七番

工場	九條南通一丁目	三軒家上之町	北境川町

最近御用命先

南滿鐵道　適當に溶解したる塗料
阪神國道西成大橋高欄　にして塗布面の强靭と
阪神國道佐門殿川橋梁　色澤の優秀なる事既に

陸軍運輸部
大阪市電氣局
大阪市役所
大林組
清水組
大阪商船
富島倉庫
陸軍造兵廠
名古屋工廠
千種機器製作所
宇治川電氣
木津川發電所

住友伸銅鋼管株式會社
日本絹綿紡織高槻工場
日本電力柳河原發電所

定評あり
塗工部の設けあり實費
にて貴需に應ず



製造元

大東塗料株式會社

營業所　大阪市北區中ノ島大阪ビル八二四號室　電話土佐堀一八三二番
本工社及場　尼崎市外　小田村長ス　電話尼崎二三七番

製品目錄

△船底塗料　鐵鋼船底塗料
△水線塗料　鐵鋼船塗料
△ホールドペイント　同
△コツパーペイント　木船底塗料
△セクロン　鐵材裝飾防腐
△ハウスセクロン　木材裝飾防腐
△グラフアイトペイント　鐵材防蝕專用
△シーゲル　殺蟲液
△セトラ　木材防蟲防腐液

出張所
橫濱市林町一番地
神戸市榮町三丁目三十五
東京市京橋區南大工町十一

國產ソリデチツト應用
建築材料の出現

「型錄進呈」

ソリデチット タイル
陶器ノ追從シ得ザル色彩ト雅味ヲ有シ頗ル堅牢ニシテ而モ價格低廉ナリ
用途、室內及外裝用

ソリデチット 安全壁
日本壁及西洋壁ノ上塗料トシテ吸水尠ク頗ル強靱、色彩自由ナリ
用途、外裝及室內水場用

ソリデチット スタイン
外裝用トシテ獨逸「リシン」ニ比シ吸水絕無體裁佳良、價格亦極メテ低廉ナリ

ヒノデリユーム 鋪床料
床張用トシテ「リノリユーム」ニ比シ低廉、品質在來品ト異ナリ絕體ニ龜裂無ク且ツ濕分ヲ生セズ
用途應接室廊下及一般床敷用

「特約販賣店募集」

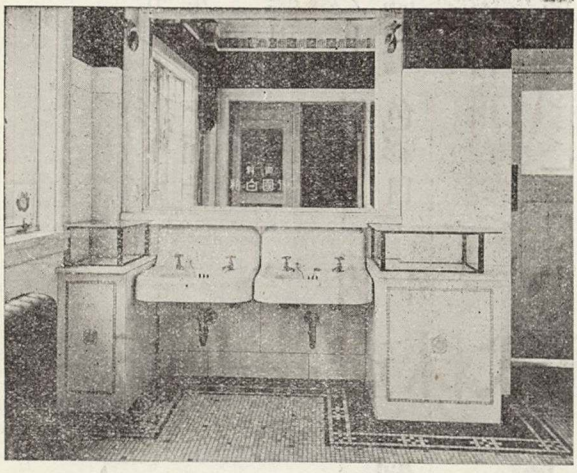
內外一手販賣元
三井物產株式會社大阪支店

製造元
日本化學產業株式會社

大阪市西區南堀江通三丁目四三
電話櫻川 一四五四 三八七一番

◆特許山添式防水工事
◆ターピヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシット
◆星印ルーフヒング

大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話櫻川一六一〇番



便所…化粧室…湯殿

ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地
大阪ビトロライト工事合資會社
電話櫻川二二一四番
出張所　東京市京橋區本材木町一丁目二三　電話日本橋(24)〇九六九番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町二丁目四九

河村青寫眞調製所

電話長土三七四二（ナヨブ）

純國產品

機能．耐久力

すべてに於て絕對優秀

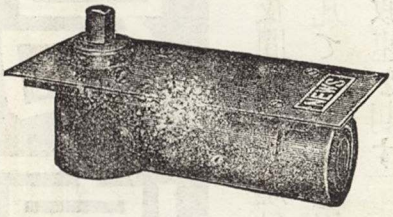


DOOR-CHECK

型錄送呈

合資會社

日本ドアーチエック製作所



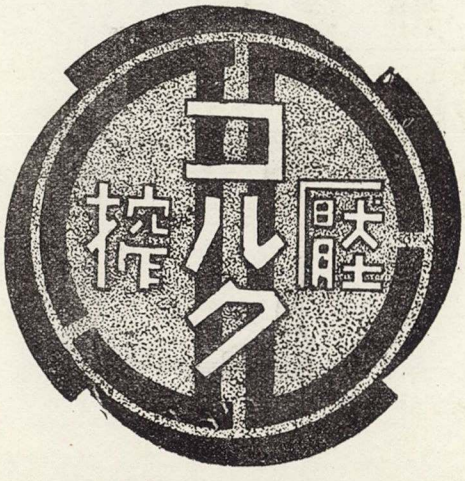
FLOOR-HINGE

大阪市東成區猪飼野町一〇七八

冷藏防熱用 製產高（工場設備）東洋第一位!!

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク



東洋工業株式會社

コルク部

本社及工場 廣島市吉島町

電特長一七九二

大阪出張所 大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地

電話北一三八九

東京出張所 東京市神田區豐島町七番地

電浪花八五三番



淺野煙突

石綿セメント製でありますから
燒けません・錆びません・腐りません

淺野壁板

強靱の石綿纖維と純良のセメントが主要原料ですから石膏紙板のやうに濕潤することなく日本壁のやうに剝落することがありません、下見・內壁・天井・間仕切・塀等に用ひて誠に比類なき適品であります

長……六尺
幅……三尺 四尺
厚……一分五厘 二分以上

淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	札幌
東京市京橋區三十間堀三丁目	大阪市北區曾根崎新地三丁目	門司市白木崎	札幌市北一條東四丁目
電話銀座 1860 1861 1862	電話北 5081 5082	電話 1931 1228	電話 598
振替口座東京 68000	振替口座大阪 78246	振替口座門司 10964	振替口座小樽 5864

日本ペイント

創業明治十四年

資本金五百萬圓

創立三十年記念二大奉仕行事

弊社は其前身光明社の創業より五十年を算へ、株式組織後三十年の營業期間を滿了しましたので、此度定款を改正し無期限に之を繼續する事と致しました、就ては此長年月間の國家及大方の御指導御援護に報ひ、併せて百年の基を開かんが爲め、更生の第一年たる本年度一ヶ年間左記二大奉仕行事を實施せんとするものであります。

滿天下の御共鳴と御援助を切望致します。

昭和三年四月

日本ペイント株式會社

一、國家奉仕 全國巡回塗料智識普及宣傳

講演、實驗、映畫

本行事は鐵材、木材の大輪入國たる我邦の將來に鑑み、一般國民に塗料に關する科學智識を宣傳して大に國家經濟に資する所あらしめ、併せて文化の進展に貢獻せんとする奉仕企畫でありまして向一ヶ年間社費を以て講師、技師、映畫師を全國に派出し其徹底を期せんとするものであります

官公廳、學會、學校、組合等の御申込を歡迎します。

尙此機會に於て各地方の公益團體に屬する營造物にして塗裝を要するものに對し弊社の詮衡により特定費額の範圍を以て寄附施工を致します、御希望の方は所定の手續を經て御申込下さい。

二、華主報謝 新製品萬歲號塗料特法擴賣

ジンクペイント、光明丹、ボイル油

本行事は三十年間の大方華主の恩顧に酬ゆる爲め、多年研究の成果たる最優良新製品萬歲號（御大典に因みたる新記號）を發賣し特別の方法により向一ヶ年間本品を通じて問屋、小賣店、需用家等總ての華主各位に利益を分配せんとする報謝企畫でありまして同時に從來A又は一號等の通有頭等記號を悉用し盛んに不正競爭の行はるゝ本邦業界の廓清を計らんとするものであります。

詳細は弊社本支店、出張所、代理店、特約店へ御照會を願ひます。

大阪　東京



「チョコレート色」

◆辨柄。黑

◆綠。黃

用途	
鋪床・壁塗用	
スレート用	
セメント瓦用	
タイル用	
各種塗料用	
建築材料用	

七YK

合資會社 東洋鑛粉所

大阪市西成區津守町六壹壹
電話櫻川四二四六番

東京營業所

東京府下淀橋町角筈六六八
電話四谷七八六番

煖房、冷房
換氣、排氣
蒸汽配管
炊事、衛生
給水、給湯

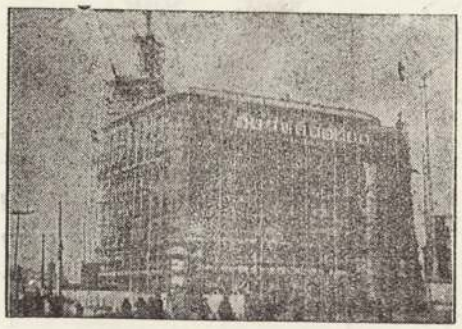
設備ニ關スル一切ノ必要品

專門製作販賣

大阪市此花區玉川町二丁目二五

阿波田良之助商會

話話土佐堀三九七四番



東都數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ

下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ

上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備ヘ

更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ

營經河古

東亞ペイント株式會社

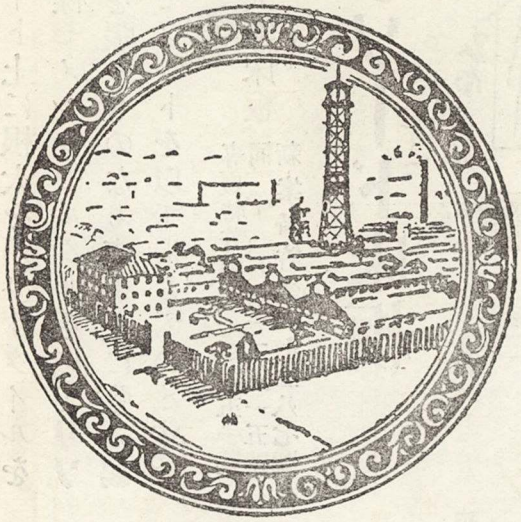
ペンの印

ヤマイチ印

寶劍印

クーマ裏

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
ロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種

設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367.3805.5642 番

取締役社長 工學博士 片岡安

專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

電話丸ノ内(23) 3073.3074番

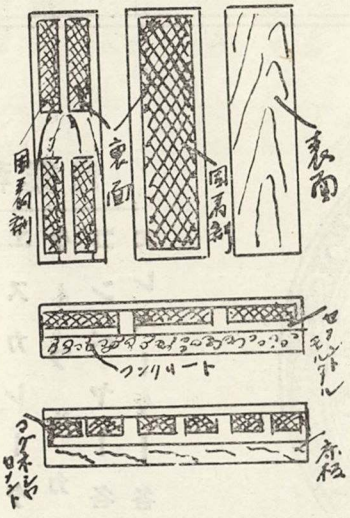
專賣特許 東松式外二拾四件

コンクリート上に根太を用ひずタイルを張ると同様セメントモルタルを以て**リソード床板**を張るものなり床板上に張る場合は特種セメントを以て張るものとす。

理想的根太無床板

専賣特許願第一二四五一號
同　右第一二五一五號
新案特許第二七二八七號

丸上式 リソード床板



特長

價格低廉、耐久性絶大、彈方性ニ富ム保溫性快感
衛生的、伸縮浮上リノ憂ナシ無音響、修繕容易耐
水性、耐火性

専賣特許 **練革床**

特許ピトリウム床
特許ピトチック內外壁
丸上式リソード床板

實剝 **楢床板**

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

ブロック　フローリング　葵式
張床　寄木　各種
挽立　乾燥材　堅木

葵商會

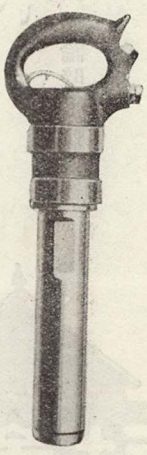
大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西(長)四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話銀座三九五・九三二

Cleveland
Pneumatic Tools



POCKET=
IN HEAD
RIVETER

最も信頼し得る
リベッテング ハンマー



クリブランドツール會社製リベッテングハンマーは，**エアーポツケツト**を**ヘッド**に裝置してあつて**僅かの空氣を使用して強い打撃力と速度を與へるもので**，此空氣使用量の僅少なる點と堅牢で永く使用出來る點は最も注意すべき點であります．
外に**チッピングハンマー**，**エアードリル**，**グラインダー**，**ランマー**等各種**ツール**あり，各種在庫詳細御照會を乞ふ．

The Cleveland Pneumatic Tool Co.

東洋總代理店

株式會社 **アンドリュウス商會**

本社　東京市芝區芝公園五號地(御成門筋)
支店　大阪市西區江戸堀南通三ノ十八
名古屋・小倉・札幌・京城・臺北・大連・紐育

創業　明治二十六年
資本金　五百萬圓
製造最大能力　二千五百萬斤

營業品目
印銅眞鍮アルミニユーム、輕合金アルモデユール板類
アルミニユーム器物、ストツプバルブ並ニ特許分銅屋根板

壁張
分銅屋根板
應用

特許
分銅屋根板
（型錄進呈）

分銅屋根板は經濟的であります
現今一等瓦參拾圓モスルニ比スレバ約六割ノ貳拾圓内外デ立派ナモノガ葺上リマス尙坪當リ葺上拾四圓位ヨリ出來マス

分銅屋根板は體裁優美であります
普通銅板ニ特殊加工ヲ施シテアリマスカラ體裁ハ極メテ優美デアリマス

分銅屋根板は應用範圍が廣い
本葺瓦棟葺棧葺平葺四半張綾目張等ハ勿論壁張腰張等ニモ至極適當ナモノデアリマス



大阪電氣分銅株式會社
大阪市北區天神橋筋四丁目
堀川 (35) 自四〇〇番 至三三一六番 （休日及時間）

家具と室内装飾

笹岡家具装飾店

弊店は 真面目がモットー 皆様方の使用人

営業所 大阪市西淀川區海老町
工場 一四八七番地
電話土佐堀 二九六九番
福ロク 錄
振替口座 大阪 七九七三三番

完全防水劑 シーカ

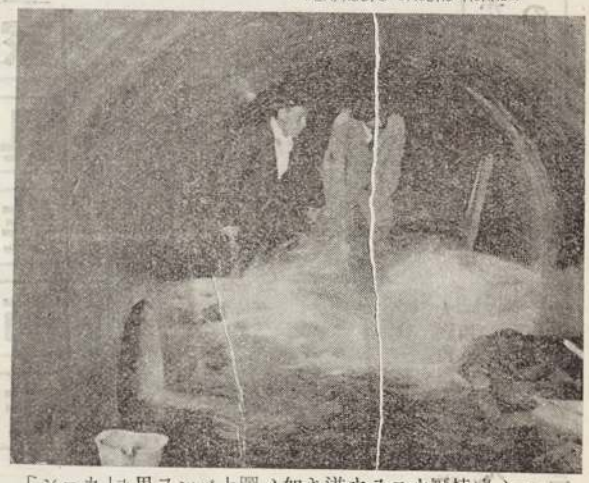
Sika WATERPROOFS UNCONDITIONALLY

Sika WATERPROOFS UNCONDITIONALLY

「シーカ」防水劑ハ如何ナル狀態ノ箇所ニテモ使用ナシ得

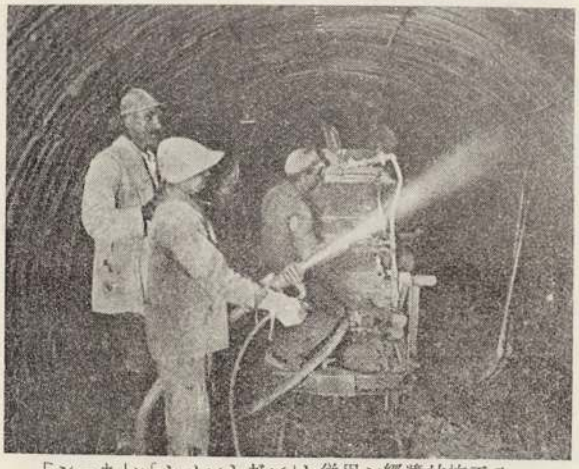
「モルタル」、「コンクリート」、鐵筋「コンクリート」等ノ混和液トシテ用ヒ
下記ノ効果ヲ奏ス

1. **强度**及ビ**粘着力**ヲ增加ス
2. **水頭** 100 **呎以上**ノ水壓ニ對シ絕對ニ**防水**ス
3. 伸縮性ヲ抗止ス
4. **有害ナル物質**及化學作用ヲ有スル溶液ニ冒サレズ
5. **凝花**及ビ菌類ノ發生ヲ防止ス
6. **凝結時間**ヲ數秒ヨリ種々調節シ得



「シーカ」ヲ用フレバ上圖ノ如キ迸水モ水壓持續ノマヽ修理シ得ルコトヲ示ス

SIKA



「シーカ」ハ「セメントガン」ト併用シ經濟的施工ヲナシ得ル唯一ノ良劑ナリ

瑞西、墺地利、獨逸、スカンヂナビヤ國等ノ**政府鐵道**、**水力會社**、**水道會社**等ニ常用サル。

「ロンドン」及「マドリッド」**地下鐵道**等ニ賞用サル。「サンゴータード」隧道ハ電化ノ際全部修理セリ銀行、旅館、公會堂、別莊、浴場等建造物ノ**防水**、**濕潤**、**濕氣**、**除ケ等ノ絕隔物トシテ**推奬サル。强大ナル溫度變化ニ影響ヲ受ケザルヲ以テ**露臺**、**陸屋根**等ニ最適ノモノナリ。

硫化水、**海水**、**煤煙**、**暖氣及濕氣**等ニ耐ユルヲ以テ瓦斯事業、鑛山、化學工業、釀造業、製紙業、洗濯業、溫泉、運河、船舶、海事工作物等ニ有効ナリ。

浸潤及ビ迸水等ハ500ヤ 500 lbs/sq inch デノ水壓加持中ニ於テ直ニ塞止シ得。
又油汚面ニモヨク密着ス。

本社
東京市京橋區木挽町二丁目十二番地
電話
京橋(56)六七三七

日本總代理店輸入元
海外通商株式會社
東京　大阪

大阪出張所
大阪市北區中之島二丁目二十五番地
江商ビル三階十五號
電話本局五三五九

大理石

貯藏石材製板豊富
諸機械設備完全
尚伊太利産石材モ多數在庫ニ付キ御下命ヲ乞

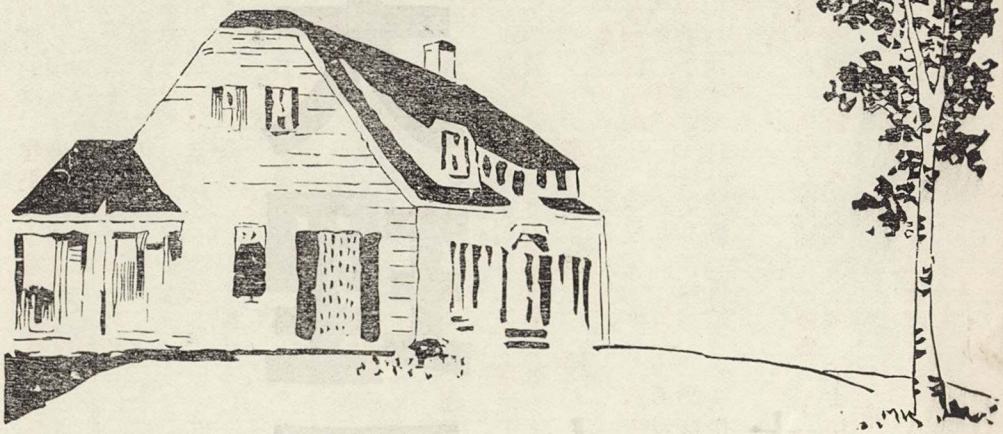
期限確實施工入念

大理石工業株式會社

大阪市港區市岡町（市岡元町停留場南）
電話西七六七番　西八〇三番

大理石工業株式會社東京出張所

東京市本鄉區駒込富士前町八〇
電話小石川七三七八番



コンクリート建造物の防水と美装

◉槌印コンクリートペイントの推奨

事務所、住宅等總べてのコンクリート建造物の内外壁は本塗料の塗裝により完全に防水と美裝の効果を揚げ得る事が出來ます。

新らしい設計にて是非御採用を願ひます。

見本説明書
塗見本帳　贈呈

製造元　日本ペイント製造株式會社

發賣元　大元商會

大阪市西區薩摩堀東町
電話新町長二六五二二一六

建築土木資料集覽刊行要旨

本會の目的は、建築及土木に關する優良資料全部の一大集成たる『建築土木資料集覽』を刊行し、之を以て我が資料界の現狀を廣く江湖に紹介するに一機關たらしめようとするに在ります。

曩に、建築資料協會は大正十三年以降『建築資料共同型錄』三卷を發行し、また建築資料研究會は大正十五年以降『土木建築資料總覽』二卷を刊行したことは大方の知らるゝ通りでありますが、這回本會は右兩會に相謀り其事業を合同するの趣旨を以て、專ら本會に於て刊行事業を繼承遂行することの諒解を得、一面また建築學會、日本建築協會、日本建築士會、建築業協會、建築資料協會の五會が、本會の有力なる後援者として事業上大に幇助を與へらるゝことゝなりましたので、茲に新に內容體裁共に全き一大資料全書の類纂を期するに至つた次第で、今年以後每年一卷を編輯發行する計畫を立てたのであります。

今本會に於ける編纂方針の要點を擧げれば、(一)建築及土木資料の全部を蒐集する主意を以て、工事用材料は勿論、汎く各種設備及び各種機關に關する記事を網羅すること、(二)專ら信賴すべき資料を集聚紹介するに努め本書への收錄は一面信用の左券たるに至らしめること、(三)各種資料につき整然たる分類體系を與へ、之れに詳細平明なる解說を施し、一般研究上好個の參考書たらしめること、(四)完全なる目錄及索引を作製して檢索自在の便に供すること、(五)努めて明細なる圖解と、精巧なる寫眞版とを挿入して書冊の完美を圖ること、等であります。

尙本書の頒布については、主として建築及土木界の重なる關係者と社會の要路とに之れを無料寄贈致す考へであります。

第一卷の發行は本年十二月上旬の豫定で、まだ餘日のあることですが、こゝに豫め本會の刊行計畫を披露致し偏に大方の贊同を仰いで置く次第であります。

本會役員

評議員
安藤德之助　中條精一郎　內田祥三
內藤多仲　片岡安　中村恒
櫻井小太郎　橋本政吉　佐藤功一
山口萬次郎　錢高善造　吉田亨二
田口清吉　戶田利兵衛
古宇田實　大熊喜邦
松井清足　中谷芳邦
武田五一　佐野利器　烏羽總治
橫山信毅　同　早崎龜壽　同　松井清足

理事
理事長　橫河民輔　理事　片岡安　同　大林義雄
理事　山口萬次郎　同　吉田亨二　主事　橫山信　同　早崎龜壽　鴻池忠三郎　森井健介　清水釘吉
竹中藤右衞門　橫河民輔

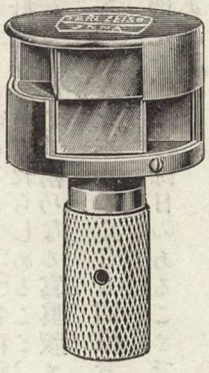
東京市麴町區有樂町（府立東京商工奬勵館內）
建築土木資料集覽刊行會
電話丸ノ內一三〇七番

ZEISS

Winkel=Prismen

マズリプルケンィウスイアツ

單式複式ノ二種アリ
精密測量ニ缺ク可カラザル測量器具ナリ







型錄 Geo 2 御報次第進呈

（弊社測量儀全體ニ亘リ詳細說明アル邦文ノ小冊子ガ最近出來マシタ，御希望ノ方ニハ御申越次第無料ニテ御送附申上マス）

カール ツァイス 株式會社

東京丸ノ內郵船ビルデイング七階

電話丸ノ內(23) 三〇六五番 三〇六六番

CARL ZEISS TOKYO KABUSHIKI KAISHA

SPECIAL ✿ BORING

ボーリング ト 鑿井

○明治十八年創業 斯界之權威 ｛古キ歴史ト經驗 特許ノ機械器具 獨特ノ優秀ナル技術｝＝他ノ追從ヲ許サズ

○標語 ｛岩盤、玉石、土質ノ硬軟水陸ノ別ナク 工事ノ多少ニ不拘 迅速正確低廉

○特長 鑿井 ｛掘工簡易 水壓混ゼズ 任意ノ水層尙意ニ集水 鐵管肉厚徐々ソケット結合 井側鐵管ト周圍ノ砂防 裝置ノ「ストレーナー」 漂水不浸 挿入安全 土壓ニヨル鐵管破壞ノ憂ナシ 生命永久

ボーリング ｛粒土ヲ用ヒズ 地層ノ區別完全 標本土正確 地質ノ硬軟 土質 水位 フレンヤー、フレクション モ鮮明 尙鑿モボーリング表ニテ明瞭ス

○光榮 ｛諸官衙 技術大家 諮會社ヨリ多數ノ成績證明ヲ賜ル 宮內省特ニ御用命ヲ拜ス 大阪東京兩市電氣局高速度鐵道課 東京地下鐵道株式會社御用命ヲ受ク

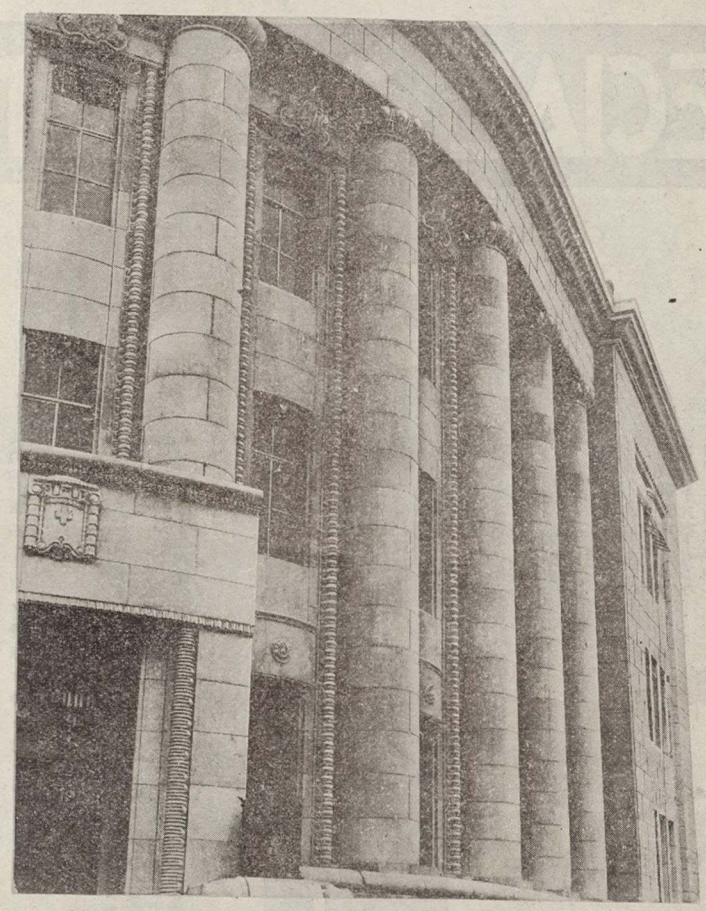
○推奬 ｛基礎工事ヲ施ジ 震害豫防ニ 費用僅少定評アル 森川ノ名稱ボーリング 水ノ滲洩ノ爲メニ 合理的ナル森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許 森川式大鑿井
特許 森川式井側裝置
揚水裝置
杭打試驗
載荷力試驗

森川組

店主 森川傳爾

本店 大阪市西區幸町一丁目 電櫻川 長四四一 三〇一
支店 東京市神田區金澤町 電下谷 五五三二



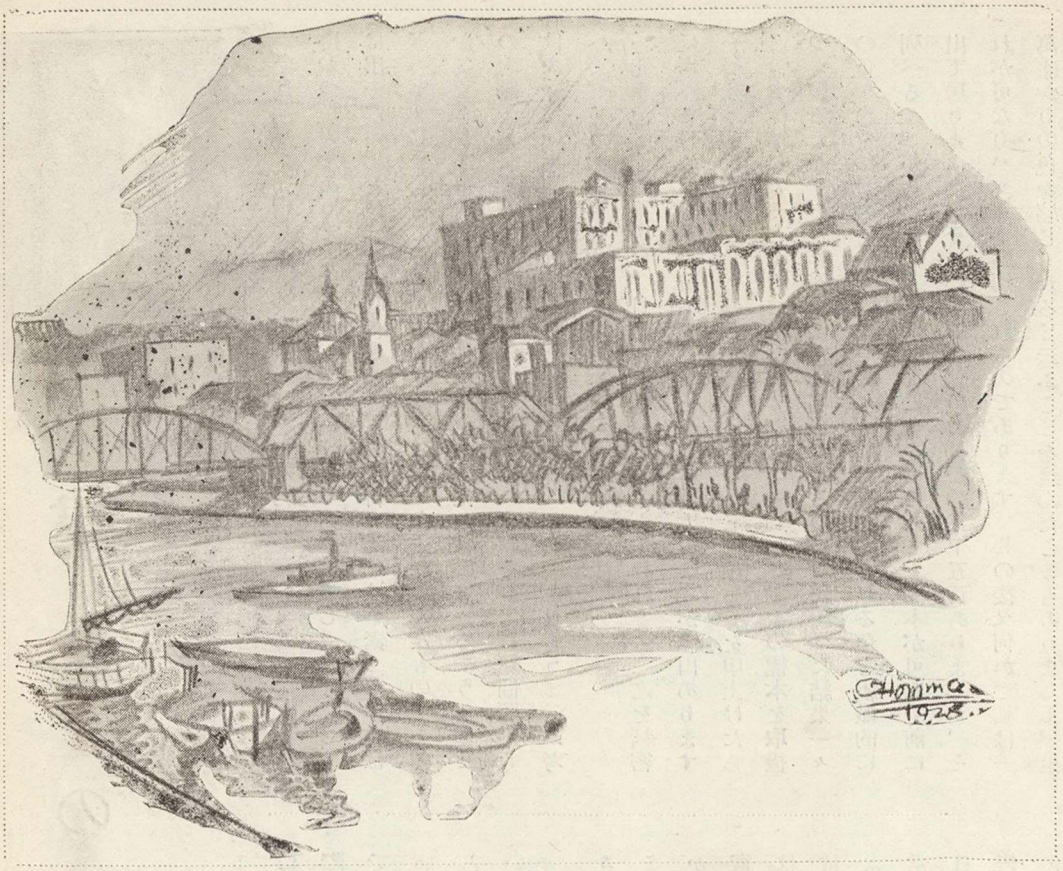
帝都丸之内ノ偉觀　大日本赤十字社正面ノ一部
岡田信一郎先生御設計　外裝ノ全部ニ中村式**グラニツト**使用

Nakamurashiki GRANITE

PATENT:
NO. 43.347
NO. 45.069
NO. 68.191

中村グラニット商會

大阪事務所　大阪市住吉區住吉町五〇三
大阪工場　大阪市西淀川區海老江町1200
電話土佐堀一三五七番
東京支店　東京市芝區月見町二丁目四
東京工場　電話高輪九四六番



新版大阪圖繪　難波橋上より大阪府廳を眺む

若葉

若葉の候となりけり矣、世間は將に政治、經濟、思想、と多角的國難來に極度の緊張を示しつゝあり、然ども木々の梢は若葉艶やかに薫りつゝあり、譬え三角の屋根四角に變り建仁寺の竹垣鐵筋コンクリートに變るとも……。

一河の流れ、一隆の丘岡と雖皆建築てふ人工を自然に融合せしめる爲には重大なる自然物である。自然を無視したる人工は只形と色との羅列のみ。

古今の名建築は最よく自然を重んじ之を取入れ之に融け込むことに力を注いでゐる。

心先づ思ひ、思ひ現はれて形色となり、形色となりて、更に心に還り思ひを變ず、人事施設の内其大半を占むる建築物の而も其形と色とは朝起て目をつむる迄須臾の間も人と離れることなく絶えず人心に強き影響を與えつつあることを思えば建築物の有つ思想的價値の如何に重大なるかを今更ながら深く考えざるを得ない。

建築の創意を練るの士寸隙を割いて乞ふ若葉の香を慕え。

（三、四、三〇）



建築の色彩

本野精吾

今日『建築の色彩』と云ふ題でお話をする約束を致しまして、立案に掛かつたのでありますけれども、短い時間でありますし、十分なお話は出來ない事と思ます。唯色と云ふものに付て我々は平素ともすればボンヤリして居ることもありますから、此の色とはどんなものであるかと云ふこと、古來建築に現はれた色の變化の狀態と云ふやうなことの大體でもお話をしやうと云ふ積りであります。それも實際問題からは大分遠い事柄のやうでありますが、何かの御參考にならうと云ふ考へで、さう云ふ風な内容を選んだのであります。

元來色と云ふものは、日常目に觸れて居りますけれども、之を精密に考へて見ると、隨分分らないことや、可訝しなことが澤山あります先づ我々が感じ得る色の種類がどの位あるかと云ふことを申上げたら多分お驚きになるだらうと思ひますが、亞米利加が動物の標本を取扱つて居る人が、それ等が有つ色の名をつけるのに大變困つた結果一々の色の色をつける計畫を立て、先づ人間が感じ得られる色を組織的に列べることから始めて、それ〳〵に名をつけたと云ふ本が可なり前に出て居りますが、それに依ると、色の數が約五千五百ありまして、それが可なりハッキリ區別されるのであります。其の後又何かで私は一萬ばかりの色を感じられると云ふことを讀んだこともありまして、兎に角非常に澤山な色の種類を感じられるのでありますが、それが又實際そこらで眼に觸れると云ふ場合に色々なことが起つて來ます。それで色と云ふものにどう云ふことが起つて居るかと云ふことをお話したいのでありますが、其の前に色と云ふものは一體何から出來て居るかと云ふと、是は分り切つたことのやうでありますが、なか〳〵分らないことがあります。

物が光線を受けて、其の一部分を反射し、或は一部分を透き通す、さう云ふことに依て我々は色を感じます。我々は普通太陽の光線を白と云つて居ります。即ち太陽の光線が何等の障碍なしに、物にブツ突かつた時に、其の物から感じる色を我々は白と云つて居ります、併し實際に於ては太陽の光線其のもの、色が始終變ります。最も著しい例は日中の色と夕方の色と云ふやうなものであります。又日中でも日に依り時に依り始終變つて居りまして、或一つの物に何等の障碍なしに太陽の光線が届くと云ふ事は實際に於て殆んど無いのであります。日常眼に觸れて居りますやうに、我々が色と云つて居る色其のものが、日中に見て居る色と、夕方光線が橙色になつてからの色と云ふものは皆變つてしまひます。即ち色と云つて、決して或物にクッ付いた固有の色があるものではない、朝から晩まで始終變つて居る。無論色其の

もの、性質は變りませぬけれども、物の色と云ふものは、人が感じて初て色感になるのでありますから、同じものでも、光線の變化で、其の物の色も始終變つて行く、さう云ふ譯でありますから、我々が普通煉瓦の色なら煉瓦の色と云つて居るものも、必ずしも當てにならぬ。我々の眼に感じて來る場合には、其の時々に依て樣々な色になつて現はれて參ります、第一さう云ふ厄介なものであります。

次には空氣の中に色々な不純物があります爲に、同じものが色々な色に見えて參ります、是は日常風景などを見て我々の經驗して居る所でありまして、遠くの山や森の色と云ふやうなものは近くのそれとは全く違つて我々に感じられる。それは全く此の空氣中の不純物が最も大きな原因をなして居ります。又之を建築物に付て見ましても、同じ建築物の色でも、近くに在る時と、遠くに在る時と、或は塵芥の澤山混つて居る所に在る場合と、清淨な所に在る場合と、大變違つて見えます。さう云ふ風に、同じ物の色が非常に違つて感じられる場合があります。それが高山の上のやうな比較的空氣の不純物の無い所になりますと、近くの色も餘り變りませぬ、それ等のことで實驗されるのでありますが、さう云ふ厄介なこともあります。

尙ほもう一つ非常に厄介なことは、同じ色が環境の關係で變つてしまひます。是が間に厄介——ぢやない、それが爲に我々が色と云ふものから好き調和を感ずる事の基礎をなすのでありますがそれを實驗しますのに、全く同じ灰色のやうなもの(灰が一番能く分ります)を色々な色の上に載せて列べて見ますと、同じ灰色がそれ〳〵全く異つた色に感じられます。又同じ赤なら赤を白とか黒とか黒の上に載せて見ますと、矢張り全く別な色に見えます。又同じ色を澤山な異つた色の上に載せて見ますと、更に複雜な變化が見られます、即ち同一の色でも其の環境の狀況に依て我々に色々違つた感じを與へる事が證明されます。

詰り色と云ふものは感じでありますから、感じが違へば、色も違ふことになるのでありまして、感じが總てであります。そこでさう云ふ厄介なことが起きて來るのでありますが、我々は實際の場合にはさう云ふことを無意識に此の色は斯んな所に持て行けば、巧く合ふと云ふ風なことを直感して居ります、それを普通調子が出合ふと申しますが二つの色を列べて、それがうまく調和するとか、しないとか云ふ問題は先に言つたやうな色の變化を特に考へないでも、實際にそれをやつて居ります。けれども、それを細かく解剖して見ますと、さう云ふ厄介なことがあるのでありまして、色と云ふものは決して固定したものでないと云ふことが言へる譯であります。

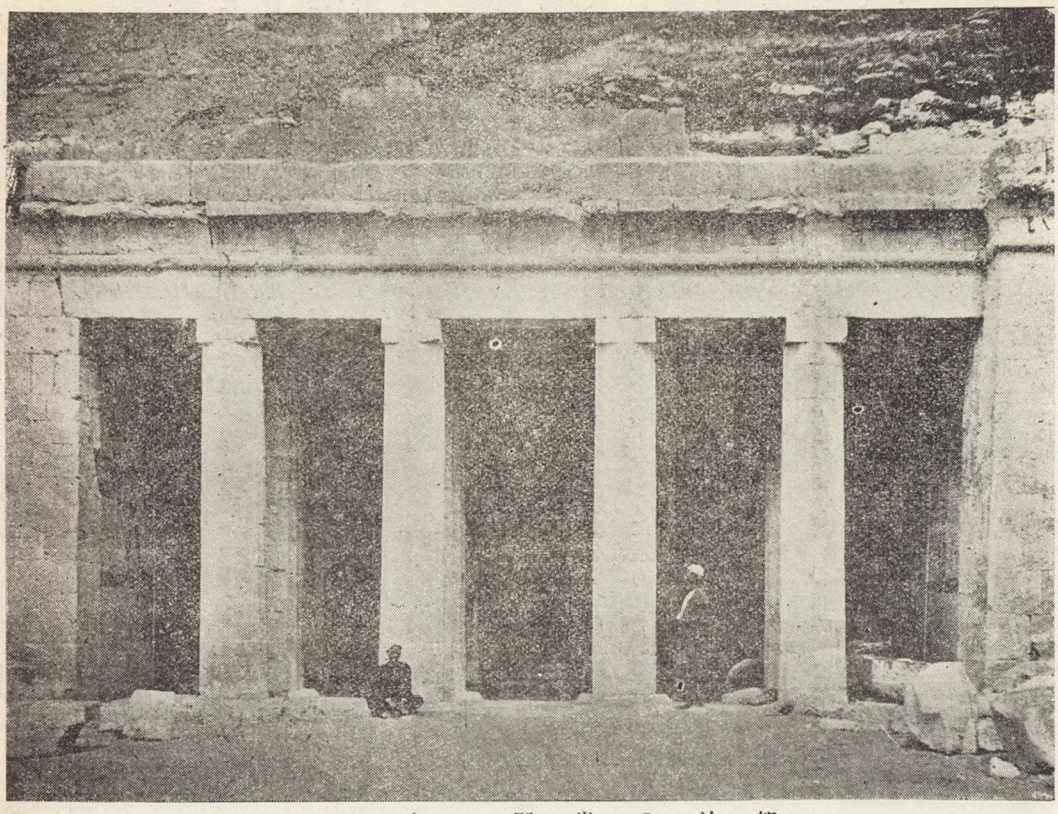
前述のやうな色々な事柄に依つて、色と云ふものは決して一つに固定したものでなしに、始終動いて居ると云ふ事が分るのでありますが是が色を取扱ふ上に於ける大きな基礎になります。尤も特に斯う云ふ色に關する理屈を知らないでも色を取扱ふことの巧い人は直感で上手に取扱つて居るのでありまして、こんな理屈を知つて居ることが、色を取扱ふ上に於て是非必要だと云ふものではないのでありますけれども、さう云ふ風なことを基礎に置いて考へることも亦別な方面から必要なことでありまして、斯う云ふことを基礎にして、クロマトグラフイと云ふ色の調和の學問が出來て居るのであります。併し今日はさう云ふやうなことをお話するのではありませぬが、大體色と云ふものに對しての基礎觀念には斯う云ふやうなことがあつて、斯う云ふ風な厄

介なものであるこ云ふことをお話して、先に進む譯であります。

次に色の調和こ云ふことを云つて居りますが、是が亦なか〳〵厄介な非常に難しい問題でありまして、調和の本質が何であるかこ云ふことは、さう簡單には申上げられないのであります。唯其の大體を申しますと、我々が自然の中に生きて居りまして、様々の色の變化を始終見て居ります、見て居るこ云ふよりは、寧ろ其の中に生きて居る譯でありますが、此の絶えず眼に慣れるこ云ふことが調和感の一番の基礎になつて居るこ云ふことが考へられます。それは何故かこ申しますこ例へば、是は色ばかりでもありませぬが、絶えず色の世界を見て居りますこ、そこに從來眼に慣れない全く新しい色の取合せが出て來た場合に、初は非常に不愉快な、變な氣持で居りますのが、暫く經つて、澤山見て居る中に、段々それに慣れて(普通慣れて來るこ申します)來るに從て、不愉快でないやうになることがあります。仍ち此の調和感こ云ふものは決して絶對なものではないのでありまして、慣れるこ云ふことが其の大部分の基礎を成して居るこ云ふ事が證明される譯であります。而も我々が最も慣れて居るのは自然の中の色でありまして、生れてから其處を離れたことが無いのでありますから、其の自然の中に起る所の色の現象こ云ふものが調和感の一番の基礎になつて居るこ考へることが最も正しいやうに思はれます。何れにしても調和感こ云ふものは其の人が見て、佳いこ思ふもので、詰り二つの色が列んだ場合に、それを樂な心持で見て居られるこ云ふのが調和の感じであります。從て人に依てそれは違ふ譯でありますし、又時に依り所に依て差異が起つて來るのでありまして、色々な色の取合せが場所に依て違つたり、或は時代に依て異つたりする譯であります。

もう一つ自然こ云ふものが色の調和に對して、大變面白いことを示して居りますのは、一例を取つてお話しますこ、一つの花園に於きまして、晝間は赤だの黄だの、紫だの綠なぞこ云ふ色々な色の花がそれ〳〵非常に美しい感じを以て咲き亂れて居りまして、其の間に少しも不愉快な色の取合せこ云ふものが感じられないのが、段々夕方になつて來ると、花の色や葉の色が變つて參りまして、光線が段々弱くなつて來ますこ、結局鼠に近い色になつてしまひますが、其の場合には又夕方相應な調和感が花園に現はれて居ります。即ち心持の好い感じで其の花園に居る事が出來ますが、若し假に其の場合ただ一つだけ晝間感じて居たやうな赤い色がポツと感じられたこしたならば、大變おかしな氣持になつてしまふものであります。さう云ふ風に自然こ云ふものは非常に面白く出來て居ります。又私は京都に居りますので、特に此の事を感じて居るのでありますが、唯一つの山を朝夕通じて見て居りますこ、空こ山の色の關係、或は周圍の森なぞの關係が始終變化して居ります。空の色の變る時は山の色も變り、又森の色も變ると云ふ風に、總ての調子が變つてしまひますが、而も我々に何時も美しい調和を見せて呉れまして、自然の色こ云ふものは、ごんな場合にでも少しもチグハグな不愉快な感じを與へないのであります。即ち自然こ云ふものの中に色の調和感こ云ふもの、基礎があるこ云ふことが非常にハツキリ出て來るのであります。

是等は色こ云ふものに對する極く根本的な事柄でありますが、それは是位で措きまして、是から建築の色こ云ふことに付てのお話に移りますが、今日こゝでお話いたしますのは、建築の外部の色を意味するのであります。而して建築の色こ云ふものは、山や木が自然の色を以



エジプト殿堂の外部
デル・エル・バーリーの正面

て生ひ立つて居るやうな風に、天然の儘のものではなく、人間が意識的に色を着けたり、列べたりするこ云ふ所に、根本の違ひがあります。即ち人間の意識に依つてどうにでもなるこ云ふ範圍の色の世界であります。

で、昔からの建築に現はれた色こ云ふものに付て大體のお話をして行きますが、種々樣々な場合があります。場合に依つては殆んご正反對な事をやつて居る、埃及邊りの殊に宗教建築の外部こ云ふものは殆んご灰色に近い石を其の儘出して居ります所が直ぐ其の後の希臘ではどうかこ云ふこ、建築の表面を赤、青、或ひは金なごも使つて、非常に派手な強い色で塗りつけて居ります。更に少しく下つてビザンチンあたりの建築になりますこ、又再び外側は汚い煉瓦を其の儘で措いたりして、殆んご色こ云ふ觀念が全然働いて居ない程汚い。併し其の反對に内部は非常に美しい色のモザイクを以て張り詰めてあるこ云ふ狀態であります。尙ほ遡つて埃及でも内部には可なり色彩を施して居りまして、希臘では内部は比較的色彩が少いこ云ふここになつて居ります——中世になつて基督教が全盛を極めたゴシック時分にはどうなつて居るかこ云ふこ、是は中も外も殆んご石こか煉瓦か云ふ材料の自然の儘の色でありまして、唯形の世界だけが現はれて居るのでありますが、窓に向つて濃厚な色硝子を使つて居りまして、外側は灰色こか白色の代理石で貼つて居ります。中には殆んご白に近い灰色のものもありますし、又バリーのノートルダムの樣なズッこ黑いものもありますが、何れにしても石の色其の儘の汚い形の世界になつ

て來て居ります——次はルネッサンスでありますが、是は餘り重大でありませぬから、省いて置きます。

斯う云ふ風な、歴史の上に現はれました色々な例に立戻つて見ますと、建築の外部の色と云ふ考へに對しても、時に依り、所に依て大變な違ひが出て居ります。今それに付てごう云ふ譯で斯う云ふものが生れたかと云ふことを一々説明するのではありませぬが、極く主な部分だけを二三お話して置かうと思ひます。即ち一つは埃及やビザンチンあたりの外側の全く灰色であつた建築と、希臘のやうな強い濃厚な色を外部に使つた建築に付てごうしてさう云ふやうなものが現はれて來たかと云ふことをお話して置きます。

先づ希臘のお話を致さうと思ひますが、希臘の建築はごう云ふ風に造つたかと云ふと、希臘の殿堂は皆廣場の眞中に立つて居りまして、恰度日本あたりで森の中の神社の周圍に群集が集つて祭禮をやるやうな風に、矢張り其の殿堂の周圍に群集が集つて祭禮をやつたものらしい。從て其の建築は外へ向つて効果を發するやうに造られて居ります無論中には神體があつて、其處で禮拜をやつたやうでありますが、大體外へ向つた建築であります。此の希臘の建築と日本の神社建築とは其の行方に甚だ共通性のあることが感ぜられます。所がビザンチンあたりになると、内部で祈禱を爲し、禮拜をやると云ふことが主になつて居たやうな關係で、外はごうでも可いと云ふやうな考から、建築の外部の色も自然前述のやうなものになつたらしいのであります。

歴史上の古い建築に關係したことは是だけにして置きまして、一遍に飛んで近代建築の色のことをお話いたします。私が茲に近代と申しますのは、セセッションが全盛を極めた十九世紀の終り頃から後のこ

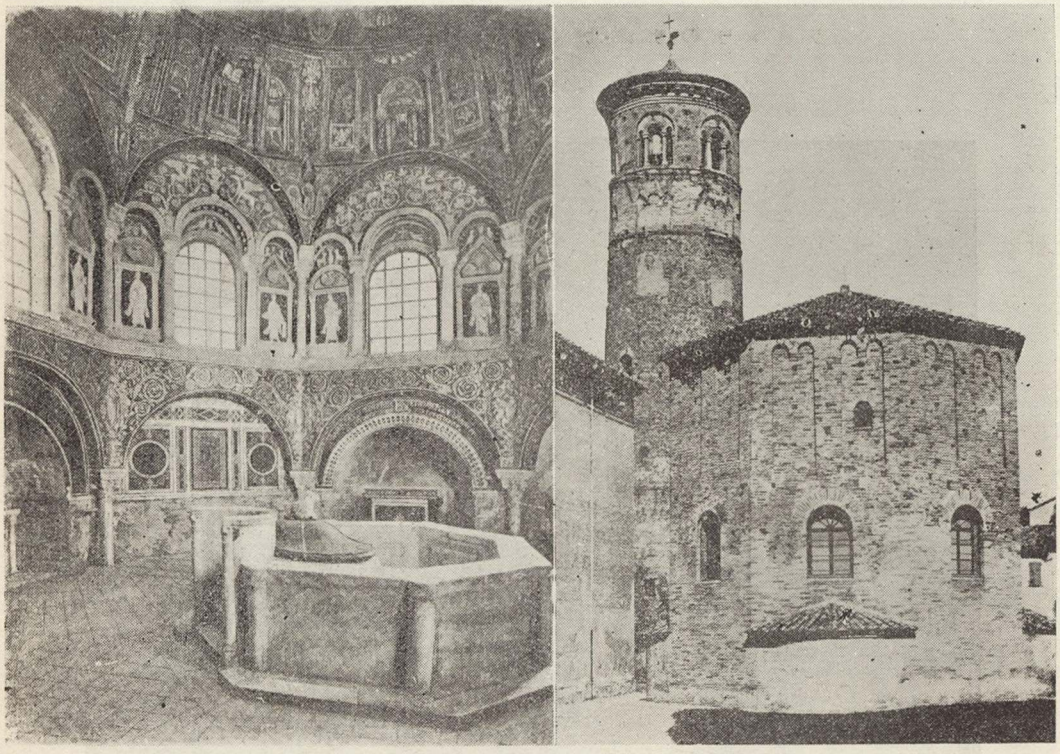


ギリシヤ殿堂の正面(オリンピヤのジユースの殿堂)

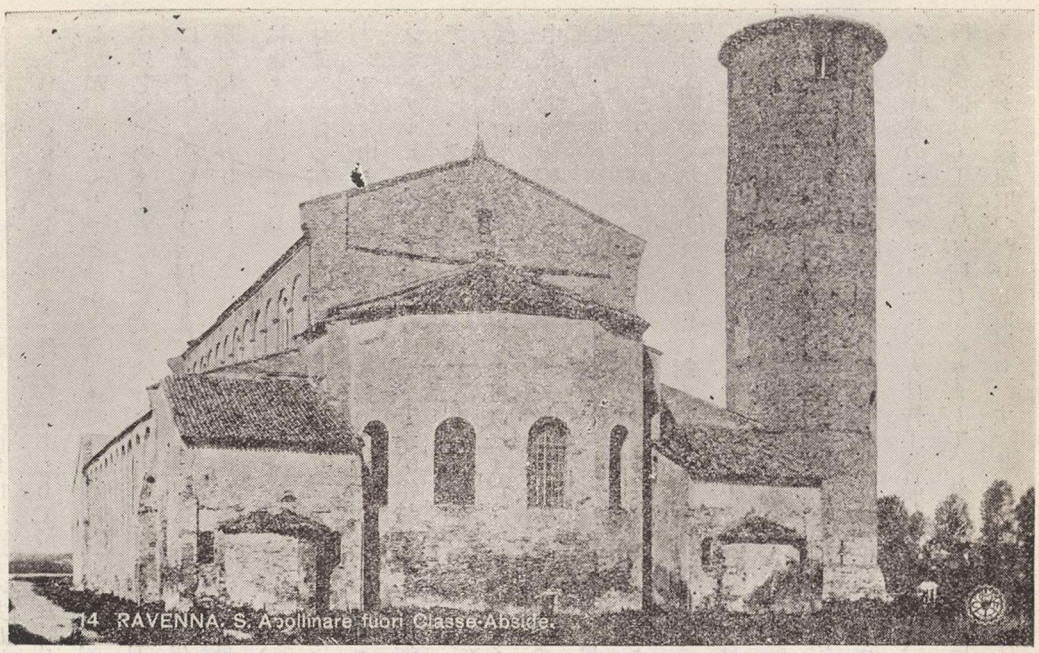
建築は大理石にて構造され其の表面は強い色々の色彩が施してあつた彫刻には金箔を施した跡も殘つて居る

とでありまして、恰度私が歐羅巴に居りました戰爭の少し前頃が、其のセセッシヨンの全盛期で、殊に獨逸あたりで最も盛な時分でありましたが、私もセセッシヨンと云ふものの本體に付て色々な面白いものを感じて居りました。兎に角セセッシヨンと云ふものは今日でこそ既に過去のものになつて居りますが、近代建築には非常な關係を有つて居るものでありまして、此の頃即ち十九世紀の終りから廿世紀の始めは色々の點に於て新らしい紀元への出發を示して居ますが、色の上に付ても一種の面白い傾向を示して居るものであります。尚こゝでセセッシヨンと申しますのは、今でも居りますウヰンのジヨセフ・ホフマンとかダルムスタットを中心にして天才的作品を殘して夭逝したオルブリツヒ、或は現在尚活動を續けて居るピーター・ベレンス（其の他獨逸墺太利に多くのオーソリティが居りますが）と云つたやうな人達を中心として大體一つの傾向を有つて居る連中のことを指すのでありますが、きう云ふ人達が建築と云ふものをどんな風に考へて居つたかと云ふことの話から進んで行かうと思ひます。（オツトー、ワグナーは之等の先驅者ではありますが色に對しては關係が淺いから省きます）

それでホフマンなどが最も著しいのでありますが、彼等は建築を以て恰も工藝品のやうに考へて、大きな箱でも拵えるやうな積りで建築をやつて居つたらしい。又ピーター・ベレンスの如きは畫家から工藝品に入つて、更に建築に移つた人でありますが、其の他ホフマンにしろ其の時分のセセッション式の人は皆工藝品をやつた人で、建築の取扱方が何れも工藝品と同じでありまして、外面に石を貼付けたり、テラコッタで緣を取つたりして居ります。其の最も著しい例は、ホフマンが千九百十九年でありましたか、白耳義に於て名前は忘れましたが

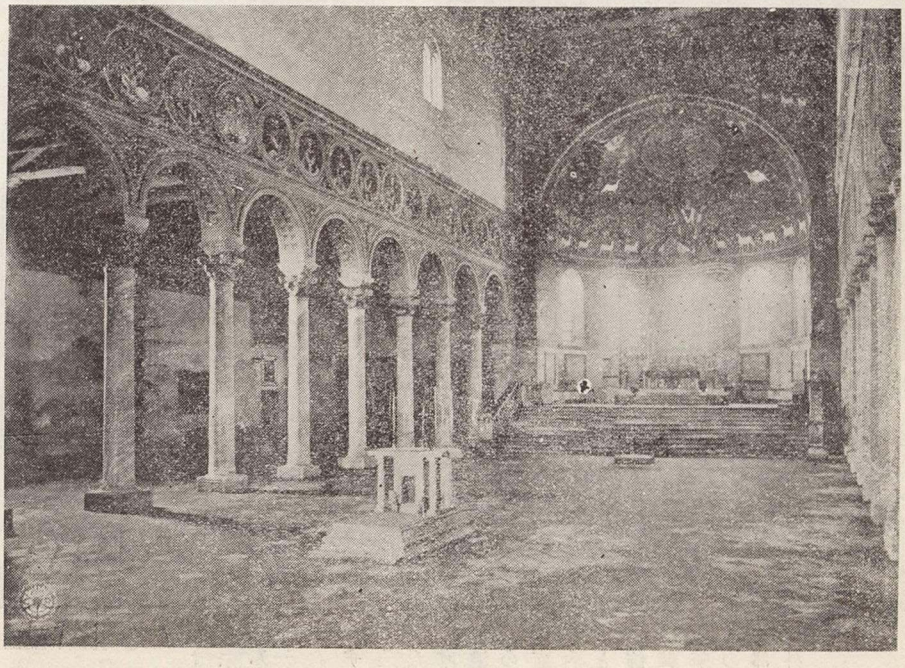


ラベンナのバプチストリー（ビザンチーンの例）
外部の無裝飾と內面の濃厚なモザイクを示す

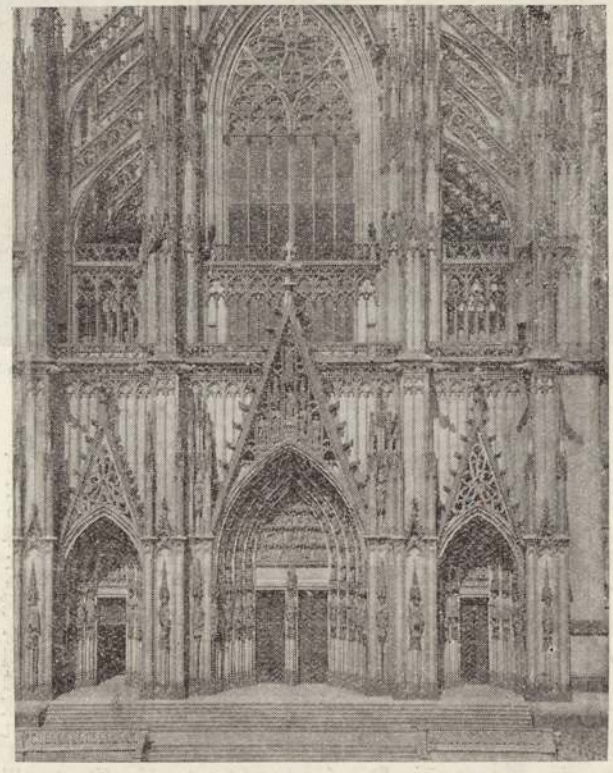


（ビザンチーンの例）

ラヴェンナのサン・アポリナーレの外部及内部

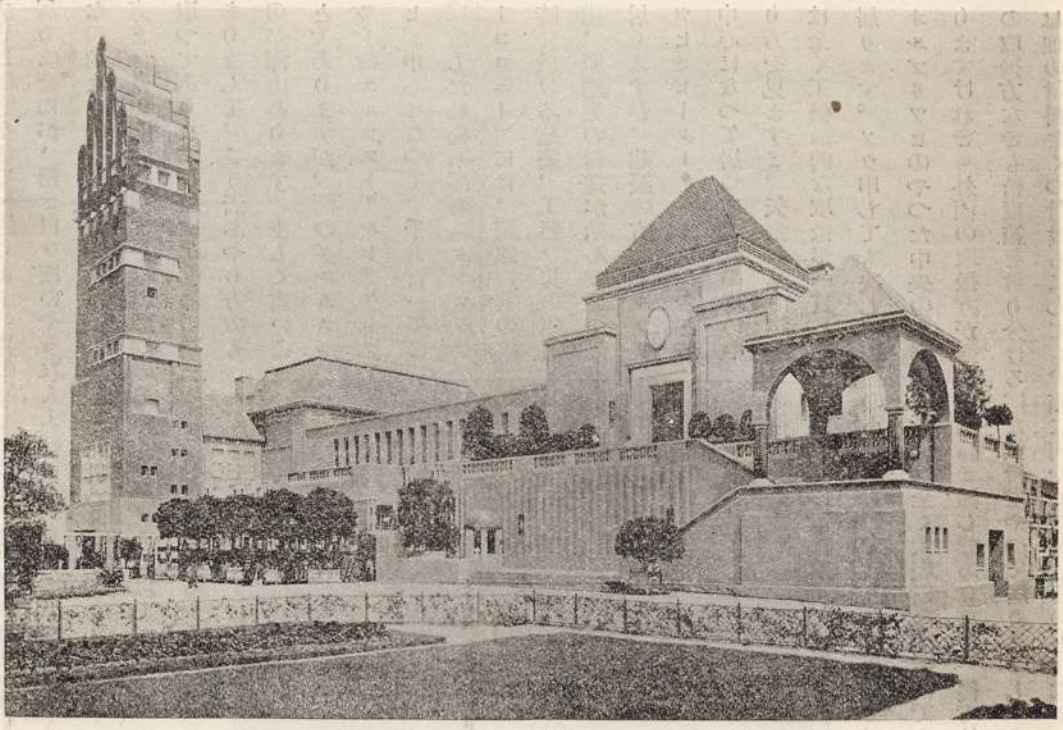


大きな邸宅を建て、居ります。其の邸宅を見ますと、私は實物を見て居りませぬが、殆ど白ツぽいやうな人工材料であらうと思はれる大きな四角なもので貼つてありまして、其の建築の隅に當る角の所全部と窓まはりの隅の全部とを細い彫刻のあるテラコッタで以てズツと縁か取つてあります。恰度工藝品の重箱のまはりに縁を取るやうな行方でありまして、さう云ふやり方のものが澤山あります。少しく古いことでありますが、例のダルムスタツトのエルンスト・ルトドウキツヒが中心となつて、千九百一年に完成した藝術家部落（クンストラーコロニー）には、獨逸の其の當時に於ける建築、工藝、其の他繪畫、彫刻等の新進が殆んど集つて居りますが、建築の方はオルブリツヒとピーター・ベーレンスとが中心になつて居つて、其の時のやり方を見ますと、矢張り其の建築は全く工藝品的な取扱が一貫して居ります。ソウ申しても決して規模の小さいものではありませんで、オルブリツヒのやつた中央の大展覽會堂等は全く大規模な構造物でありますけれども外面の取扱方が全然工藝品と同じであります。從て色の取扱方なども恰度箱を塗り分ける様な氣持でやつて居りますし、或は他の材料をくつ付けるにしても、箱に何かくつ付けるのと同じやうにやつて居ります。無論セセツシヨンの人々にも色々な範圍、色々な種類がありまして、全然それとは別な方法でやつて居る人もありますが、私の見ました範圍ではさう云ふ傾向が非常に著しく感ぜられました。ダルムスタツトのを持て來た積りで、忘れましたが、此處にベレンスのが一つだけありますから是だけお目に掛けます。



ケルンの大寺院

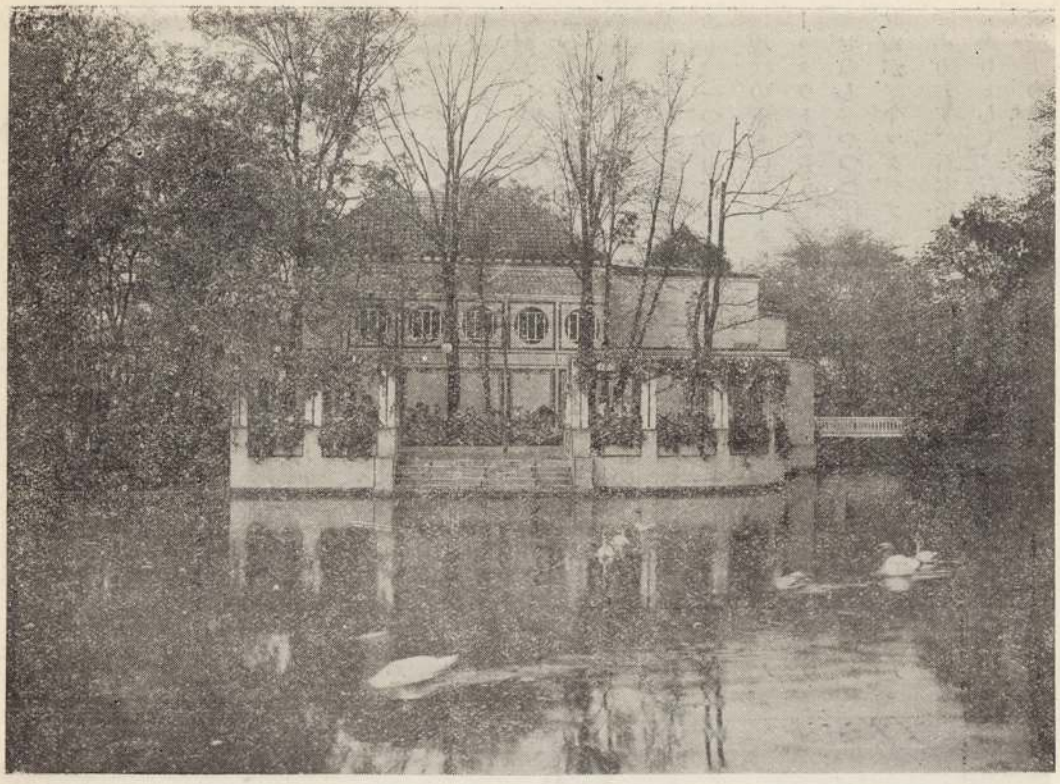
是は千九百六年の出版物で、今はベレンスも餘程變つて居りますが、此の當時はベレンスの完成したこの、最も能く其の特長を發揮されて居つた頃でありますが、それはケルンの池の端に建つたクラブのやうなものでありまして、此のやり方を見ますと、今申しましたやうに、是は漆喰塗で、實物は見て居りませぬが、多分線は黒だらうと思ひます。鼠がかつた白の壁に黒線で框を取つて、恰度箱を塗つたやうな氣持で、極く氣樂にやつて居ります、此の時分にピーター・ベレンスは可なり斯う云ふことをやつて居りまして、例のホフマンの行き方などもさうでありますが、是れは火葬塲の煙突でありまして——もう少し持て來た積りで、忘れましたが、先づ斯う云ふ風な行き方であります、セセツシヨンに關することは是だけにして置きまして、最近のお話に進まうと思ひます。



ジヨセフ•オルブリツヒ　（ダルチシユタツト市陳列館）

最近と申しますのは、即ち歐羅巴の世界大戰の後でありますが、此の世界大戰の後になつて、建築に對する考へが非常に變つて來たらしいのであります、それで其の前後に於ける大なる差異に付て少しくお話をして置きたいと思ひます。尤も私が今日茲でお話を致します最近の建築と申しますのは、最近の建築中の極く一部分ではありますが、可なり鮮な色彩を以て流れて居る一つのカーレントでありまして、恰度セセツシヨンが全盛を極めた樣に、今は又別な方面へ向つて進んで居ります。それに付きまして建築それ自身に付ての考から話を進めないと話がし悪いのでありますが、兎に角建築と云ふものに對する考へが非常に變つたらしいのであります。即ち建築に付て、それを實際に使ひます所の機能、詰り建築のはたらきと云ふものに大變重きを置くことになりました。

それでさう云ふ考へが力強く出て居る所の實際の用途と云ふものを基礎にした建築の形が生れて參りますと同時に、建築の色と云ふものに對する考へが又非常に變つて參りました。セセツシヨンの人が考へた樣な建築の外面の取扱と云ふ樣なものが全く無くなつて、全然別な機能から出發した考へ方で外側も取扱ふと云ふ事になつて來ました。從て今までセセツシヨンの人が取扱つて居た樣な裝飾と云ふものが全く意味の無いものだと云ふ考へに到着したらしいのであります。それはさう云ふ連中かと申しますと、佛蘭西のトニー•ガルニエ又はコールブツシエル、或は獨逸のブルノー•タウトなどでありまして、例のホフマンやベレンスなども近來は大體さう云ふやうな傾向に動いて居りますが、獨逸では例のウオーター•グロピウスなどの一派であります。後に寫眞をお目に掛けますが、さう云ふ人達が建築と云ふものを



ピーター・ベーレンツ氏　ケルンの音樂館（一九〇六年）

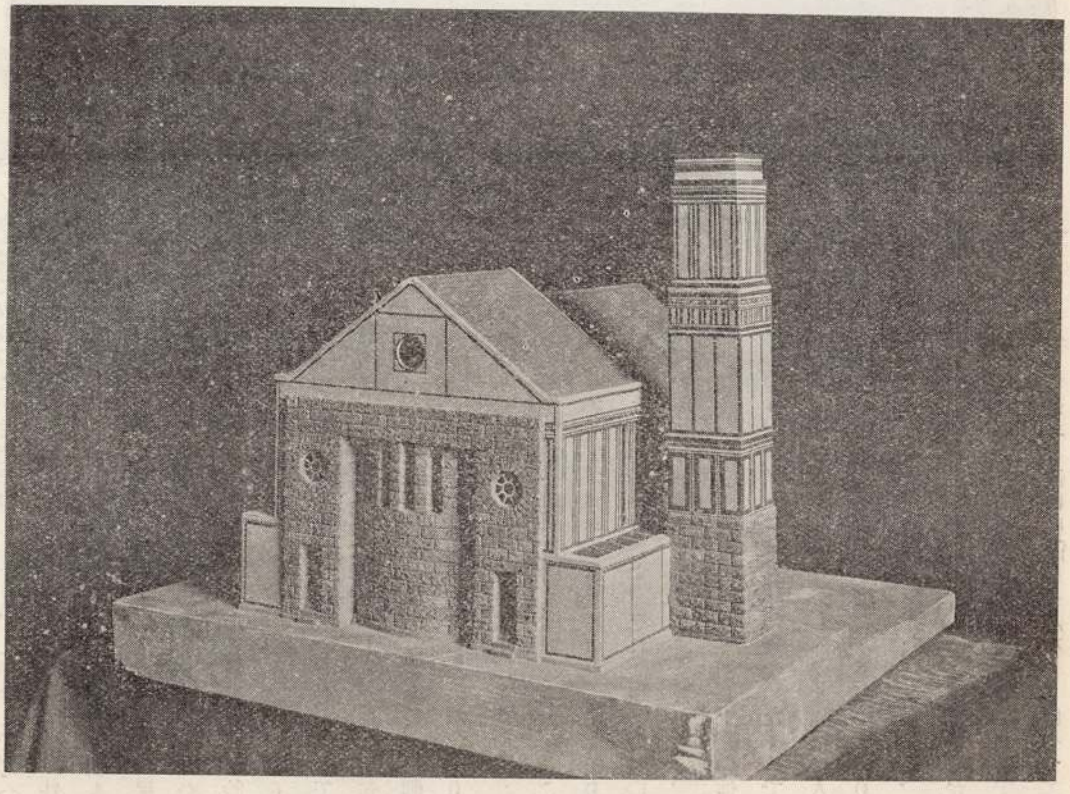
ぎう云ふ風に取扱つたか言葉で申しますと、先づ今まで考へて居た様な装飾と云ふものを殆んど除いてしまつて、建築の外側は全く一色で塗つてしまひます。（只ブルノー・タウトは新人の中の一つの例外でありまして色彩に就て非常に重大視して居る一人であります）それも、私は實際のものを見て居りませぬので、どんな色かハッキリ分りませぬが、殆んど白に近い、餘程白ッぽいものであります、今擧げましたやうな人達のみならずさう云ふ傾向の人達は大變澤山出て居ります、少しく遡つては佛蘭西の近代建築革命の元祖でありますトニー・ガルニエがやつた仕事は矢張り同一傾向を有つたものでありまして、外側はどうしてあつたかと云ふと、是も矢張り鼠色らしいのでありますが、鼠色のモルタルらしいもので唯粗く塗上げてありますがガルニエの建築は殆んど是で一貫して居る様であります。こゝに唯例外として前述のコールブッシエが最近ボルドーで造りました家には面白いことをやつて居ります、それは建築の角の所で可なり強いコンストラクトを使つて塗り分けて居ります、斯う云ふことは其の前には全く無いやうでありますし、其の他の人もやつて居ないし、コールブッシエも此の後やめたやうでありますが、獨逸の雜誌で紹介されて居りまして、其の中に人の目に不愉快な感じを與へないと云ふやうなことが書いてあります。相當に面白いものだと思ひますが、實際を見ないから、どんな色を使つて居るか分りませぬが、寫眞を見ると、片方が眞白に見えて、片方は眞黒に映つて居ります、是は全く例外でありまして、コールブッシエも他には餘りそんなことはやつて居

らぬやうであります。

尙ほ同じやうな事柄が千九百二十七年のストツクガルトの住宅展覽會に現はれて居ります。是は御承知の方もありませうがコールブツシエやグロピユースを首め其の他二十人餘の同じやうな傾向の人ばかりが集められて、一つの住宅博覽會が催されたのでありますが、それを見ますと、矢張り外側は皆眞白いやうな一色で出來上つて居ります。

そこで今申しましたやうな事柄を一括して考へて見ますと、近代の建築の色と云ふ風なものに對する考へ方は從來と全く違つてしまひまして、從前のやうな建築の色分けとか、一と色を變へるとか云ふ樣な考へは全く消えてしまつたものと考へて可からうと思ひます。即ち建築を一つの塊りとして、而も全體の建築群を一つの色の塊りとして取扱つて居るのでありますから、一つ〳〵の色がどんなになつて居るとか、部分的にどんなにするとか云ふ問題は全然無くなつてしまつたのであります。無論是は近代の建築としても、極く一部分の現象ではありますけれども、一つの力強い現象のやうに思はれます。

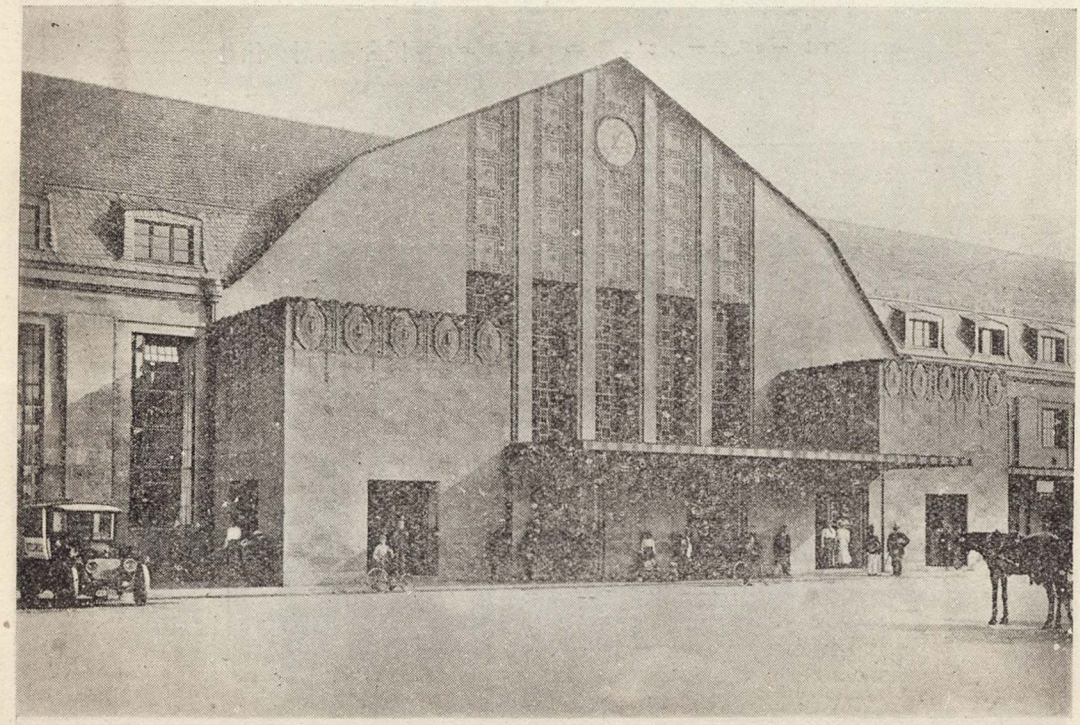
現代の新しいアーキテクトの中で色を非常に使ふ人はブルノー・タウトださうであります。此の人には私は實際會つて居りませぬし、やつた仕事も見て居りませぬから、ハツキリ分りませぬが、今マグデブルグ市の建築技術者が何かやつて居るようであります。石本氏が親しく會つて來られ、大變詳しく御存じでありまして、石本氏から伺つた話でありますが、改築をせずに安上りに市の體裁を揃へる爲に、家々の色を自分の理想に依



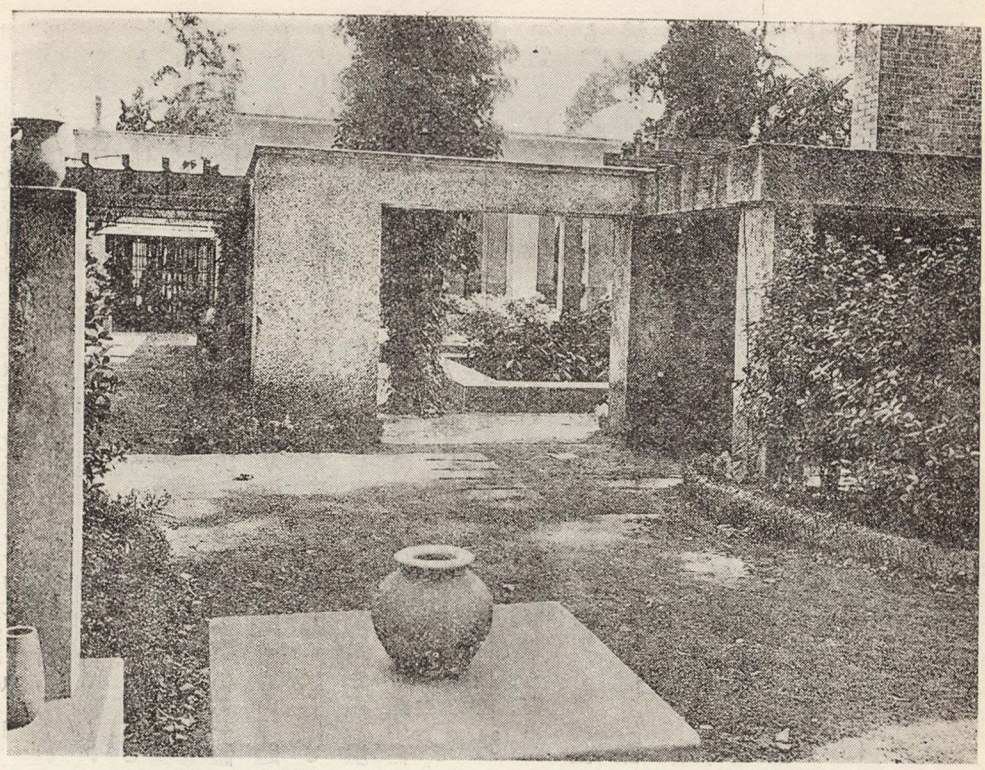
ピーター・ベーレンツ氏　火葬場設計（一九〇六年）

て塗替へて居るこ云ふことであります、實際ぞんな色を使つて居るか其處までは存じませぬが、可なり澤山な色を使つて居るらしい。即ち此の人なごは前述の人達こは全く反對に色でやらうと云ふ行方らしいのであります。併し私は親しく會つても居りませぬから、餘り詳しいことを申上げることも出來ませぬが、さう云ふ現象もあるこ云ふことをお話して、先へ進みたいと思ひます。

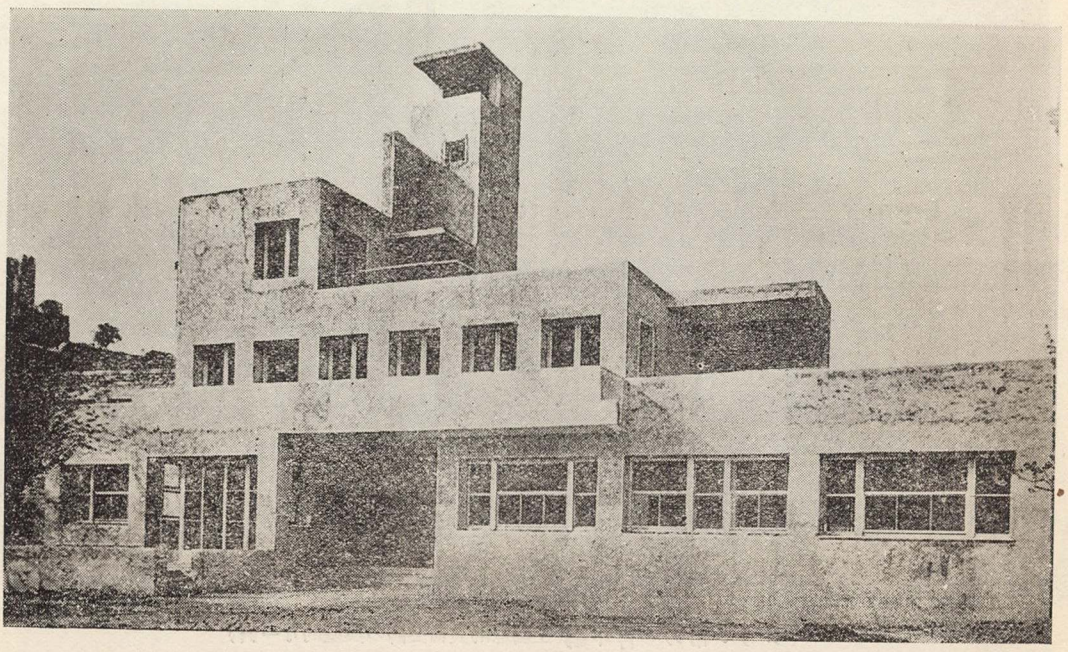
先づ是位に致しまして、最後の結論に移らうこ思ひます、仍ち一體色をぞんなにしたら可いかこ云ふ事は我々の考へなければならぬ問題でありますが、私は今日茲でそれに對する決定的な結論をお話し樣こ云ふ積りもありませぬけれごも、大體此の建築こ云ふものをぞんな風に考へたら可いかこ云ふことに付ての私の考へだけをお話して此の話を結ばうこ思ひます。是もなか〳〵難しい問題でありますが、一口で申しますと、建築こ云ふものに對する私の考へは、お互人間が骨折つて造り上げ、我々の集團生活を進めて行く一つの機關にしやうこ云ふものであつて、我々の集團生活に役立ち、人間の實際生活なり精神生活なりに何等か効果のあるものでなければ可けない。詰り人間の實際生活なり精神生活に効果の無い、群集生活に役立たないやうな建築では、悪い建築こ云ふ事になるだらうご思ひます。從て建築の色こ云ふ風なものばかりでなく、建築の形から、デコレーションから、大體の骨組から、總てさう云ふ風にして考へて行くこ、現在我々がボンヤリ建築こして考へて居ります中に隨分考へるべき餘地が出て來るやうに思ふのであります。それで建築とか藝術こか申しまして、大變やかましいこごも聞きますが、一體藝術こ云ふ風なもの、本質は何であるかこ云ふことに付て私の現在考へて居ります所では、人間の實際生活の

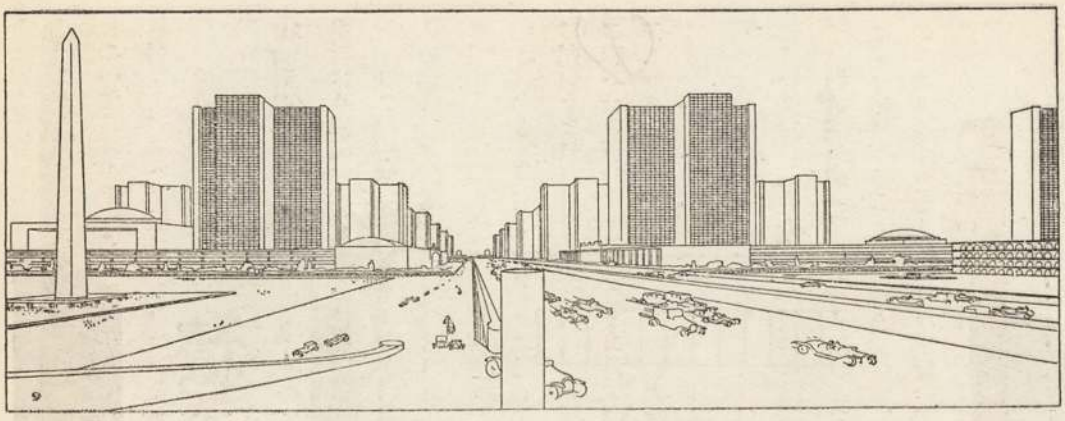


スチユルツエンアツケル(セセツシヨニスト)
ベルリン市の一停車場(工藝品的表面裝飾の典型的な一例)



マレー•ステーブン。トニー•ガルニエ兩氏合同設計の住宅





案造改市都の氏エシツブルコール・ル

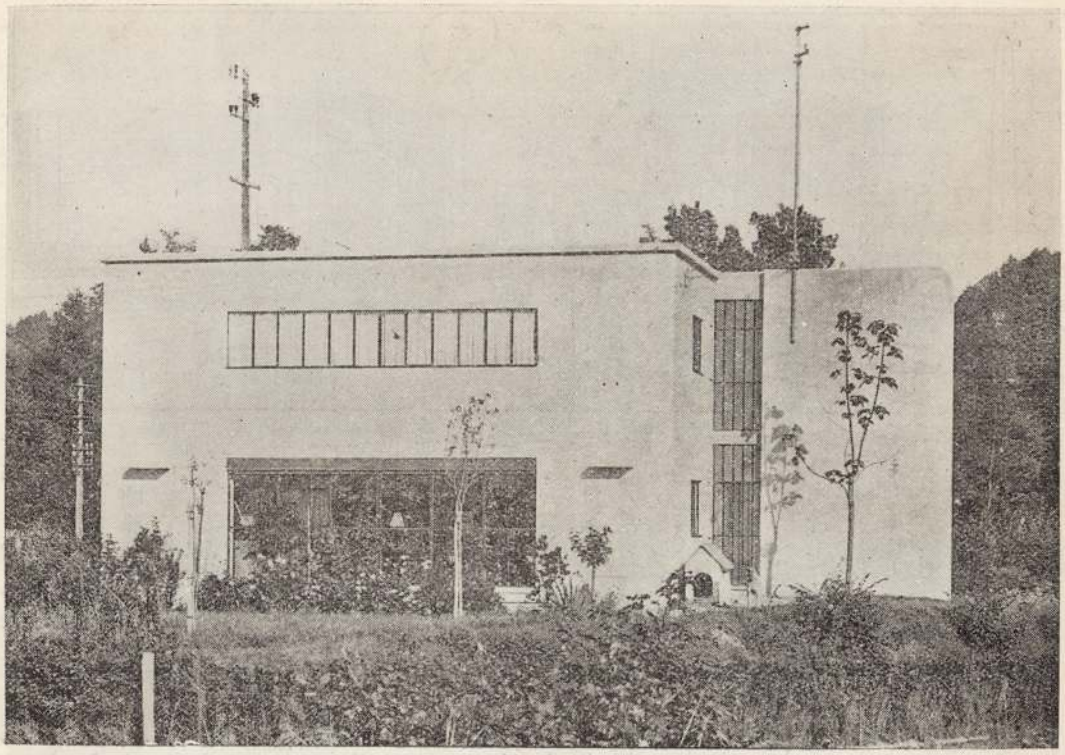
形は前述の機能と云ふものでありますが、精神生活の方に對する何か對象がなければならぬと云ふ風に考へられます。建築の色なんかも機能には何等關係は無い、赤くても白くても役に立つのは同じ事であります。併しそれを赤くするか白くするかと云ふことは人間の精神生活の範圍であると云ふ事を私は考へて居ります。仍ち此の人間の精神生活を培つて行く（藝術は總てさうでありますが造）役の一部分を勤めて居るのが建築の色と云ふ風なものではないか。建築の色と云ふ風なものは何でもないやうでありますが、場合に依ては人間の精神生活に非常な影響を及すものでありまして、成べく邪魔にならない樣な色を撰ぶと云ふことも一つの優れた行方であると思ます。トニー・ガルニエ等から近代建築に一貫して居る靜かな單一色等は其の部類に屬します。此の色と云ふものも人間の精神には隨分激しい影響をするものださうでありまして、是は餘り確な話ではないのでありますが、或色を餘り長く見せて置くと、人間が殆んど發狂狀態に近くなると云ふやうな事が何かに報告されて居つたのを讀んだやうに思ひますが有りさうなことだと考へます。

詰り建築の色と云ふ風なものも、さう云ふことを基準にして考へて行くことが必要でないかと思ひます。それで果してどんな色が宜いかと云ふ風なことは又なか〳〵難かしい問題でありますし、短時間の御話でそれに觸れる事は困難でありますから今日はそれには觸れないで先づ是だけで此のお話を終ります。

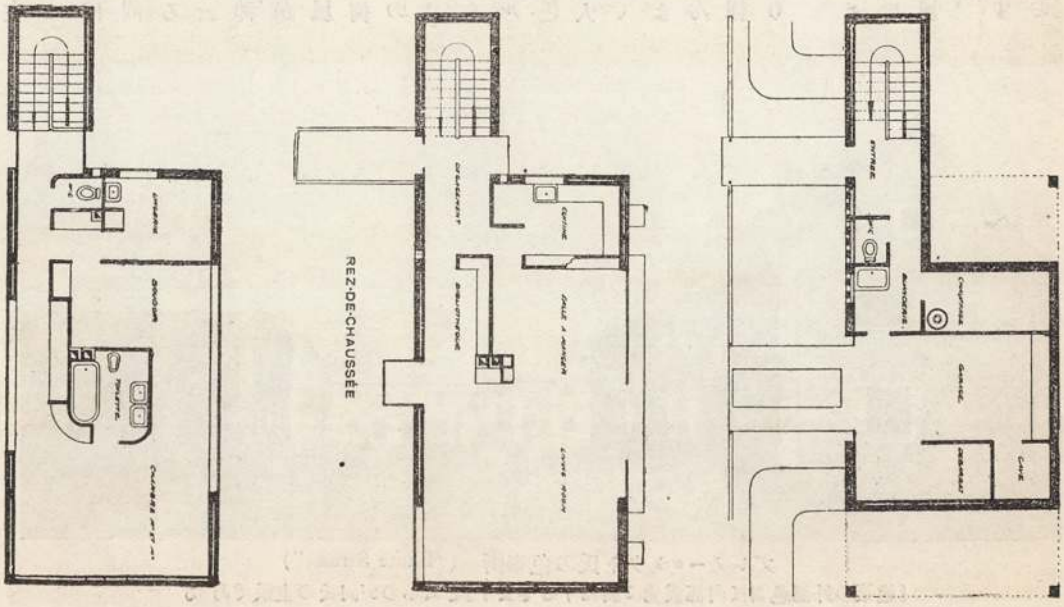


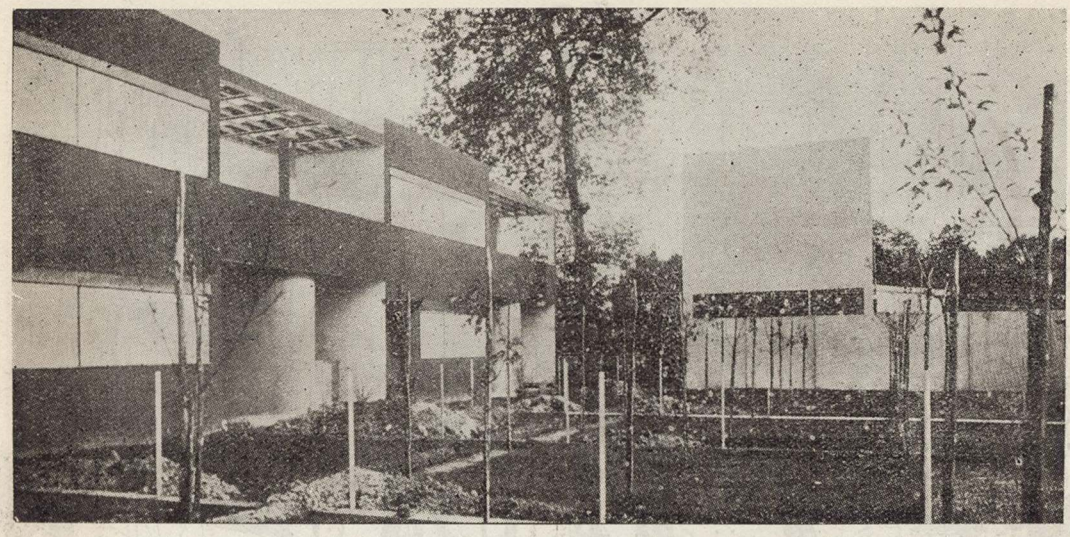
ブルノー・タウト氏の色彩街（"Bunte Strasse"）

『建築の外部が内部機能に調和するを要す』と云ふのが同氏の主張である

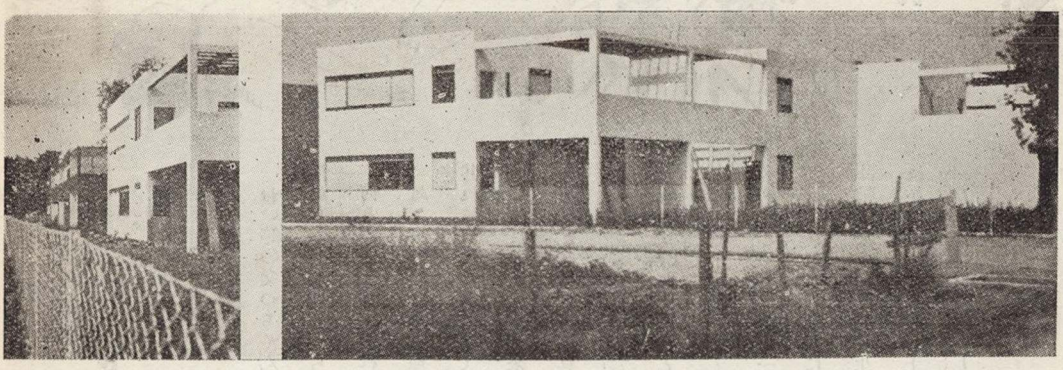


ル●コールブツシェ氏設計　郊外の住宅の一例

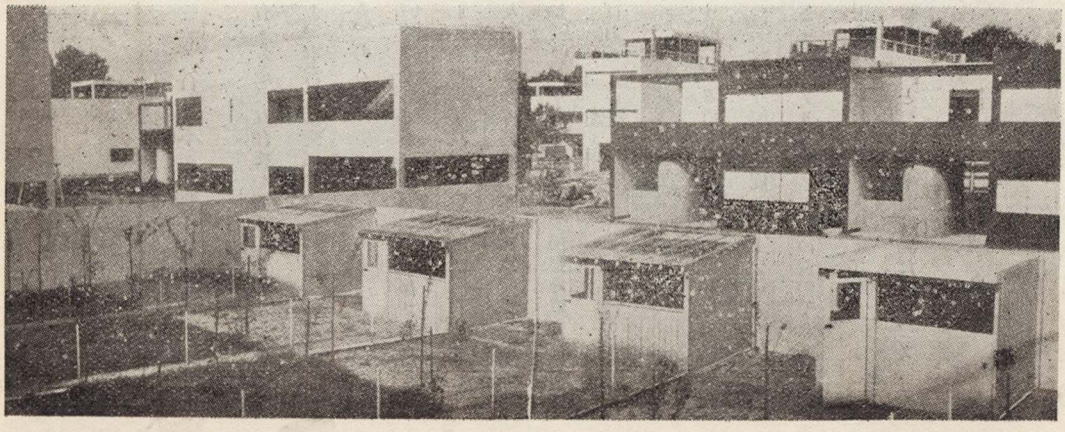




ル●コールブシエ氏がボルドウニに建てた新市街の一部



建築の表面を角の所にて塗り分けた例





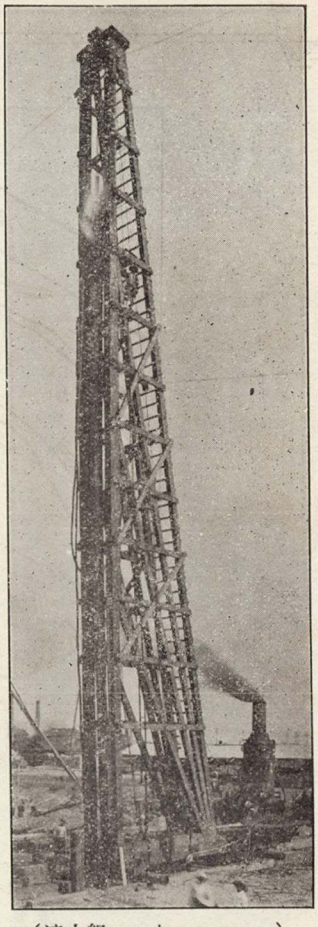
ストップ

谷本蘇牛作

おい等の父つちやんは人命を左右する重大な任務を務めてゐるんだよだから大臣よりもえらい人なんだよ、本當だよ交叉點へ行つて御覽。

何る程とうなづかれるものがある、ある時あこがれの日本へ南洋の土人連がやつて來て大ひに喜こんた事がある其れは文明の利機にではない、シリソリダンスは自分達の國計りだと思つてゐたのが日本へ來て、しかも人間ではなく自働車と自働車、さては自轉車と人間と言ふ具合に、しかも旗の振り方一つでぶつ初じめると言ふのだから嬉しがつたのも無理ではあるまい。

雨降り雨上り日和とこれではいつでもと云ふ事になるが日和りでも日本ぢや撒水の量が激しいので雨上りのぬかる道と同然である、其處でストップとやられると一勢に勢ひ餘つてお尻りが五十度のカーブをとつてズシーンと來るお互にですよ。つまりシリフリダンスを初めるのである自轉車なんか洋服先生思わずつるりと來るのは先づいゝとして此處に哀れを留める者即ちお上品振つた御婦人、顏と身體の半面は泥だらけ、プン〳〵どなつて見ても不可効力とはちとお氣の毒でネ。



（清水組ユニオンハンマー）

大阪の地盤と杭打基礎工事

池田宮彦

大阪は地震に對し果して安全か

突如大阪全市民の心膽を寒からしめた奥丹後の地震は去年三月七日であつた、其の一周年である今年の同月同日は至つて平穏無事に過ぎ去つて、もう大阪に地震は無かろうと人々に思はしむるに至つた、然し何時地震が再び當地を襲ふかは神ならぬ吾々には計り知る事が出來ない。

喉元過ぐれば熱さを忘れるの格言に漏れず、地震のあつた當座暫くの間は建築工事に大急ぎで筋違を入れたり、鐵筋を増し或は基礎を擴げたりした例が多かつた樣であるが、もはや一年も經つた今日此頃はソロ〳〵怖かつた事を忘れて元の木阿彌となり、追々危險建造物を建てらるゝ向もあらうと思はれる、此際再び我國震災に關する記憶を喚起して頂きたいと願ひます。

即說、奥丹後地震による大阪の被害調査を地圖上に行つて見れば甚だ面白い事が判る、それは次の一事である。

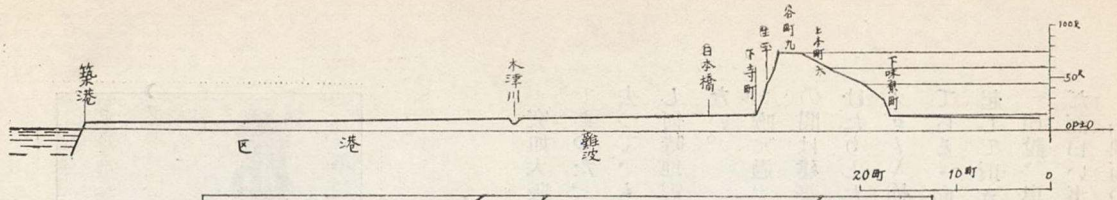
「地面の高さが海拔十五尺以上の土地には殆んど被害は無く一般にそれ以下の低地のみにあつた事」である。

而して右の十五尺以下とゝいふは何處の邊に當るか、又十五尺以上の土地とは何れの邊にあるか、即ち市の南部に於ては下寺町通りより東。船場、島之内。北に於ては東、西天滿。城東線によりて圍まれたる同線の以西の土地である。右以外の土地は十五尺以下の低地とゝいふ事が出來る、而も大阪は此の低地が市の大部分を占めて居る。此の被害と土地の高低とにかくの如き密接な關係があるとゝいふ事は即ち大阪では土地の低い所は地盤の惡い所で自然被害も多いとゝいふ事を裏書して居るものである。

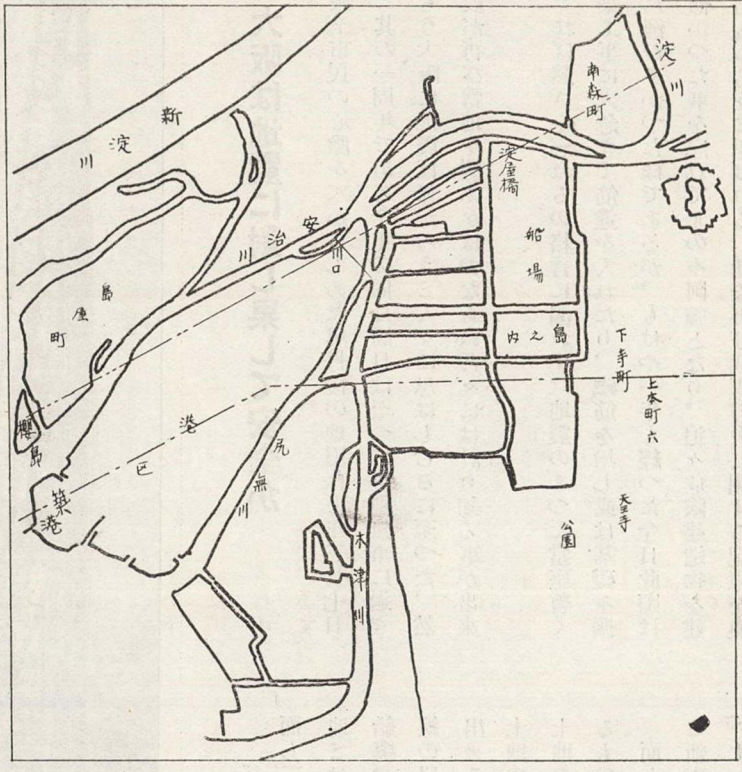
而して十五尺以上の土地の面積は舊市域の東部の一部分に過ぎずして新市域全面積の約十分の一に當るものであり殘り九割の面積は殆んどすべて地盤の良くない地域であるとゝ言ふも過言では無いのである。今上本町六丁目附近より西へ築港迄の土地の高低を畫いて見れば第一圖を得る、之れによつて高い土地が如何に少く低い土地が如何に多いかを知る事が出來よう。

而かも我大阪市の發展は將來必らず此の低い方向にある事は現今に

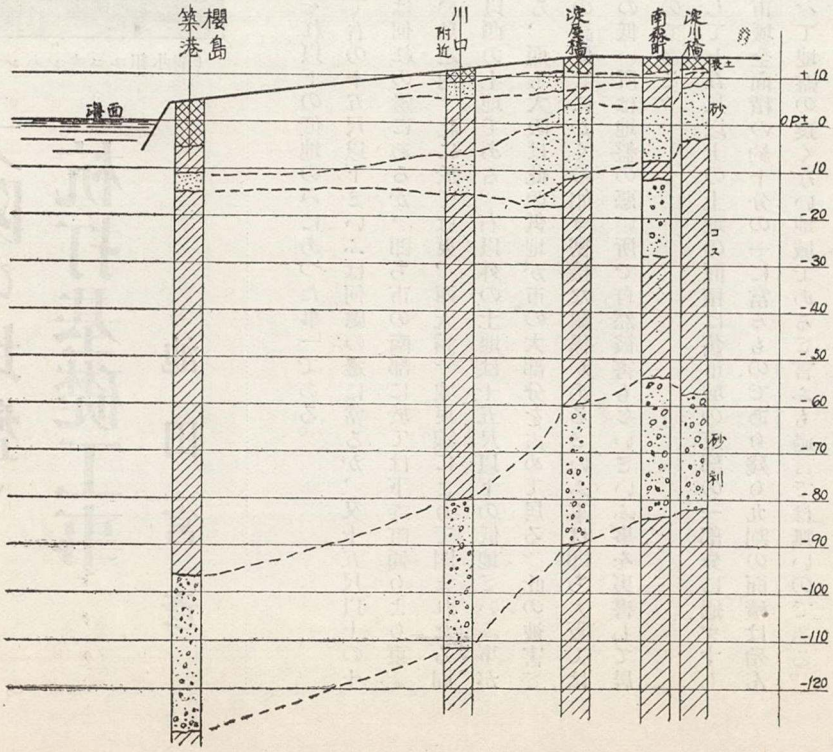
第一圖



第二圖



第三圖（尺單位）



於ける商工業發展の情勢に見て明かである。殊に築港の完成と北港の近き將來に竣成せらるゝあり、又河川の改修等相倚り以て西大阪一帶の低地は必らずや近き將來に工業、商業の中心地として非常なる發展を見るべき土地である。然らばかく發展すべき此の低地の地盤はどんなものであるか。余が今日迄に調査し得た多數の地質調査表によつて安治川に沿つた土地の斷面を畫いて見れば第三圖に示す通りである、而して第二圖は地圖上に此の斷面の位置を示すものである。

扨て第三圖に據つて地質を按ずるに此の方面の地質は、地表より十尺乃至三十尺に締り良き砂層ありて堅地層を造つて居る、此の砂は純粹の川砂であつて粘土を含まず眞に美くしい砂である。此の砂層は中之島より船場島之内、天滿方面にまで擴く且つ數尺より十餘尺に達する厚き層となり堅固なる地層であつて、每平方呎一噸乃至一噸半を安全に支持し得るものと推定せられる。此の地層を利用して建てられる大建築には、大同生命ビルデング。大阪圖書館。三越呉服店等がある。然し此の地層は地表に近き爲め、地下階を深く設くる場合には堅固なる此の砂層の大部分を削り去らねばならず、其の殘餘の地層にては安全に大建築を支ふる事が出來なくなる例がある。

尙此の砂層は西に到るに從つて次第に薄くなりて、築港、櫻島方面或は島屋町方面に到つては僅か二三尺と變り、且つ締りも良しからずして甚だ薄弱なる地層となつて居る即ち大建築を支持し得ないものと認められる。

次に此の層を拔いて下れば數十尺の間は實に軟弱なる地層であつて之れを「コス」と稱して居る、これはヤヽ青色を帶びたる鼠色の粘土に細砂を含むだ地層である、水分を多量に含み泥狀を呈し易く極めて軟かく往々貝殼を含むで居る事もある。

此のコスの層の下には(地下七十尺乃至百尺)砂礫層の堅地層がある而も其の厚さは二十尺乃至三十尺を有して其の締りも良く硬き事は恰も岩盤の如く實に申分のないものである。此の層は東より西に到るに從つて次第に傾斜し深さを增して居るが其の厚さは東西殆んど一樣である。又遙か西方尼崎方面迄一帶に存在する事が確められて居るのであつて、今後此の方面に大建築を建設せんとするものは、須らく此の地盤、堅地層を利用すべきである。

此の地層を利用せんとする基礎工事の最も簡單なるものは即ち長尺松杭打工事である。

長尺杭打工事

我國に於て建築工事に長尺杭の使用せられた最初の例は恐らく東京丸之內ビルデングの基礎工事であろう、これは長六十尺物を使用せられた筈である。

これ迄普通基礎工事に用ひられた杭材はすべて本邦產の生松丸太であつて、長さ四間乃至四間半を以て最長とし、之れ以上は殆んど使用せられなかつた、多くは二間乃至三間物であつた。本邦產の松丸太は長さ四間以上に於ては杭材として適する筋通り良きものが乏しい故にあまり長いものは用ひられなかつたのである。米松は强さの點を除いては筋通りも良く長さも七十尺內外迄の長尺物を容易に求め得らる、點に於て誠に理想的の杭材と認められて居る。

大阪に於ても近年盛に長尺松杭打工事が行はるゝに至つて米松丸太の輸入も多く、又杭打工事も近年長足の進步を示し、器械と職工の訓練良しきと相俟つて、長尺杭打工事も今日にては易々たるものとなつた、當市一流の請負店、大林、清水、竹中等を始めとし杭打專門の東

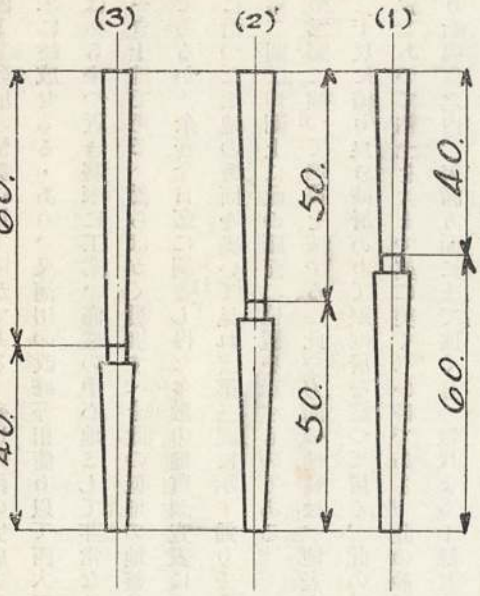
鄕外人事務所等に於ては誠に巧みに施工し得るに至つた、從つて今後は尙一層盛んに長尺杭打工事が應用せらるゝものゝ考へらるゝのである。故に余は茲に少しく其の工事上に於ける得失を論じ、今後使用せらるゝ方の御參考にならば眞に本懷に過ぎない次第であります。

杭材の長さ

今堅地層が地下八十尺位いに在る場合に於ては基礎コンクリート下端より杭先迄は七十五尺内外(地下室無き場合)若し地下室あれば六十五尺内外となるを以て、杭材は一本物にて購入する事が出來る、即ち末口八寸内外にて長七十五尺の米松生丸太を使用せば元口は一尺二寸乃至一尺四寸位いのものとなる。

若しも之れ以上地層が深い場合に於ては一本物にて購入する事は不可能である。故に杭は二本繼として用ふる事となる。米松は船積の關係上七十五尺を以て限度と考ふべきである。然らば長九十尺乃至百尺位いの長尺杭は何尺物を二本繼とするか。即ち其の長短の組合せに次の三種を生ずる。第四圖の如し。之れは五十尺二本又は四十尺と六十尺或は六十尺と四十尺である。

第四圖

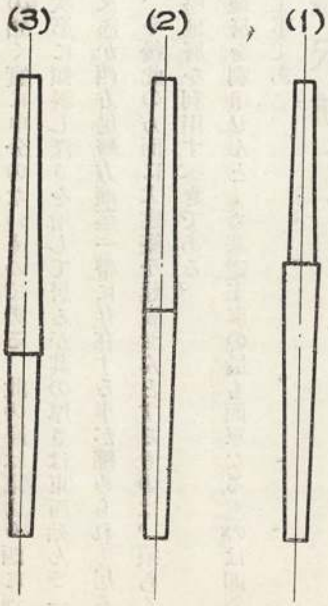


材料註文上の便利なる點に於て又經濟上並に杭の採り易き(曲り少き一定のものを揃へる事)點より考ふれば、同長のものを購入するを最も便利と考へらるゝのである。これは註文手續、運搬の便利、檢收容易(合格多き點)、杭打櫓の高さに於て六十尺物よりも五十尺物を打つ方が低くて濟み櫓の工費、其の移動取扱容易等の點に於てである。

次に打込の難易より考ふれば(1)よりも(2)又は(3)の方が容易である、これは初めに長きものを打込み置き次に繼手を設けて短き杭を載せて下の長いものを打ち下げる事は、實際上打ち下り難く、不得策である故に(2)又は(3)を選ぶべき事となる。

以上述べた所は杭の末口を下にして打ち込む場合である　今一應杭の元口と元口とを繼ぎ打ちする場合について考へて見よう、第五圖に

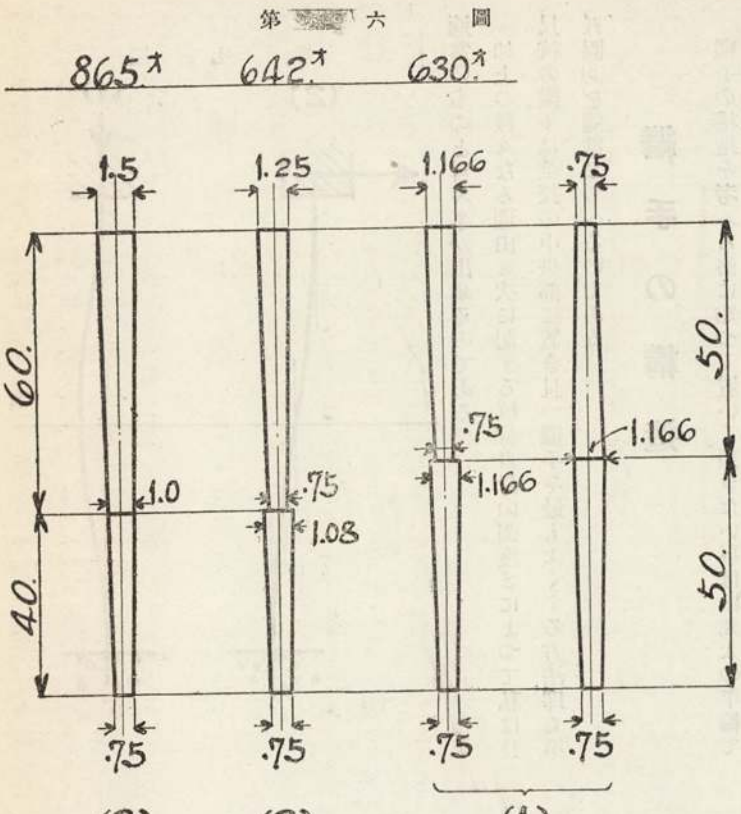
第五圖



此の繼杭組合の種類を示す。

杭材は太さに比して長さが非常に長きを以て打込みに當りてハンマ

第六圖



ーの一打撃ごとに横振れを生ずる、然し杭先が相當の深さ（全長の約三分之一）に達すれば太さと長さの比小さなり且つ先端が地中に入りやや固定せらるゝことによりて横振は減少し、杭の折損又は繼手の破壞を防ぐことが出來る、多くの繼杭失敗は此の横振れによる繼手の毀損に基くものである。第五圖(3)に於ては最後迄杭の最も細き部分が地上に殘りて横振れ多く甚だしく危險を感ずる、但し繼手は第四圖の場合よりも太いが實驗の結果は(1)又は(2)の方が(3)よりも良好である。然るに前述せしごとく(1)の場合は長き杭を打込みたる後短き杭にて下の長い杭を打ち下げねばならず、此の點が施工能率上不利な點となるから結局(2)の組合を選ぶべきか。

次に各種の組合せに於ける才數の比較を取つて見よう。今杭の所要全長を一百尺と假定し、五十尺二本繼又は六十尺と四十尺との組合せとし、末口は9吋（七寸五分）と假定す。米松杭材の太りは間に付約五分乃至六分であるから今之れを五分と考へ、其の才數を計算せば第六圖に示す通りとなる。即ち之れに依れば五十尺二本繼の場合が最も才數少くなりて經濟的組合せと言ふ事が出來るのである。

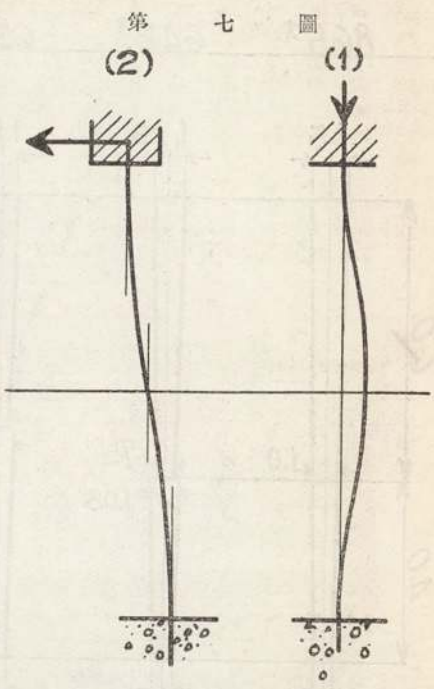
繼手の位置について今少し他の方面から考へて見よう、今假りに第七圖の如く杭の先端のみ堅地層に達し其の他は極めて軟弱な地層中に在るものと考ふれば杭は恰も長柱の如き働きをなすものと考へられる、而も先端は堅地盤中に、上端はコンクリート中に固定せられて居るから兩端固定の長柱と考ふる事が出來る、故に長柱の理想的形狀は中央部が最も太く、上下に到るに從つて細くなつて居るものである、これは第五圖(2)に示すものに相當する。

次にこれに地震横力がかかつて基礎を横へ移動せしめんとする場合を考へて見よう。かくの如き長尺杭は其の先端迄ハンマーの打撃力は充分傳らず（打込の時）堅地層中にあまり深く入り込み居るとは考へられないけれ共、其の附近の地質は相當コンパクトのものであり且つ上層よりも壓力大なるを以て充分固定せられた狀態にあるものと考ふる事が出來る、故に若し頭部を充分、少くとも一尺位い基礎コンクリート中に打ち込み置けば上端も亦固定狀態となりて此の基礎に横力がかかる場合に水平に移動し第七圖(2)の如き狀態となるであろう。此の場合に杭の全長の中央部又はそれより上に虚點を生ずるものと考へられる、故に此の虚點（反曲點）に繼手を置くを最も

適當のものと言ふ事が出來るのである。

如上の種々なる理由と次に記する杭材自身の强度とによつて私は長尺杭の繼手は全長の中央部に置き且つ繼手を最も太くする方法即ち第五圖(2)を適當と考へるのである。

第七圖



繼手の構造

繼手の構造を考ふる前に知つて置いて頂きたい事は松丸太の年輪であります、現今我國へ杭材として輸入せられつゝあるものは原名をDouglas fir と稱せらるるものであるが之れを詳細に調べて見れば明らかに二種類ある、一は年輪が非常に粗くて削りたる色が赤味勝のものと他は年輪が非常に密で削り口が黄味勝のものとである、今此の二種を色によつて赤と黄とに區別して比較せば次の如し。

年輪數の比〈赤　直徑一尺　廿五年
　　〈黄　直徑一尺　百廿年

尤も右の太さと年齢の比は極めて概略的の數字であるがかくの如き差があある事は事實である而して年輪の密なるものが粗なるものよりも强いといふ事は誰れしも想像し得る處であろう、今小形材料によつて實驗した結果によれば、第八圖に平均値を示す通り、密なるものの强度を1とせば粗〈赤〉なるものは其の$\frac{3}{4}$に相當して居る。實驗の結果は二割乃至二割五分弱いと言ひ得るのであるから、同じ杭材としても赤よりも黄の方を採用するを安全と考へられる、勿論此の實驗は木理に平行に壓力を加へたものである年輪の粗密によつて强度に差のある事は、赤黄の區別のみならず同じ黄材のうちにても其の樹心に近い所は外輪



Douglas fir 赤
平均强度　5700/□″



Douglas fir 黄
平均度强　7800/□″

第八圖

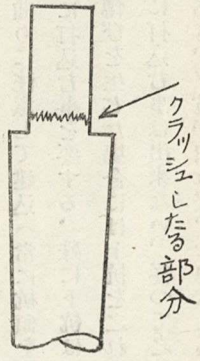
よりも餘程年輪が粗い從つて同一材料のうちにても中央部と外周部とは強度を異にするものと考へられる。單位面積の强度の比を取れば中央部は外周部よりも（白太の意に非らず）ヤヤ弱いものと推定出來るのである。故に杭の繼方を、元口と元口と突付けにすれば差支はないが若し元口と末口と突付けとせば、元口の方は末口と同じ太さ迄、其の外周部を削り去つて中央部の年輪の粗い所のみを殘し元口の形を凸字形に拵へる事となる、此の部分が杭の繼手に於ても弱い危險な部分となるのである。一般に材料の斷面が急激に變化を生じて居る部分は種々のショックを受けた時に最も折れ易い部分となるものである。故に杭材の太さが元口と末口と殆んど同じ太さでない限り、元末を突付け繼とする事は良しくないものと考へるのである。

第九圖は杭材の元口を細く削つて繼打を行ひハンマーの打撃によつて此の部分が「クラッシュシ」した例を示すものである。其の「クラッシュ」の狀態を寫したものが第十圖である。

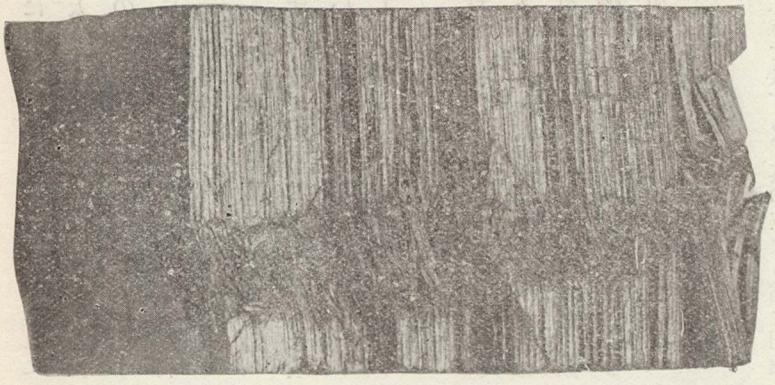
繼打工事に於てはかくの如き事は誠に起り易い事であるが此の異狀を發見するには極めて些細な注意を要する、又地中深く入つて起つた場合にはもはや手の付け樣なく、此の異狀を感付いても其のまゝ放置せらるゝ事も無いとは言ひ難いのであつて技術家はかくの如き點をよく考慮すべきものである。悔を百年に殘すこいふ事は良い事ではない

第十一圖は杭の繼手を示すもので(1)は繼杭の最初に用ひられた例であるが、之れは杭打工事中に此の添木等が破壞せられて殆んど用を爲

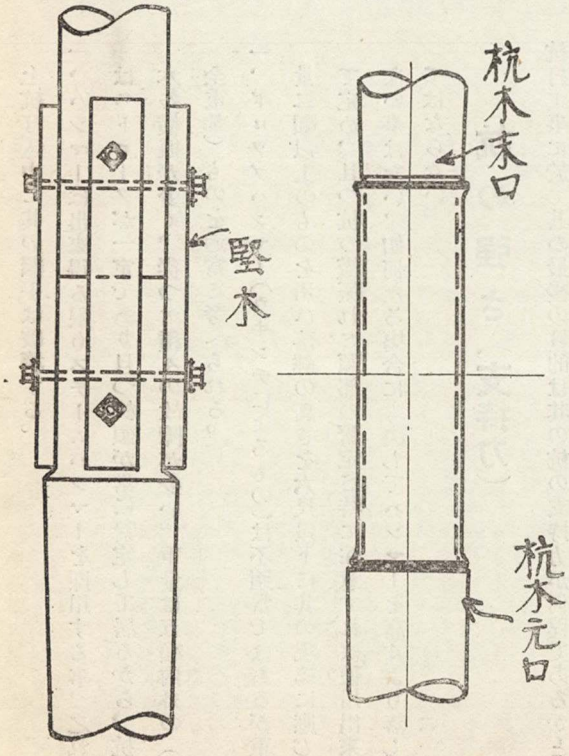
第 九 圖



第 十 圖　第九圖のクラッシュしたる部分の一部を實大に寫眞



第 十 一 圖



さないものである。2は現今一般に用ひらるゝもので鐵管を用ひ此の管の中央にて上、下の杭を突付けに致すもの、上、下の木口は丁寧に削り胴搗を完全にし、太さは管の太さと全く同じに造り、或は管の内徑よりもやゝ太目に造り之れを管の中に押し込む樣にするを良しとす此の爲めに管の兩端はヤヤ漏斗形に擴げて造り杭木を壓し込むに便利にする。

管は杭木によつて壓し擴げらるゝ張力を受ける事となるを以て之れに抵抗し得るだけの強いものを要する、故に引拔鋼管の如きものを最上とすれ共價格も高く手に入れ難いから通常は$\frac{1}{8}$吋以上の厚さを有する鈑を用ひ曲げ鋲鑞又は熔接として使用せられる。管の長さは太さの四倍以上を適當とせられる。

繼手に逆目釘、或はスパイキを打つのは單に管の移動を防ぐに用ひらるるのみであるが、之れはあまり役に立たないものである。米松は材質が割れ易いものであるから、釘を打つた爲めに縱に割れ、釘の數の多い場合には此の釘打の爲めに繼手を全く破壞するに至る事があるから餘程注意を要する。むしろ、釘は打たない方が安全である。

打込方法

繼杭の打込方法には種々の點に注意を要する、其の主なる點を列記すれば次の如し。

一、垂直に打込むべき事、杭の曲りに注意して建込み常に杭頭を緊定する方法を採り轉びなき樣に打込む事を要する、殊に下杭は一層注意を要する。萬一下杭が轉びを生じた場合には上杭を之れに繼ぎ如何にしても之れを垂直に打込む事は出來ない、從つて之れは失敗に歸すると考ふべきである、下杭が曲れば、十中八九迄は上杭打込中に其の繼手は破壞する。

一、ハンマーは出來得る限りスチームハンマーを採用する事、之れはストロークが一定であり且つ杭頭が常に緊定して居るから、杭木の橫振が少く、從つて種々の故障が少い。重量は五噸內外の（全重量）ものを適當と考へられる。

一、ドロップハンマー（ウヰンチによるもの）は不適當ではあるが重量二噸以上のものを用ひ落錘の高さを六尺以下に其の現場に應じて定め、且つ杭の橫振れと頭部の緊定と特に注意すれば使用出來ない事はない、如何なる場合にも決してハンマーを高くより落してはならない。

杭の強さ（支持力）

杭打工事に於て其の最後の目的は其の杭の支持力が何程であるかといふ事である、換言せばかくの如き長尺繼杭に安全支持力を何程と推定すべきかといふ問題である。之れは杭の生命である。

實地の例によれば築港、櫻島方面に於ては、重錘の重量二・二噸のものを高さ六尺より落して沈下は$\frac{1}{8}$吋乃至$\frac{1}{4}$吋である。之れをエンヂニアリング、ニウスの公式に代入せば

$$L=\frac{2wh}{S+1}$$

$$=\frac{2\times2.2\times6}{\frac{1}{4}+1}$$

$$=21.1\,TONS.\quad\cdots\cdots\cdots\cdots\text{但 } S=\tfrac{1}{4}$$

若しSを$\frac{1}{8}$吋とせば結果は二三・四噸となる。

即ち此の結果　二〇噸內外といふ事になるのである。

而して松杭それ自身の應壓強度は何程あるか。第八圖に示す通り其の

強度は毎平方吋五七〇〇吋乃至七八〇〇吋と實驗の結果は現はれて居る、然し之れは充分空中にて乾燥したる材料であり又、小形試驗材によつた結果であるから、標準に採用し得る程度の試驗とは言ひ難い。今 ELASTICITY AND RESISTANCE OF THE MATERIALS OF ENGINEERING, BURR 氏の著書によれば、小形供試材の耐壓強度と大形供試材のそれとは著しい差があつて前者の強度の約八十五パーセントが後者の強度となつて居る、そして此の大形材の強さは毎平方吋四二五八吋と示されて居る。前述の杭材を實驗した結果の平均値は六七五〇吋となる之れは小形材なるを以て大形材に對する推定値を其の八五パーセントとせば毎平方吋五七三七吋となる、然し乍ら BURR 氏の著書は幾多の實驗の結果であるから此の方をより多く參考とし强度を毎平方吋五〇〇〇吋と假定す。

然るに復興局技術試驗所報(田中豚吉氏)によれば木材は含有水分の多少によりて强度に變化を生じ、含水量三十パーセント以上に達せばすべて乾燥材の强度の約三割の强度となるとあり。杭は常に地下水中にありて多量の水分を含有せるを以て、其の强度は前記五〇〇〇吋の三割即ち毎平方吋一五〇〇吋と假定するを最も適當とす、而して杭材の太さは其の末口に於て九吋なるを以て(本文の太さの假定)此の末口面に於ける耐壓强度は

$$P = 4.5^2\pi \times 1500$$
$$= 9500\# \text{ or } 42.4 \text{ tons.}$$

今安全率を2とせば杭上の安全荷重 $P = 21.2$ tons. となる、勿論此の場合杭は長柱として作用すれ共土壓によりて橫曲は生ぜざるものと假定する故に直壓のみを考へる。

此の値は前述の杭の支持强度に關する公式によつて得た値と殆んど一致するを以て杭の安全支持力は二十噸と假定するを妥當と考へるものである。(以下次號)

建築土木資料集覽刊發

本協會に於いて後援者せる建築土木資料集覽刊行會に於いては曩に發行せられた 建築資料共同型錄及土木建築資料總覽と其事業を合同する趣旨のもとに今回建築土木資集覽を刊行する事となつた由あでる、編輯方針左の五項目を擧げベストを盡すとの事である。

(一)建築及土木資料の全部を蒐集する主意を以て、工事用材料は勿論、汎く各種設備及び各種機關に關する記事を網羅すること、

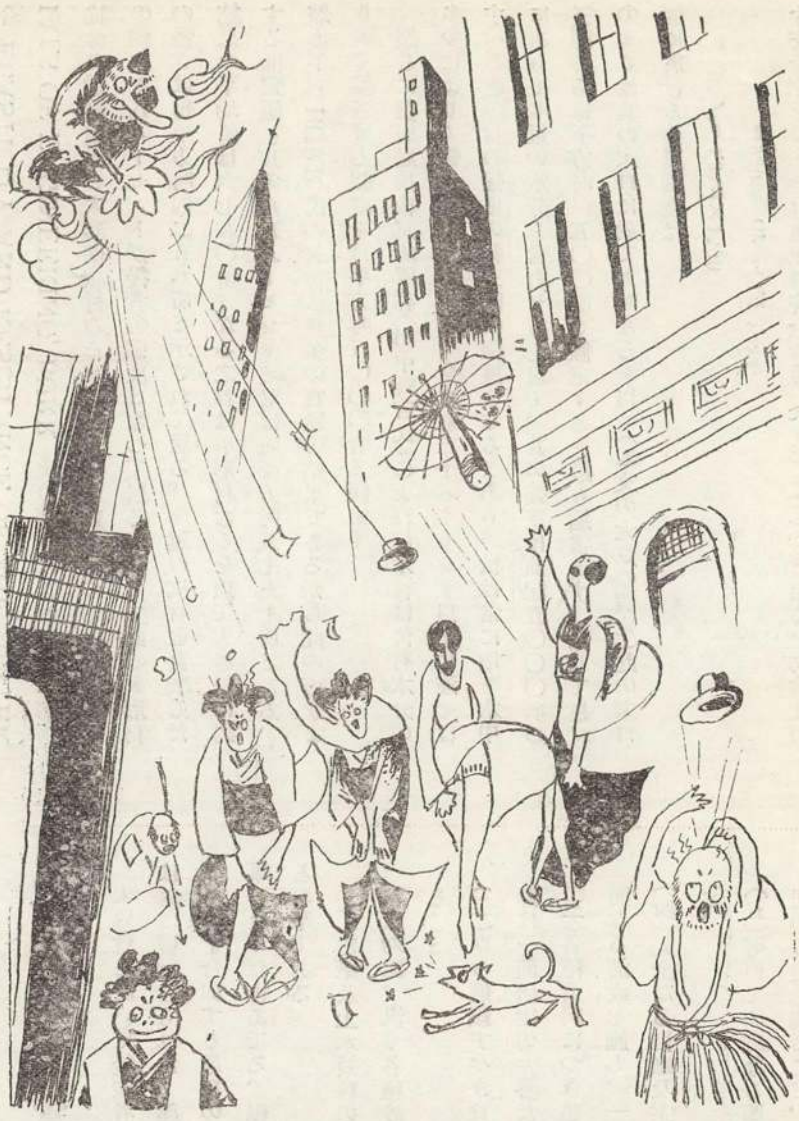
(二)專ら信賴すべき資料の集聚紹介するに努め、本書への收錄は一面信用の左券たるに至らしめること、

(三)各種資料につき整然たる分類體系を與へ、之れに詳細平明なる解說を施し、一般研究上好個の參考書たらしめること、

(四)完全なる目錄及索引を作製して檢索自在の便に供すること、

(五)努めて明細なる圖解と、精巧なる寫眞版とを挿入して書册の完美を圖ること、等であります。

尙詳細は本誌廣告欄第二十五頁を參照



ビル嵐

谷本蘇牛作

天狗風を恐れる者カッパ屋のみに留まらない、世は移り星は變つても昔ながらに天狗様は相變ず呑氣で茶氣もたつぷりやみそふもない近頃は都が面白とて都大路の辻の角々に鎭座在して大いに吹き嵐されては悦に入つて御座るが是れを世にビル天狗嵐とか言つて若い女に恐れられてゐるのも面白い文明の副産物である。

一度び此のビル嵐が見舞ふとたれ彼の差別はない、が特に目に立つモガさんは不良老年の毒商に引掛つたよりも恐ろしいとか、第一スカートの短いものは大禁物、サツト吹き嵐すと一勢に前をおさへて最敬禮よろしく、少しなれた者では、クルリと廻り別にワンとは言はないが、續いて帽子をとるとらなきやプイと吹飛ばされる事は請合ひ、扨困つた事には其時百燭光かチカ〳〵と光る頭に手をやるがすき間の光り哀れなるべし、パラソルにはさつさと其手を離れて空中へ、ショールはくる〳〵舞つてのた打ち返す丁度大蛇の斷末を連想させるのもあるひは新調のその苦しさでいもあらうか、勿論大事な髪はモシヤ〳〵で結つた計りの御自慢も臺無しではちと氣のもめる事ではある。

斯くして此のビル谷を出てほつと一息初めて人間性に還るのであるが、只此の人間苦に對して大いに悦に入る者天狗と辻のいざり計りである。

建築と思想（一）

會員　八木幸次郎

緒論　建築とは何ぞ

建築と云ふものは其の時代の要求によつてその時代の思想に培れたる建築從事者の頭腦と腕とによつて出來上るものとするならば、其の時代の思想と技術といふものは直ちに建築に反映して固定せらるゝものと云うても差支あるまい。

私をして云はしむれば建築と云ふものは、時代思想と時代技術の共同的固定作用に外ならぬのである。然らば思想を左右するものは何かと云へば、各人の知情意の結晶を細胞とする觀念の傾向であつて、技術といふものは建築從事者の知情意の結晶を細胞とする觀念の傾向の表現に外ならぬのである。故に健全なる思想を有する時代に出來上つた建築は健全なるものとなり、不健全なる思想を有する時代に出來上つた建築は不健全となるべしと云ふ推定は少くともその時代に於ては成立すべき論理なるべしと信ずるものである。而して今その時代觀念を取去る時は健全なる思想を有する人々によつて建てられたる建築は健全なるべきものであつて、健全なる建築を建てるには健全なる思想を有すべきものとなつてしまふ。

建築の眞價

斯の如く固定せられたる思想と技術は、建築物となつて比較的長期に亘り、その思想の善惡を衆目に曝しつゝあることは私をして云はしむれば、建築の眞價と考へたいものであ



南大阪の郊外に

理想的都市を？

高石、濱寺、鳳の三町合併の議起る

大阪通郊外唯一の住宅として日に日に膨脹、發展して行く泉北郡高石、濱寺、鳳の三ケ町の有力者間で『このさい三ケ町が合併して住宅を本位とする理想的一都市を建設しよう』といふ議が起こつてゐた矢先き過般濱寺町役場で開かれた。

四貫島に樂園

政岡氏の寄附で出來上る

大阪市西區土佐堀三ノ一六政岡德兵衛氏は、かねてから大阪市此花區四貫島德平町八番地に公衆の自由入場することのできる遊覽所を建築中であつたが、廿五日落成したので『この花樂園』と命名した。なほ同所の落成披露式は四月十日午前十時擧行。

六本の水柱勇ましく

五重の塔を越ゆ

法隆寺防火水道工事落慶式

久邇宮兩殿下台臨

聖德太子奉讃會總裁久邇宮邦彥王同妃兩殿下に

る。試に視よ世に幾多の業務あるも、僅か瞬時の努力を以て、貴重なる思想の固定を行ひ且之を殆んど永久的に保存せしめ大規模に大膽に後世に傳え得るものは、我が建築業務以外に何がある。

藝術といふ言葉

私は淺學にして藝術といふ言葉の眞意は全く不明であるけれども、若しも技術家の有する思想と技術の固定作用を指すものとするならば、餘りに技術本位に偏して誤解され易い言葉ではあるまいかと思はれるのである。建築家は技術を以て自己の思想を表現しつゝあるが故に立派な藝術家でなければならぬと云ひたいのであるが、我々雜輩に於ては何が思想で何が技術であるかさつぱり見當がつかぬのが實際の所である。僅かの金によつて生活して行けるのが思想であつて、人眞似をして鉛筆で紙に形を書けるのが技術なら、その固定作用である藝術は果して立派であると云ひ得るか。私も早く藝術がどうの表現がどうのと云ふ樣になりたいと思つて居るが、さつぱり興味が湧いて來ない所を考へると、人々が藝術がどうの表現がこうのと云つて居る氣が知れないと思つて居る。勿論繪や模型の如き一人の努力で簡單に出來上るものは建築とは全々別のもので夢の如きものと考へての話だが、これでも繪が好きで模型でも作ることがうまければ、又考も變るだらうと思つても見るが、不幸にして私には死ぬ迄繪や模型等を以て建築でござる等と考へる程の甘口の考は持ち合せはないらしい。

思想と技術

思想と技術、誠に宏遠にして雲を摑む樣なもので、何時になつたら人々の考が變らなくなるかと考へて見ると、變るのが當り前で變らぬのが不思議なものであるが、之が固定作用によつて出來上るべき建築物は變らぬものであるから、建築と云ふものは變る思想と變る技術とを以て變らぬ物を造るといふ事になるのである。此の厄介なる固定作用をば技術家の歡迎せねばならぬ遁辭的說明とも見るべき藝術と云ふ言葉を以て解決せらるゝものとすれば、藝術といふ言葉は誠に有り難いぼろ隱しに過ぎないものとなる。その時代の思想といふものは文書により或は後世に傳はるべきものであるかも知れないが、文書は書くも

は十日午前九時半より擧行された法隆寺防火水道工事落慶式に台臨あらせられ、佐伯管長奉告文を捧讀した後、管長導師となり一山の大衆讀經法要を營み太子靈前に濃抹二樣の獻茶の儀あり、兩殿下には靈前に御參拜御燒香あつて十時二十分終了かくて兩殿下には引續き行はれる大講堂の落慶式に台臨その前新たに安置されたる森鳳聲氏謹作の塔形太子の開眼供養に臨ませられ、御燒香遊ばされ大西興福寺管主の擧式の儀あつて兩殿下御出ましになり、佐伯管長の御挨拶、細川奉讃會長の慶讃文捧讀、工務監督大井工事報告があり、殿下には左の令旨を賜ふ

法隆寺防火水道落慶令旨

今玆昭和三年四月十日

聖德太子奉讃會が大正十年四月奉行したる聖德太子千三百年御忌法要記念事業の一として法隆寺古建造物を永遠に保持し且祝融の萬一に備ふるため先づ巨資を投じてその基礎的設備を遂ぐるや政府はまた國帑數十萬金と三星霜の日子とを費して防火水道の大工事を起し工全く成りて今やその落慶の盛典を擧ぐるに至りたるは寔に邦家の一大慶事といふべし願くは太子の威靈長へにこれを加護したまはらんことを祈ると共に局に當る者は須らく協心戮助以て此の國寶たる建築物を永久に傳ふるに萬遺漏なきを期せんことを望む

昭和三年四月十日

聖德太子奉讃會總裁大勳位　邦彥王

成長十年の『新しき村』

『第一の村を先づつくる。第二の村、第三の村を

のの思想によつて左右せらるゝものであつてその時代の思想の固定作用を眞實に有りの儘傳へるこゝに於ては何等の權威なき色眼鏡に過ぎぬものであらう。然るに建築物はその時代の思想と技術とを同時にしかも共同的に固定せしめて之を有りの儘に後世に傳へつゝある偉大なるものであるけれども、遁辭的說明として往々誤られ得べき藝術といふ言葉を以て或者に對しては單に思想を骨拔にした淺薄なる技術の形骸として顧みらるゝに過ぎぬことは、建築物の眞價を冒瀆するの甚だしきものと云はねばならない。然るが故に建築は藝術なりと云ふ言葉は、繪畫、彫刻、工藝品に對して稱呼するこゝには自ら甚だしき差異を生じてくるものであると云ふことは、充分注意しなくてはならぬものと思ふ。建築の藝術化といふ考は御本人に於て思想と技術の共同的固定化を指すものである時は我輩は双手を擧げて贊成するものであるけれども、共同の思想共同の技術を無視して、單に自己本位の美的技術の形骸論に過ぎないならば、何が藝術であるか我輩了解に苦しむものである。美的技術の形骸が何を以て建築となり得るか。紙に描かれたる美的技術の形骸、手にて造られたる美的技術の形骸とも云ふべき模型そのものが、何等他人の手を煩はすことなく、何等建築材料を要することなくして、即時にそのまゝに時代の要求する建築に化し得るかと考へれば、如何に文化の進歩が驚異的のものであるとしても、かかる手品は永久に望むべくして望まれぬことは絶對的に明白なる事實でなければならぬ。

之によつて之を視れば建築は藝術なりといふ言葉に之適當なる條件を容るゝ時は確かに成立し得べき眞理あるも建築を設計するが故に藝術家なりといふ解釋は誠に不可解なものとなるべきである。眞の藝術家とは何かと云へば私をして云はしむれば、時代思想と技術とを巧みに統一して之を表現し得べき偉大なる建築家を指すものであつて、決して自稱藝術家を指すものではないのである。而して我が建築技術者にして、技術を指導して之を統一し得るもの又は統一し得られさうな者は、何かの理由にて幸福なる立場にある者の中には有りさうにも思へるが、思想を指導して之を統一し得る者は絶對に有り得べきものとは思はれない。然るが故に建築家は建築を設計するものであるから藝術家なりと云ふ言葉はつくつてゆきたい。最初の村は小規模でも仕方がないと思つてゐる。だん〳〵小さいところから成長してゆくのは又樂しみだ」……（「新しき村の生活」より）　○白樺の林を出た武者小路實篤氏がこのはるかな理想と希望を抱いて神話と傳說とのこの國、日向の山深く、まづ第一の『新しき村』を營み創めてからもう十年の歲月が流れた。十年成長の跡をたづねて『花さく新しき村』に入る。

廣島大本營保護に
三千圓御下賜
明治大帝に由緒ある建物として

日清戰役當時明治大帝が久しく御駐輦遊ばされた廣島大本營跡はおる大正十五年史蹟名勝天然記念物に指定され本年一月陸軍省から廣島縣へ移管された、長き邊では二日附を以て大本營の建物保護のため金三千圓を御下賜あらせられた旨、宮內省から發表された、右について白根庶務課長は語る。

廣島大本營は陸軍で保管中年々三百圓づつ保護資金として御下賜があつたが今回縣に移管されたのを機會に纏めて右の如き金額を御下賜になつたものでこの由緒ある建物を國民の記念物として永久に保護したいものである。

支那皇帝の椅子を
修繕のため來朝
米國のワーナー女史

アメリカ、オレゴン大學美術博物館長ダートユード・ワーナー女史は同館內保存の由緒ある支那皇帝の椅子を大阪の美術商山中商店に修繕させる

我等共通の理想にして、到底實現し得ざるものと考へるのが眞に近きかと考へるのである而し乍ら思想の統一指導と云ふことは、神ならぬ人間の到底行ひ得ざる至難なことであるから茲に不完全乍ら藝術家たる條件に於て、思想の統一と云ふ根本問題を削除して、更に必要に應じては技術の統一といふ問題にて不充分なるをも許すと云ふ、甚だ粗大なる假定を容認する時は、所謂藝術家も同樣藝術家もその差幾莫ぞと云ふ人間らしい興味が湧いて來る。而し乍ら特に同樣藝術家に於ては前記の粗大なる假定の存在を忘るゝ時は、狂人視せらるゝも已むを得ないと云ふ事を自覺して貰ひたいのである。

扨此の大風呂敷的の緒言の中思想と技術の固定と建築といふ問題を次に實際的に說明して見やうと思ふのである。

思想と技術の動搖

時代は明治、大正、昭和と變つたが、我々の思想も隨分變つて來た樣に思はれる。勿論良くも惡くも變つたもので良く變るといふ事は甚だ面白いものであるが、惡く變ると云ふ事はその原因を良く考へて見なければならぬ今比較的建築に關しさうな點を考へて見る時は、先づ各自の觀念に於ては、智、情、意の中智のみがぐんぐん發達して、情のみは依然として發達しない。此の點は動物よりは甚だ優れて居る樣に思はれるが、何だか生物を超越して機械になりさうな氣がする。智を發達せしむるに幸福なる人々は盛に智識を發達せしめ生活を複雜にして他人の追隨を迫る。追隨し得ざる人々は落伍者となつて不幸を見る寢ても覺めても知識の吸收に浮き身をやつす處がその知的波紋たるや、目的は利益の吸收にあつて、波紋の傳波は人眞似に過ぎない。最初の波紋は譬ひ人類の幸福を目的とする智的衝動によつて生ずるものとしても、直ちに之を以て利益吸收の機關と化せしめ無智の者の幸福を遠慮なく奪ひ去る。誠に人情紙の如く人智剃刀の如しか。交通機關の發達と外國語の普及は紅毛の思想が直ちに我々に傳はつて、思想を動搖せしめて遠慮なく幸福を奪ひ去る。和洋兩樣の二重生活を餘儀なくせしめて輕佻浮華不遜の思想を煽る。我々に洋服を普及せしめ妻君連の着物に迄洋裝を強ひ、髮結が美容術師と改名し、更に滑稽なのは、染色と仕立が一寸新しければ、ビヂチングドレ

ため廿五日朝橫濱入港のプレシデント・マヂソン號で來朝した。

阪急線曾根に 住宅地が出來る
櫻、もみぢなどを植ゑて 理想的な設計

雲雀ヶ丘、仁川、芦屋などの住宅地に對抗してもう一つ立派な住宅地が今度阪急寶塚沿線曾根附近に出來る。阪急曾根停留所を中心とする約五萬坪の地、經營者は曾根の千萬長者志方氏一族を株主とする同志株式會社である、同地は大阪市の第二次都市計畫區域になつてをり將來同市に編入されるのを前提として計畫されたもので、從つて道路なども大阪市から同地に通ずる三線の放射道路に結びつけるべく、幅四間のコンクリート道路に櫻、もみぢなどの街路樹を植ゑる、また區內數ヶ所に小さな遊園地を設け完全な下水道と簡易上水道を敷設し特に住民の便をはかつて會社直營の公設市場的なデパートをもつくる、宅地は一戶につき約三百坪と一和洋折衷の高級な家を建て、別に一戶五十坪ぐらゐの住宅をも建設のはず。

新築の明治屋

濱町公園の一角、金座通りに面した絕好の位置に竣工成つた明治座は、昨年二月工を起して以來滿一ヶ年、御覽の通り感じの好い建物となつて好劇家の前に御目見得した、地下室を別に鐵筋コンクリートの四階建で、舞臺も間口十一間に花道も

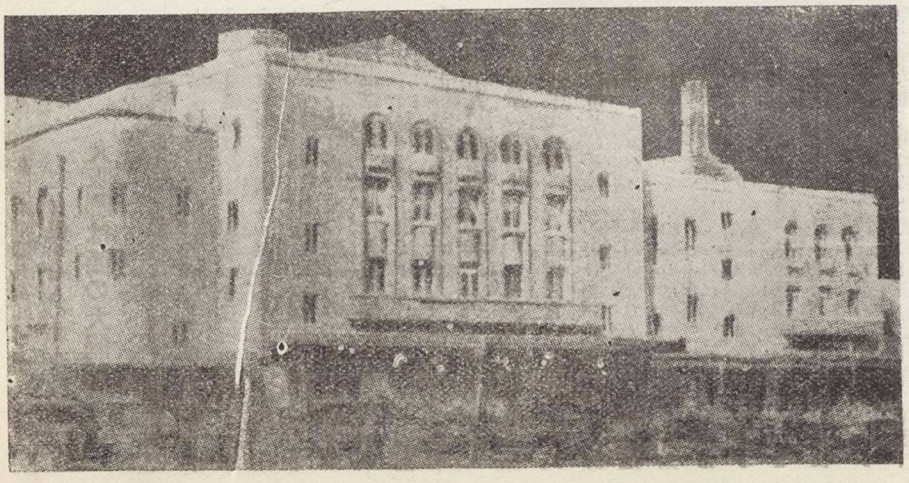
ツスこかプロミナーデ服こかいふ名が和服に迄つけられる樣になり、紅毛の思想紅毛の物質を事毎に謳歌して、我が衣服我が『ハッピ』一つはその完備せる美術品こして一つは貴重なる宣傳機關こして、充分眞價を認められればこそ彼等の間に流行しつゝあるを知らない。

扨我が建築從業者に於て先づ最初に技術者の思想こ技術の動搖は如何こ云へば、以前には思想こ技術こを充分精練する餘裕が比較的にあつたのが、近時益々同業者の增加こ思想こ技術の複雜なる變化によつて、技術の練磨思想の善導こいふ事は全く顧る餘裕がないものとなつて仕舞つた。即ち技術を精練するには餘りに構造の變化が甚だしく、修養をするには餘りに暇がない、又暇があつても落着いて居られないこ思ふのが原因ではあるまいか以前は一つの建築が完成したら徹底的にその缺陷を調べ之を補ふ方法をも充分に研究しつゝ、堅牢にして修繕を要せずこ云ふことが、一般技術家の信條であつたものが、時世の變化につれて殆んご顧みられなくなつたのである。即ち技術者の存在の過剩こ社會の苛酷なる要求をなすことの已むを得ざる事情により又は技術及材料の變轉限りなき狀態により、建築の內容を考へるには餘りに多忙こなりつゝあるから、單に皮相の發達を追うて活くる外なき事情に立至つたこ考へて置きたいのである。更に來るべき時代の航空機自動車の發達による構造平面の劃期的變化をも考へれば皮相を追ふことの已むを得ざる事情にあるものこ考へられるのである。

斯の如き事情は進歩こ云へば進歩こも云へやう、又退歩こ云へば退歩こも云へやうが、一言にして云へば善惡同時に發達したものこ考へられ、技術者の思惡こ技術の動搖は必然的の結果こ考へて差支あるまい。

過去の特長を弊履の如く捨て、顧みず、我が國民性の如何なるかを考ふるに暇なく、紅毛の技術に心醉して流行を追ふこ云ふことは果して幸福なる結果を生むものであらうか。

（未完）



あれば、オーケストラボックスもあるといふ最新式、近頃では珍しい立見の席も四階に出來てゐる。

高架鐵道を防火壁に

煙都生

地下鐵道は將來の空中戰に際して市民の避難所ともなるが、高架鐵道に至つては徒に都市の美觀を損する許りで、他に何等の副使命をも與へる事が出來ないのみならず、一朝大火の場合附近住民の逃途を塞ぐ虞があるなど、毛嫌せられては、聊か可愛想で其寃を雪いでやりたくなる。

其れは少し手を加へるならば結構無比な防火壁として、殊に低い木造家屋の建詰つた都市では絶大な効果を奏する事必定である。其線路が大火延燒の最大危險方向に直交してゐる場合には特に其機會が多い。

さて其設備としては先づ全線の上縁に亘り適當に配管してハイドラントを取設け、要所には消防手の屯所を置く。是は市の費用でやり鐵道は無償で場所を提供する。出來上つたら府縣の消防署に引渡す。次にアーチの下を新京阪が倉庫に利用したり、阪急が市街美を添へるとか御自慢の文化店舗など設ける場合には其兩面をも防火扉を以て固める。是には市からも少し位補助金を奮發してやらせる。それから下が通路である場所にはウオータースクリーンの設備をする。是には一個幾圓もかゝるスプリンクラーヘツドなどの必要はなく開閉自在で晴天には街頭への撒水も出來るといつた風なのがよろしい。大阪臨港鐵道や市の東西線には大部分此設備を適當とするが始めから計畫してやれば大した費用にもなるまい。是は市が鐵道に交渉して、美觀の損料に幾分か負擔させる。餘り多くを要求すると通路を小さくしたり少なくしたがつていけない心配がある。

神戸市が僅かの阪急線位で素人臭い騒ぎをして能事了れりとしてゐるのを看てお互に嗤つてゐるでは濟まない時機となつたから貴重な紙面を一寸お借りする。

鐵道のお客調べ

最高は東京驛五萬四百人
一日僅か七人の驛もある

大阪驛は西の大關格

始めての試みとして鐵道省運輸局で主要驛乘車人員及び入場券發賣數の東西對抗の番附を作つた乘車人員番附は全國の驛數二千三百十三驛、一日乘車人員一均二百萬六千四百八十九人、一驛の乘客平均八百六十七人最高は東京驛の五萬四百三十二人、最低は根室本線の初田牛の七人、主要驛の横綱は東京、東方大關は新宿四萬六千七百三十八人、西方大關は大阪二萬七千五百八十二人、關脇が東方上野三萬五千百五十五人、西方京都一萬七千八百七人、小結東方新橋二萬六千四百二十五人西方名古屋一萬二千六百六十七人前頭筆頭東方品川一萬九千二百十五人、西方三宮八千四百二十八人、東京市及びその近郊の各驛が大體において非常に多數であるのは汽車だけでなく省線電車を運轉する關係で從つて短距離の定期乘車券による乘客が多いことを意味し、これに對し關西の大都市が比較的少數なのは私營郊外電車の發達を物語るものである、なほ入場券では發賣驛數二千三百七驛、一日平均五萬八千百十五枚、一驛平均廿五枚東京の三千七百三十五枚、大阪の三千四十三枚が東西兩大關で關脇は上野二千五百四十枚、京都千六百七十九枚、小結が札幌八百四十二枚と名古屋千百七十三枚、前頭筆頭は仙臺七百五十七人。神戸の七百三十五人といふところである。



微苦笑

習慣

永年の習慣程恐ろしいものはない。

例へば屋根の塗色でもトタン板にもキット青銅色や錆色のペンキを塗る。その色が防暑や外觀にどれ程の影響をもつかは深く考へないのである。京大の聯合學會では濱田氏が塗色として白色が最も理想的だと發表しておる。建築家にも科家的の考察が今少し必要ではないかしら。

たゝり

たゝり大藏省のお歴々が將門塚を荒したたゝりで同僚がバタ〳〵と倒れるので高僧を招じて盛大なお祭りをしたそうな。

又數年前妻に死なれ、家相が悪いからだと我が家に火を掛けた男がある。

迷信もこゝまでゆけば無邪氣で面白い。

風致

琵琶湖の竹生島では風致を損こねぬやう發電所を地下室に設けるそうな。甚だ結構なことである。

文化的な施設が出來ても折角の風致を毫なしにしては、角をためて牛を殺すの類か。

内務省でも風致のためにケーブルカーを取締るそうな。

取締らぬよりは良いが、何故今頃氣が付いたのか。

廢物

廢物許りを集めて小屋をかけ、生活萬般をやつてゐる奇人が大阪にゐるそうな。

當人は世間の住むに家なく、食ふに米のない人達に模範を示すためだと稱しておる。

然し廢物を集めて露命をつなぐことが良習と見られるかどうか。

博覽會

春の空に、モガやモボの跳梁そのまゝ、珍奇を凝らした博覽會が、東京、仙台、岡山、高松、別府等々に開かれておる。博覽會の建築を新らしい試みの稽古台とするのは良いが、堂々設計者の名を出して有名な外國建築家の作をそのまゝ拜借するなどは餘り感心したことではあるまい。勿論取るに足らぬ裝飾屋の仕業なら論外ではあるが。



宮城内の工事

新秋九月を以て　聖上陛下には愈々宮城に御移り遊ばされるので豫て大奥修理の豫算を決定して工を待つてゐたが愈々此程内匠寮が主となつて工事を起した。新に設けられるものは御病室、御産室、御書庫の外、皇子様の御遊場などが主なるもので、その他は兩陛下の御座所を多少御修理を加へさせらるゝもので極めて御質素を旨と遊す御内意の下に工を急ぐ由である。一方吹上御苑には赤坂離宮同樣生物學御研究室を設けらるゝがこれは現在の離宮より稍々廣めて二百坪近くとなし完備せるものとなす筈で尚御苑の御散歩道はそのまゝゴルフリンクもつくられる。完成は七月一杯の豫定であると。

新東京市廳

御大典記念事業として行ふ東京市廳新築は現在の水道局跡に總工費千三百萬圓で建築する方針で其の設計圖は懸賞金一等一萬圓二等五千圓三等三千圓に公募する由。

住宅笑話

一、或る會社のB氏は隱退紀念として一構の茶室を新築し茶室開きに當時名聲赫々たりし銀行屋の重鎭○川氏を招待した呑んだくれで人も吾れも許す評判の氏は宴將に酣なる時立つて窓から數寄を凝した庭に向ひ遠慮會釋もなく放水を始めた折角の苦心をして植付けた青苔庭石は立ち處に黃色になる騷ぎ一座の來客も主人公も只呆然併し當日同氏は大切の賓客なれば正氣あるかなきかは不明なれども表面は酒に醉ふて居られる人に立腹も出來ず泣き寢入りよりしかたなく苦笑にまぎらはすに止まる但し○川氏の奇行は單に出來心の惡戲でなく或はB氏を竊かに戒しめた積りかも知れぬと集まりし人々の內所話しの又聞きを其儘に。

二、一時成金であつたT氏山莊の客間に本物か僞物かは知らざれども數十萬圓と稱する應擧の描きし襖がある何にかの集會のとき主人公氣を利かした積りで其の前にS工學博士をすはらせた酒三行主客陶然追々座の亂だるゝに連れS博士は應擧を小楯にこつくり『ボート』の練習が始まり時々右に左に呑中を擦つて居らるゝ之れを見付けた山莊の主人醉も覺める程驚きあわて恐る〳〵家人と共に靜かに博士を隣室に曠塵させ參らせ胸なでをろしてさて一服危いかな襖はだいぶんぼやけた樣だが桑原〳〵。

三、K何々部長殿の住居手狹とあつて洋館の建增が出來上つた丁度日曜日が引越し集まる者數人何れも部下の腰辨月給を五圓でも早く昇給奉願の連中Yなる銀時計組胡麻擦あり荒方飾り附けを終つた諸道具を見て如何にも物識り顏にK氏に言上に及ぶらく以前座敷に御飾り附けの凸凹燒は大明國渡來の名器極めて高價のもの拙者外遊の折南蠻國首府博物館に陳列ありし世界の名器とし

百萬圓突破の大邸宅

東京府下駒場に新築中の前田邸は一昨年七月四十萬圓を以て着工したものであるが、今日までに既に八十萬圓を突破し年末竣工までには總工費百萬圓を超過するであらうと。

日本一の本屋

合資會社東海堂書店は山下町七、八番地に新築する事となり設計は東京の勸業銀行設計者として知らるゝ渡邊建築事務所、其の構造は鐵骨混凝土で地下室共六階で延坪千二百坪、この工費は約六十萬圓、本月下旬に着手するらしい。

木造說まで出た國兩驛改築

鐵道省は新宿驛を近代的樣式の堂々たる建築となし上野驛も亦五階とか三階とか議論されてゐるにも拘らず兩國驛はバラックの儘改築されさうも無い。この原因を鐵道省に聞くと昨年十二月工務局阪本技師の設計で地下共三階鐵筋混凝土造、總延坪七百九十五坪、三等五十餘坪、二等二十三坪の各待合室其の他貴賓室、驛長室、事務室等二十餘室新宿驛位の大さで工費四十五萬圓とかで立派に完了されてゐるが此頃上司の意見が木造說に傾いて來たので設計變更になるらしく從つて着手期も未定で手も足も出ないである。

滿鮮隨一の安東驛中ホーム

滿鮮隨一の安東驛中ホーム一昨年起工、本年來月中旬迄には全部が完成の筈である。これは滿鮮隨一と誇り得るもので稅關檢查場、貴賓室、賣店

て拝見したものゝ全く同形世に得難きものゝ存じ奉るあれは是非共此の部屋の此の邊に鎭座參らすれば光彩を放つべく御座り奉るゝ柴々と擦り上げた玉氏はさる剛の者、貧弱先生の言葉の終らぬ内笑ひながらあれは新橋博品館で家内が買ふて來た貳拾五錢の『イミデーション』だよゝ左右を見廻した一座きより悪そうなY氏を横眼に、やんや〳〵。

四、冬の日E邸に今日は珍客がある食卓は盛花に飾ざら敷物は清められて凡て接客の用意に忙がしい程なく仕度如何ゝ見廻りに來られた主婦彼方此方を睨め廻して居られたが顔色が變つた其れは拾貳脚揃ひ居る筈の椅子の内一脚丈け腰掛けがちがふて居るのが眼に着いたからであるこれは又ごうした事か十一脚は皮で張つてあるのに一脚丈けが籐張りである朝迄確かに揃ふて居つたものがゝ茫然ゝ大まごつき此の一脚は天降りしか地から湧あがつたか奇妙きてれつ猫灰まぶれあな不思議南無ごうしたものかと大評定其の時丁度呼び寄せられた家具屋の禿番頭にや〳〵笑ひながらへい〳〵細工はりう〳〵仕上げを御ろうじ斯くして裏返しに嵌替へればなんだ元の通り之れは設計者が氣を利かして夏ゝ冬ゝを豫想し兩面に造り片面は籐張りゝして夏涼しく他面は皮にて冬暖き爲に誰れの惡戯が其の日に限り一脚を裏返したものゝ事實判明一同嬉しそうな笑ひ聲で幕。

五、W實業家は宇治橋畔に永年の希望が滿たされて別莊を新築した建築士Cゝは永年の交際で最初は略設計を依賴された程であるが實施は他の大工の棟梁Aが建て上げた今度是非見て批評をして貰ひたいゝの申込喜んでC建築士は態々東下りをした譯である未知の案内人熊さんに來意を告げるゝ大喜び早速の承知萬事心得顔に隅から隅迄御案内かゆき處に手が屆く有樣多少始めの設計ゝは相違して居るが善意に解釋して上出來の上々歸りに菅公の一枚を進上して歸京した早速S建築士W氏を訪問して新居の贊詞を呈した段々油が乘りあれ丈けの造營をする腕前があなたにあろうゝは思わなかつた先づ大正の豊太閤よろしく候なんて無暗に感心して賞め上げた處がしきりに考へこんで其れは人違いであろふ別の道具屋W氏の別莊だ此の前もある人が間違つて無暗にほ

旅客休憩室の設計遺憾なく出來てゐる。

本年度は更に工費十八萬圓を投じ手荷物運搬ホームも設置する筈であるから完成の上は見違へる程立派なものになるであらう。

廣島縣の新廳舍

廣島縣では數年前から新縣廳舍設立の計畫を樹て廣島市の中心地にある第五師團西練兵場の一部の拂ひ下げ運動を行つてゐたが陸軍側との交渉容易にまとまらず目下の所早急には解決されがたいので見切をつけ新に御大典記念事業として同寺國泰寺町新廣島市廳舍と隣接せる縣立第一中學校寄宿舍及び民家六十坪を買收し總經費二百七十萬圓を投じて新廳舍を作る事となつた。

門司稅關上家建築工事

門司稅關上家は全部鐵筋コンクリート二階建にして本館の前面に建築する設計であるが總延坪數一千百坪餘其の基礎工事は本館と同樣ペデスタル式にて東洋コンプレツソル株式會社門司出張所に特命となつてゐる。

門司市廳舍改築

門司市では御大典記念事業として總工費六十萬圓、建坪千六百五十坪、鐵筋コンクリートで地下室共四層の建物に改築する。

鐵道倉庫の新增築

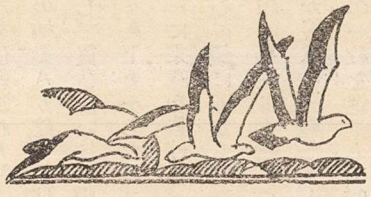
鐵道省では豫て鐵道倉庫の新築並に增築計畫につき考究中であつたが愈々今年度以降五ケ年間に總計約一千萬圓を以て左の如き計畫に基き鐵道倉

めちぎつたよあはゝ不屈なるは熊公來訪者がY氏の名を大抵いわぬをよい事にしていつも此の手でばつをあわし來訪者を程よく取り持ち圓助頂戴よい內職こして猫ばゝをきめ込む不屈至極の輩賞める人賞めらるゝ人共に苦笑數分なんだ馬鹿〳〵しい。

六、S建築士の知人廐布に住するH畵伯が過日年住居一部の增築をした事がある或る日雜誌記者最近中流住宅の實際を紹介したいから御高說をこ來たS建築士得意滿面而H畵伯邸の建築を說明した急ぎ撮影に出掛けるからこ早呑み込みに飛んで歸つた記者より翌日電話昨日御話しの畵伯邸を訪問した處が少し樣子がをかしい奧樣の年頃間取りの具合變な調子である少々S建築士の設計こは受取れぬとの事そんならH畵伯の住居には相違ないのかこ念を押すこ正に相違ない奧さんの年頃は肥つた人か痩せた人か番地處と聞いて行くこ段々返事もをかしくなる曰くよく見たらH畵伯別宅と表札にある奧さんの年頃は極めてお若い番地が少し違ふこ云ふ最後に處はと聞き直すこ洗足であるハア之れは記者の早呑込みが失敗か成功かS建築士兼ねてよりうす〳〵聞き及んで居つたH畵伯の御樂しみ記者の誤つて飛び込んだのは第貳夫人の新居を突き止めたのであつた何にはこもあれ思わぬ堀り出しもの芽出度かりける次第なり。

* * * * * *

海外奇聞



◇

詩人大使クローデル氏が惚れこんだものか「花のパリに今度栗林公園を模した純日本式の公園を作りたい」こ外務省へ設計者の推薦を依頼して來たが東北大學出身で目下ドイツに留學してゐる園藝大家前川德次郎氏が生れも高松こいふので設計を仰付かつた

◇

ダンス場の大爆發
四十名の即死者と無數の負傷者を出す

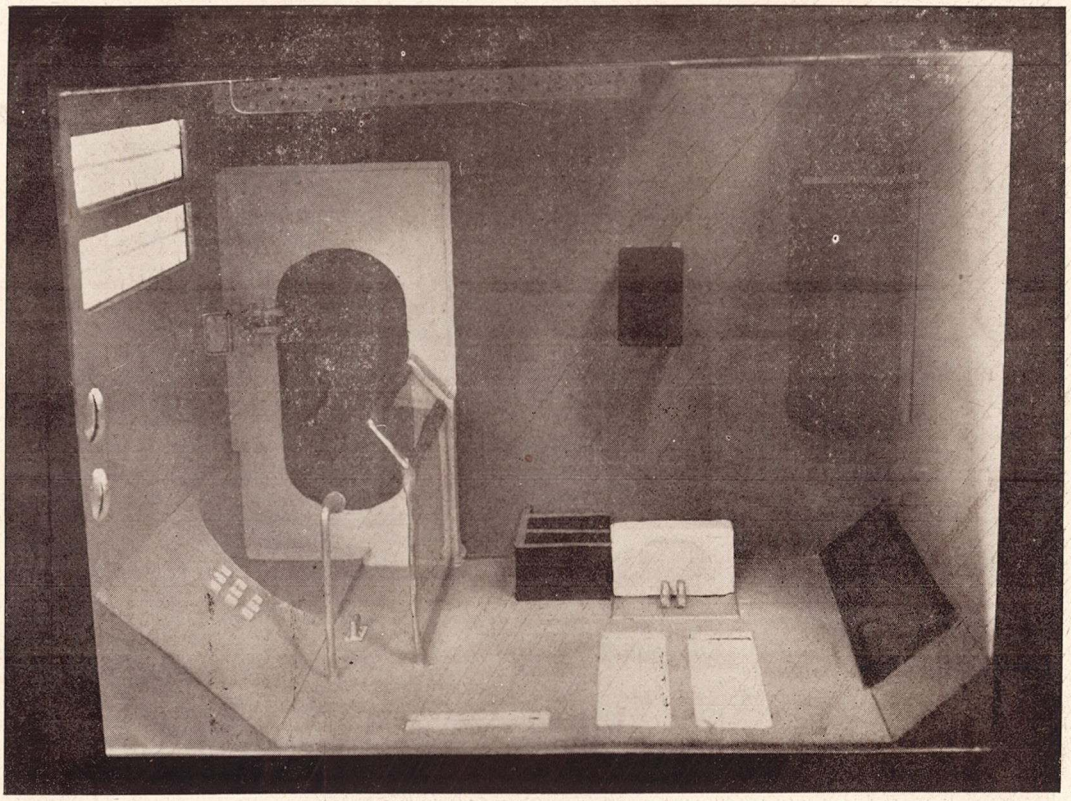
十四日夜ウエストプレーンのダンス・ホールで多數の男女が踊り狂つてゐる眞ン最中突然爆發起こり四十名の即死者こ無數の負傷者を出した、原因は同ダンス・ホールの階下にある自動車置場備へ付のガソリン・タンクに引火したゝめであるが、爆發は非常に強烈であつたので附近五、六軒のビルディングの壁崩壞し、殊に同ダンス・ホールの如きは大破した個所から多數のダンサーが街上に投げ出された

看板や飾窓にも稅金

フランス政府は看板、ショーウィンド、寶石入指輪、軒の蛇腹等に稅金を賦課することに決し、パリ市內では七十名の調査員が目下課稅物に對し調査を急いでゐるが完了までには數ケ月を要する見込みである稅金を徵せらるゝ物はパリ市內に數百萬あり、これを一々調べ上げ、臺帳に記入しなければならないので非常に煩雜な仕事である

庫の新增築を爲す事に決定した。

名古屋倉庫移轉、總經費六十萬圓（四年度着手八年度完成）名古屋港倉庫移轉、總經費百萬圓（三年度着手八年度完成）鹽見倉庫移轉、總經費三十五萬圓（內務省の淸水港埋立終了と同時に着手する目下四年度着手五年度完成の豫定）敦賀貯炭場、總經費十六萬圓（五年度着手六年度完成）舞鶴貯炭場、總經費十五萬圓（着手年度未定）

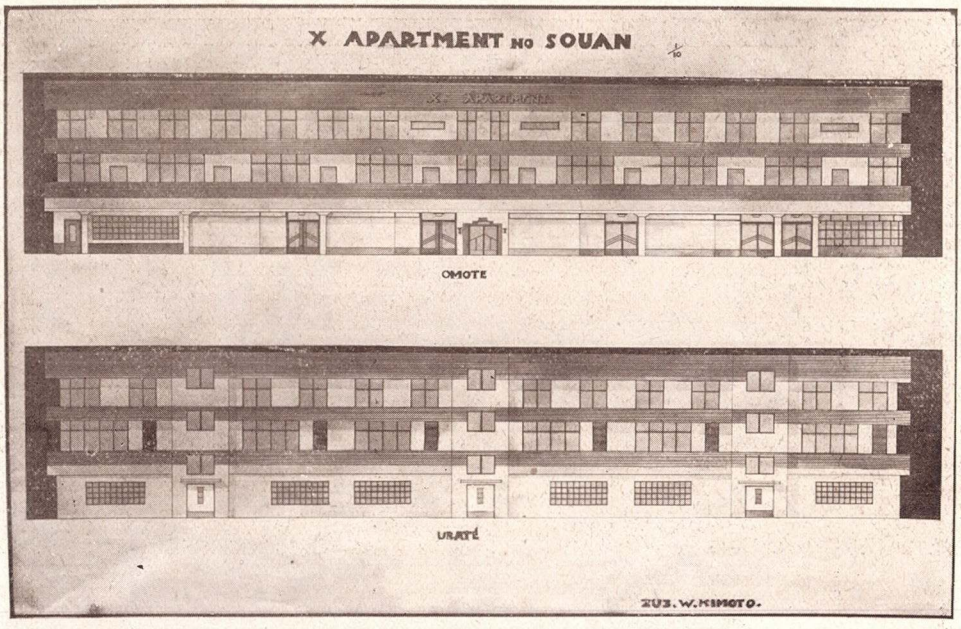




京都高等工藝學校本年度卒業計畫

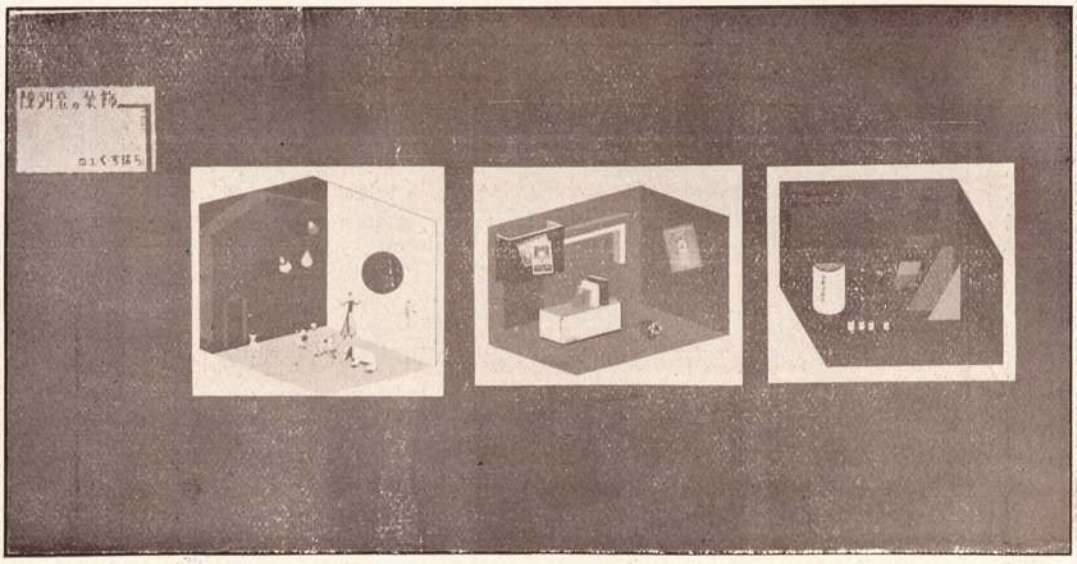
（上）浴室設計模型　清水義文君

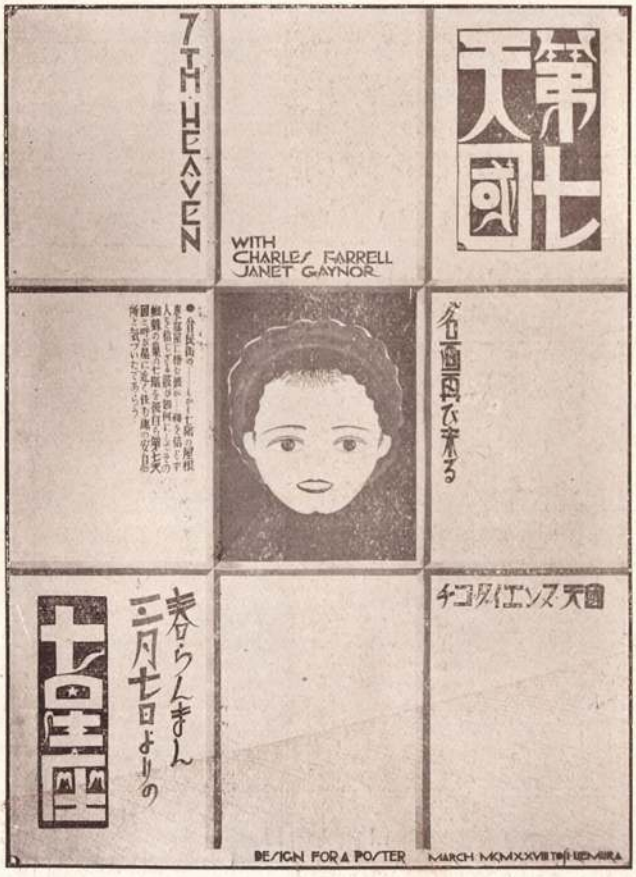
（下）ポスター　白井成一君



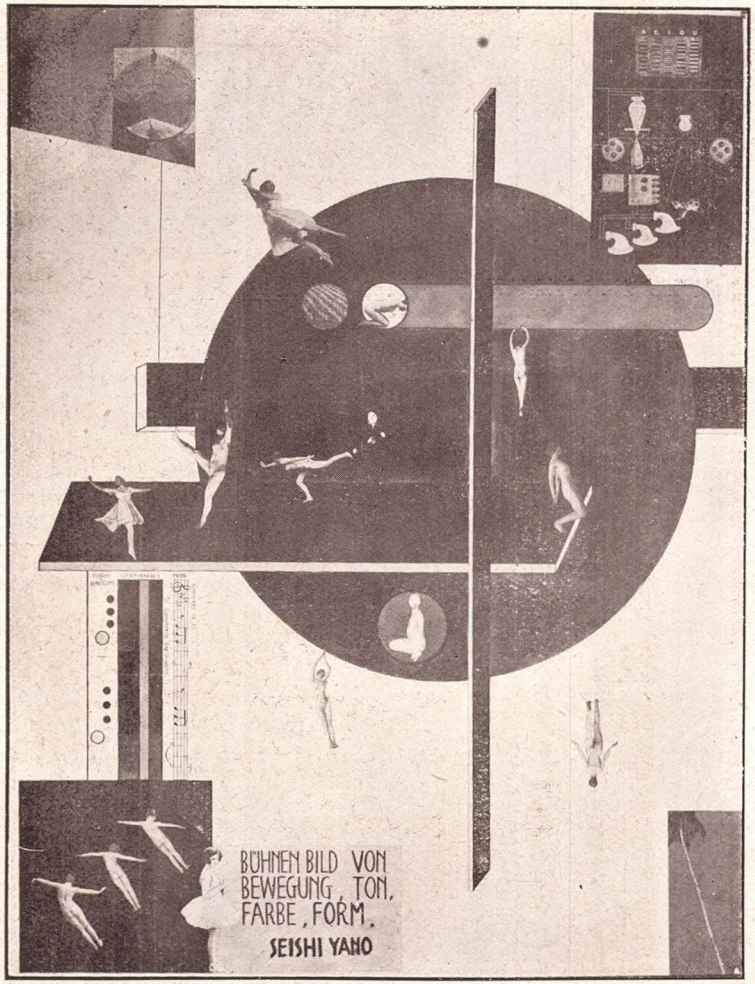


京都高等工藝學校
本年度卒業計畫
(上)アパートメントの草案
木本和一君
(下) 壁　懸
神笠繁夫君



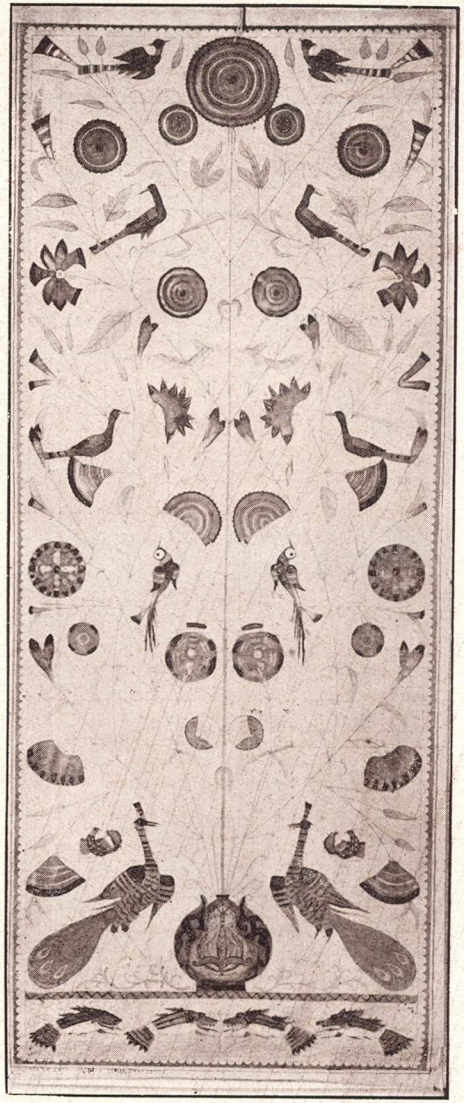


京都高等工藝學校
本年度卒業計畫
（上） 陳列室の装飾
植原宗一君
（下） ポスター
植村俊郎君



京都高等工藝學校本年度卒業計畫・舞臺面—運動、音、色、形、

矢野誠之君

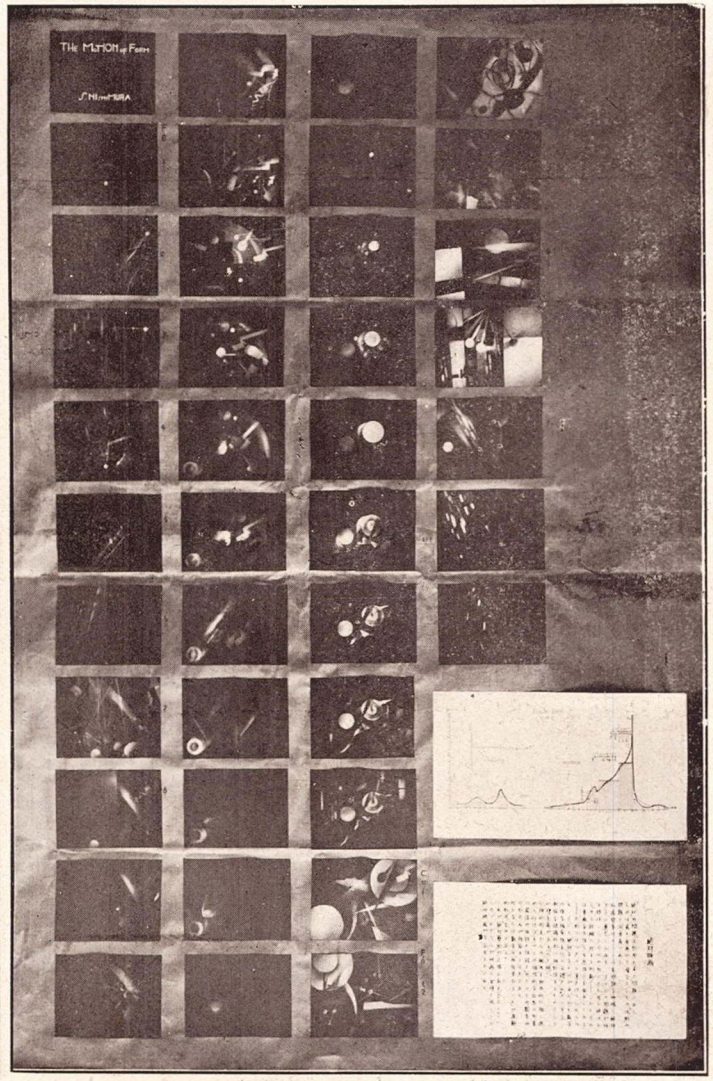


壁懸

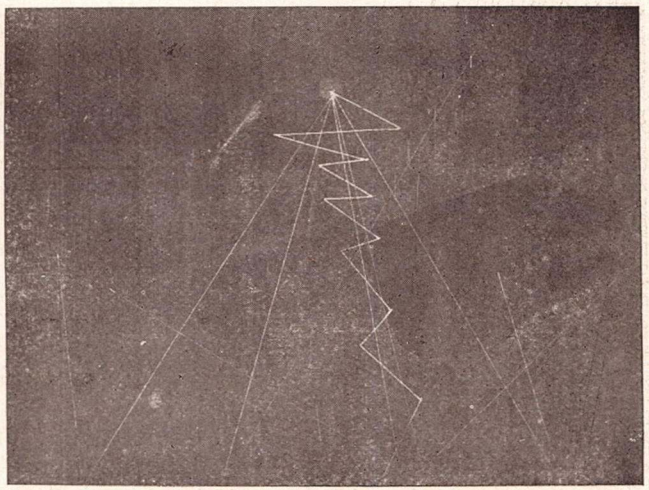
京都高等工藝學校本年度卒業計畫

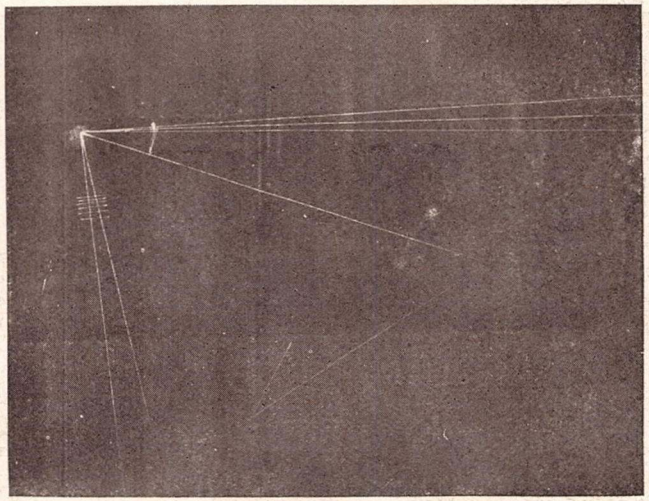
西村進君

絶對映畫 (1)



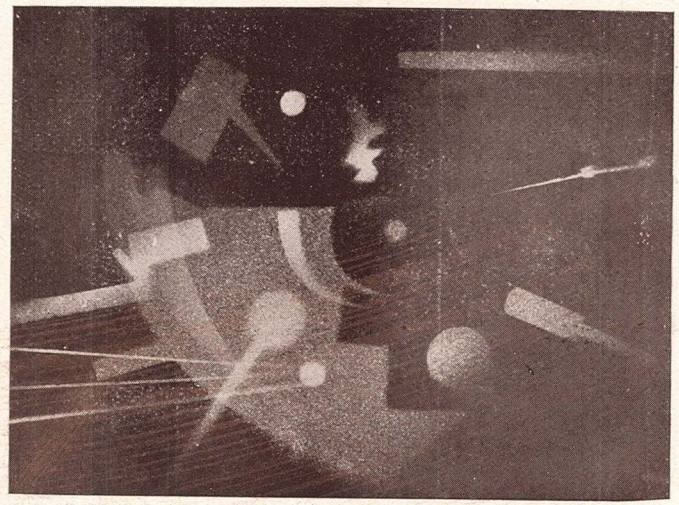
絶對映畫 (2)

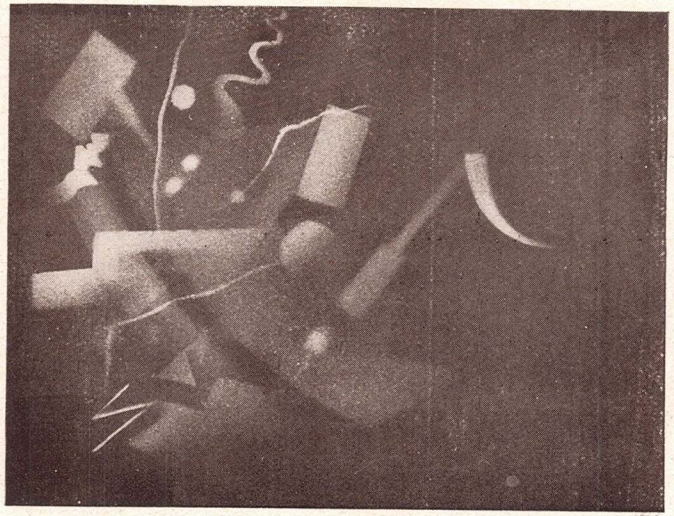




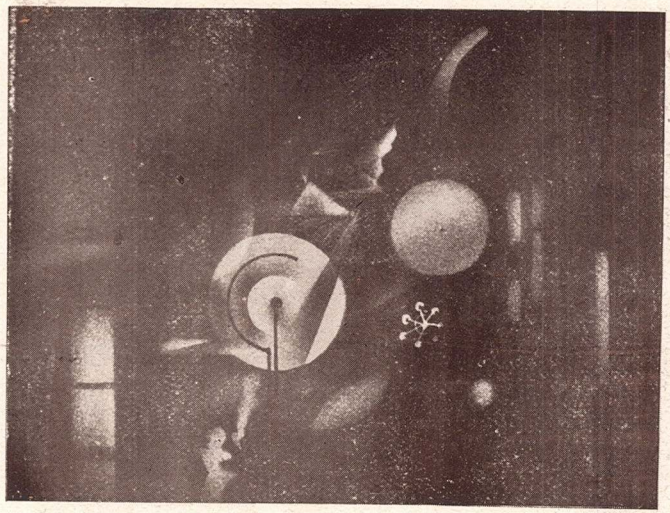
京都高等工藝學校本年度卒業計畫　西村進君

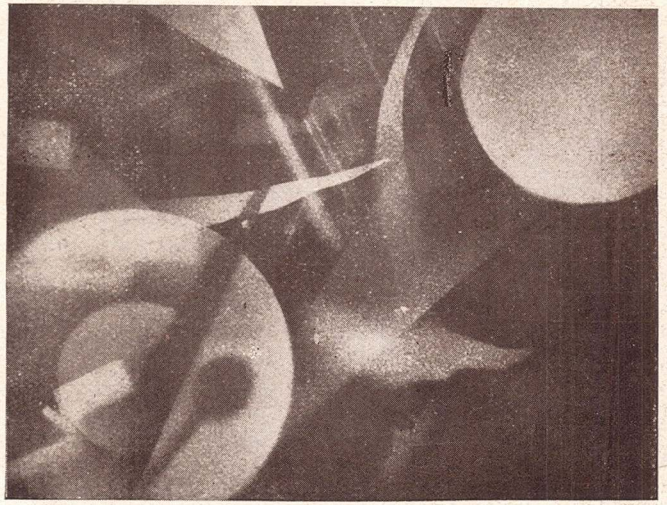
絕對映畫 (4)

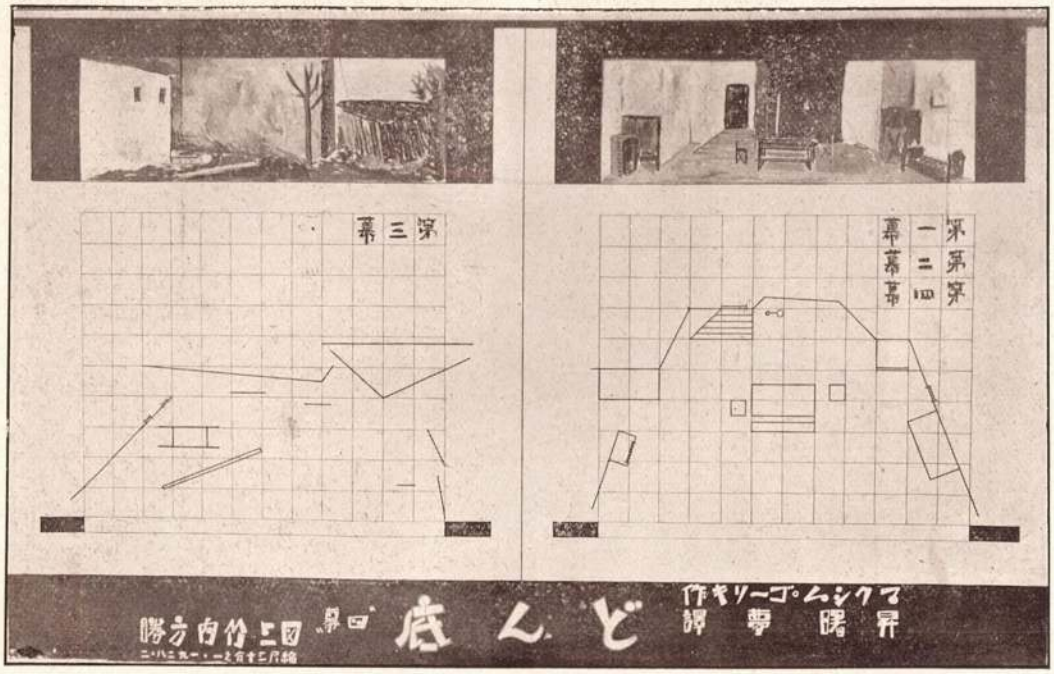




絕對映畫 (3)







京都高等工藝學校本年度卒業計畫

「どん底」舞臺圖

竹内方勝君

“二次率一樣ならざる柱を有する小屋組の解法”

【4】

大阪橋本組設計部　工學士　石　井　勇

第三章　閉　論

內　容

第一節　在來の解法

第二節　本論第二節に從ふ解法

第三節　結論

前章の內、最も重要なる第二節に屬する應用例を揭げ、其の小屋組應力を在來法による小屋組應力と比較し、結論を得んが爲に、先づ在來法を述べて其れによる小屋組應力を求める。

第一節　在來の解法

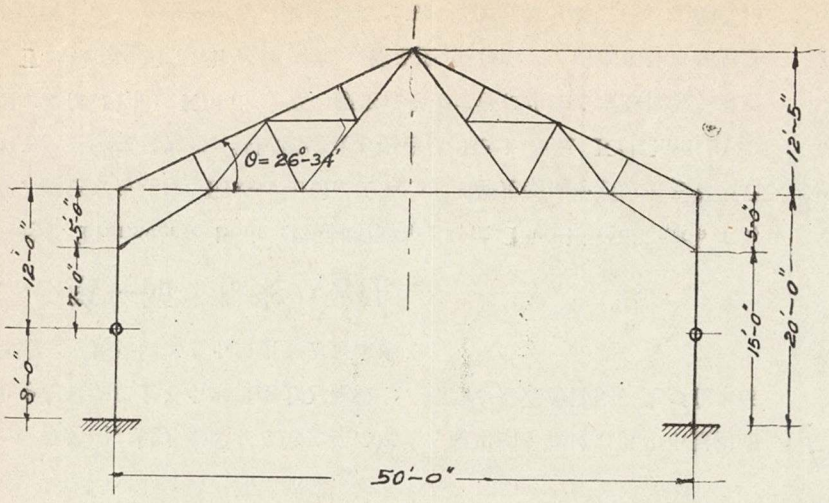
元來 Transverse bent は柱脚滑節なる時は Two-hinged arch であり、固定なる時は Fixed arch であつて不靜定架構を形成するものである。この故に先づ、柱脚固定なる場合は Beck 又は Ketchum 氏の假定或は Hool, Kinne 氏等の假定に從つて柱に生ずる虛點位置を求めて Two-hinged arch に置き代へ、然る後、何れか一方の水平及力を假定して解くのが一般である。兩柱等高なる時は轉倒曲力率より來る直壓 Q は敢て水平反力の大さの制肘を受けぬが故に、T の假定よ、Q に關し、自由であるが Ketchum 氏も Hool, Kinne 氏も $T_1=T_2=\frac{W}{2}$（W =全水平荷重）ニ置く。

Hool 及 Kinne 氏等はこの Q 及 T を代數的に求めるが Ketchum 氏は獨得の圖式解法に從ふ。かく Q 及 T を求めても、柱が曲力率ニ剪力ニを生じる爲に、柱をつけたるまゝでは、小屋組の應力を、圖式解法に從つて見出す事は出來ない。何となれば應力の圖式解法は hinged joint の場合にして應力が壓力又は張力のみなる時に成立し得るものだからである。

この結果、柱から小屋組に與ふる影響を其儘存續せしめて柱を取り去つて求めるか、或は柱は其の儘殘し、曲力率を直應力に置き代へ得らるゝ假設的小屋組を追加して求める。何れの方法に依るも結果は同一であるが後者は上柱（Knee-brace 足點より上部）の應力を求める時に煩はしき事ニ、小屋組部材の增加に伴ひ誤差の生じ易き欠點がある。

今、應用例を揭げて在來法による小屋組應力を求めれば次の通りである。

【例　題 1】（第一圖 a, b, c, d 參照）



第一圖 a.

(1) 條件

張間	50′—0″
全柱高	20′—0″
Knee-brace 足點までの柱高	15′—0″
Pitch	$\frac{1}{4}$
梁間	15′—0″
風壓(壁面)	20#/□′
同 (屋根面) Duchmin 式より	14.9#/□′

柱の二次率一樣とす。

(2) 計算

$$y_0 = d\left(\frac{h+0.5d}{h+2d}\right) = 15\left(\frac{20+7.5}{20+30}\right) = 8.25 \fallingdotseq 8$$

全水平荷重 $= 3600 + 6260 \times \sin\theta = 3600 + 6260 \times 0.447$

$= 3600 + 2800 = 6400$#

故に $T_1 = T_2 = \frac{6400}{2} = 3200$#

點 0 の曲力率より

$$Q_2 = \frac{6260 \times 19.36 + 3600 \times 6}{50} = 2856\text{#}$$

又 $Q_1 = 5600 - 2856 = 2744$#

$\theta_1 = (3200 - 1050)\frac{7}{5} = 3010$#

$R_1 = 3010 + (3200 - 1050) = 5160$#

$\theta_2 = 3200 \times \frac{7}{5} = 4480$#

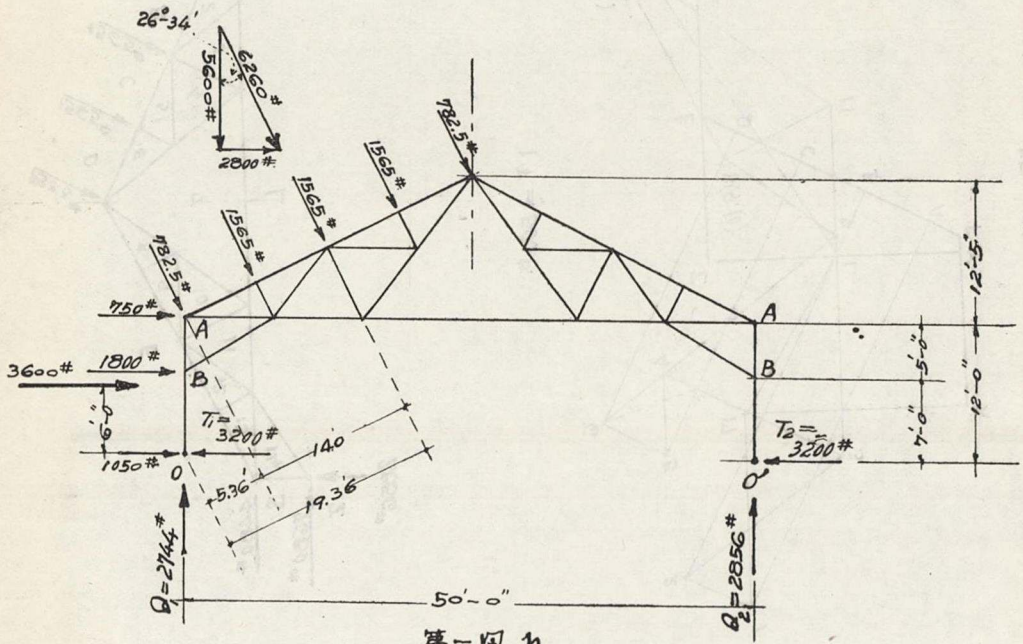
$R_2 = 3200 + 4480 = 7680$#

Q 及 R は小屋組が柱に及す作用であるから、反對に、柱は小屋組に夫々異方向等大の力となつて作用する。即ち、柱及小屋組に與ふる影響を其の儘存續せしめて柱を取り去れば第一圖 d 上方の如くなり、小屋組は平衡を保つ。下方に示す如き圖式解法の結果、第一表舊法の所に記入したる應力を得るのである。

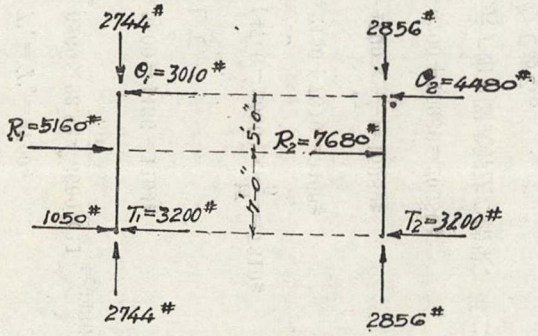
【例 題 2】(第二圖 a, b 參照)

(1) 條件

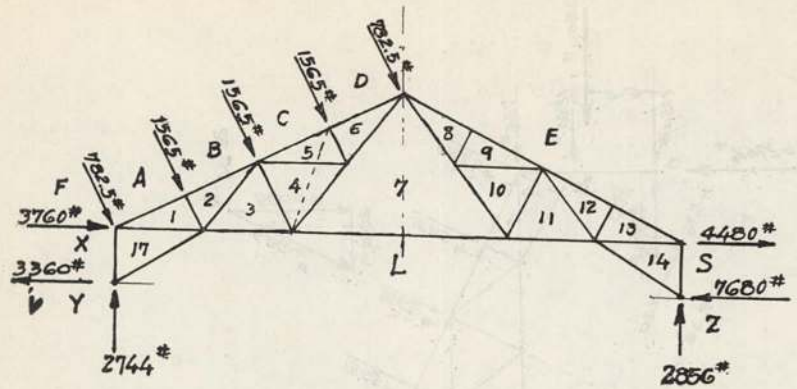
張間	50′—0″
全柱高	40′—0″
Knee-brace 足點までの柱高	35′—0″
Pitch	$\frac{1}{4}$
梁間	15′—0″
風壓(壁面)	20#/□′


26°-34'
5600#
6260#
2800#
782.5#
1565#
1565#
1565#
782.5#
750#
3600#
1800#
A
B
O
A
B
O'
T₁=3200#
T₂=3200#
1050#
140
5.36'
19.36'
Q₁=2744#
Q₂=2856#
50'-0"
5'-0"
7'-0"
12'-0"
12'-5"

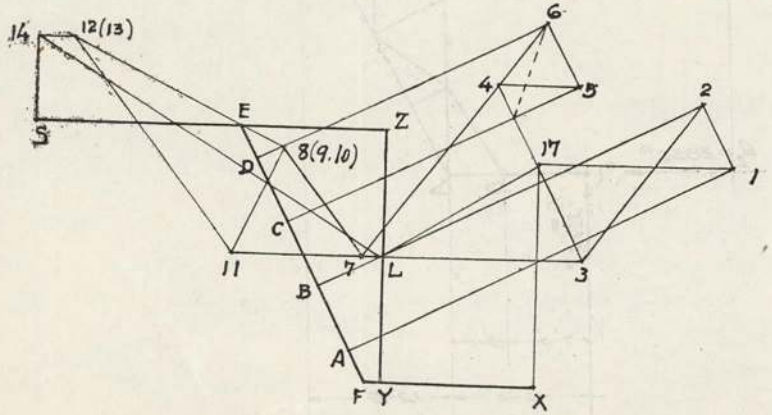
第一圖. b


2744#
2856#
O₁=3010#
O₂=4480#
R₁=5160#
R₂=7680#
5'-0"
1'-0"
1050#
T₁=3200#
T₂=3200#
2744#
2856#

第一圖. C.



1寸 = 500#



第一圖 d.

同 （屋根面）Duchmin 式より　　14.9#/□'

柱の二次率一樣ニす

(2) 計算

$$y_0 = 35\left(\frac{40+17.5}{40+70}\right) \fallingdotseq 18$$

全水平荷重 $= 6600 + 2800 = 9400\#$

$$\therefore \quad T_1 = T_2 = 4700\#$$

又圖 $Q_2 = \dfrac{6260 \times 23.83 + 6600 \times 11}{50} \fallingdotseq 4436\#$

$$Q_1 = 5600 - 4436 = 1164\#$$

前例の如くして

$$\theta_1 = (4700 - 2550) \times \frac{17}{5} = 7310\#$$

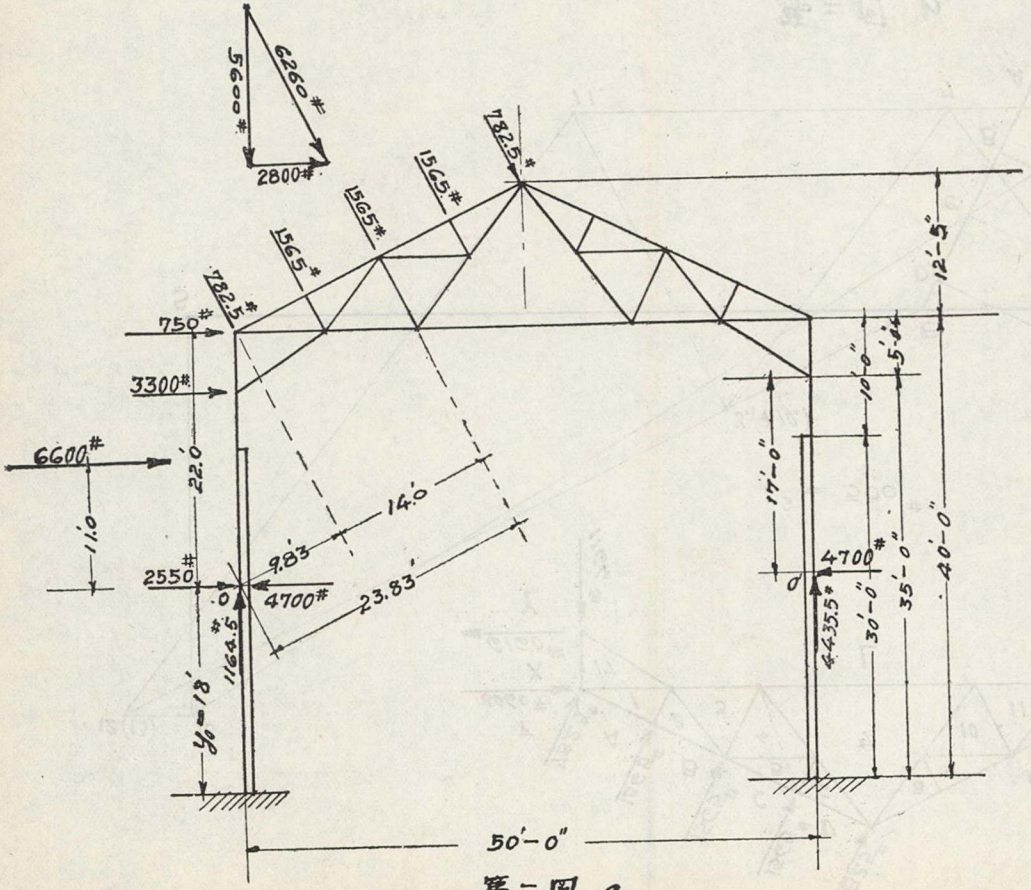
$$R_1 = 2150 + 7310 = 9460\#$$

$$\theta_2 = 4700 \times \frac{17}{5} = 15980\#$$

$$R_2 = 4700 + 15980 = 20680\#$$

第二圖 b に示す如き圖式解法の結果、第二表舊法の所に記入したる應力を得るのである。

柱の二次率一樣ならざる場合に對する解法ニしては、僅かに Ketchum 氏が、柱中途に曲力率が作用する場合についてのみ、提案してをる。これによるニ柱脚固定なる時にも y_0 の式により、之を柱脚滑節なる時に置き代へ（但し、柱高は柱脚より、Knee-brace 足點ニ柱頂ニの中央點、までを採る）剛比＝∞ として得られた rigid frame の式を利用して水平反力を求める。次にこの場合の應用例を揭げる事ニする。



第二圖. a.

【例　題 3】（第三圖 a, b 參照）

(1)　條件

張間	50′—0″
全柱高	40′—0″
Knee brace 足點までの柱高	35′—0″
下柱高	30′—0″
Pitch	$\frac{1}{4}$
梁間	15′—0″
柱中軸より偏心荷重作用線までの距離	$c=12''$
偏心荷重	$P=4000\#$
柱の二次率一樣ならず	$k=5$

(2)　計算

全柱高 $h=40-2.5=37.5$（第三圖 a 左半部參照）

$$y_0=35\left(\frac{37.5+17.5}{37.5+70}\right)\fallingdotseq 18$$

T は次式より算出する

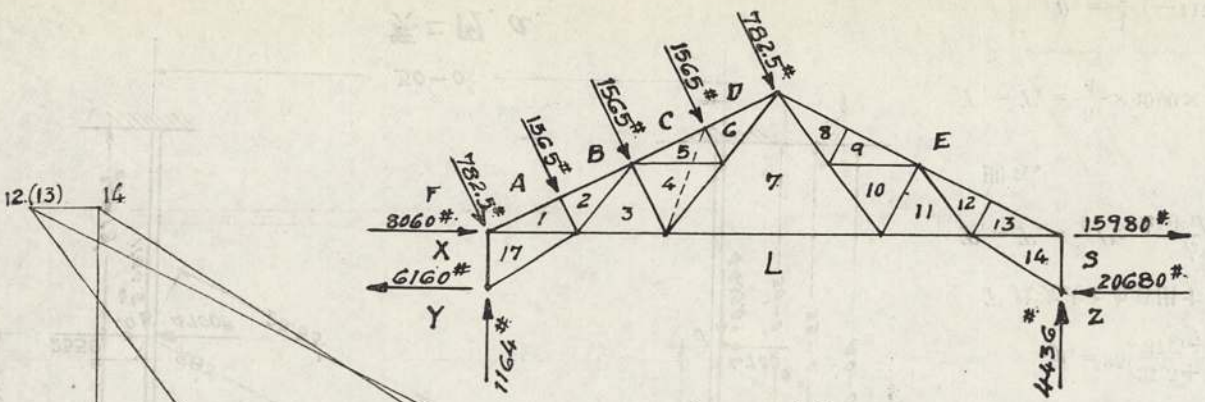
$$T_1=T_2=\frac{3}{4}Pc\frac{h^2-d^2}{h^3+d^3(c-1)},\qquad c=\frac{I'}{I}=\frac{1}{5}$$

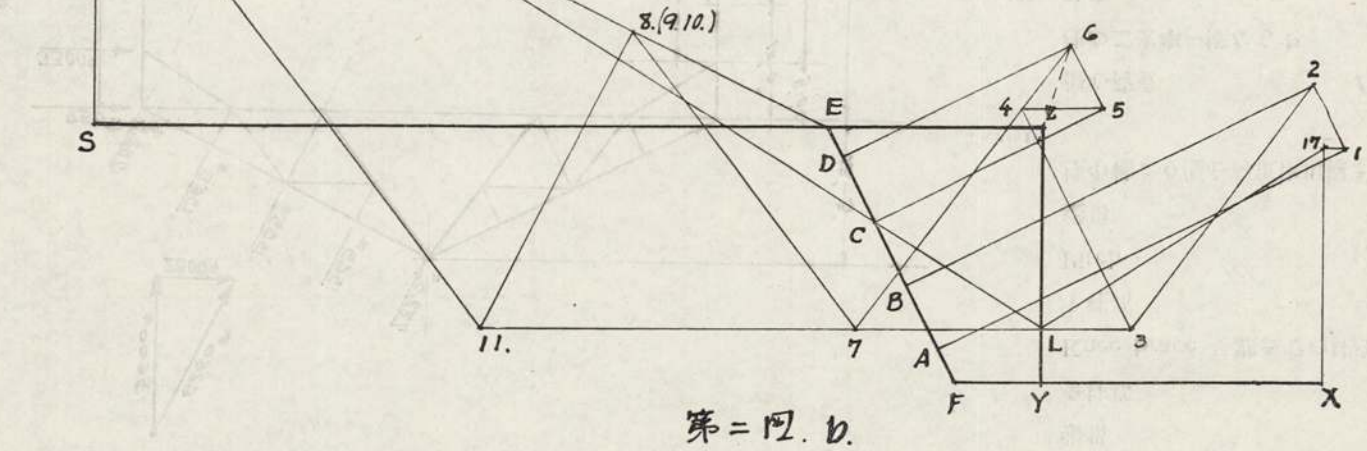
即ち、

$$T_1=T_2=\frac{3}{4}\times 4000\times\frac{\overline{19.5}^2-\overline{12}^2}{\overline{19.5}^3+\overline{12}^3\left(\frac{1}{5}-1\right)}=117\#$$

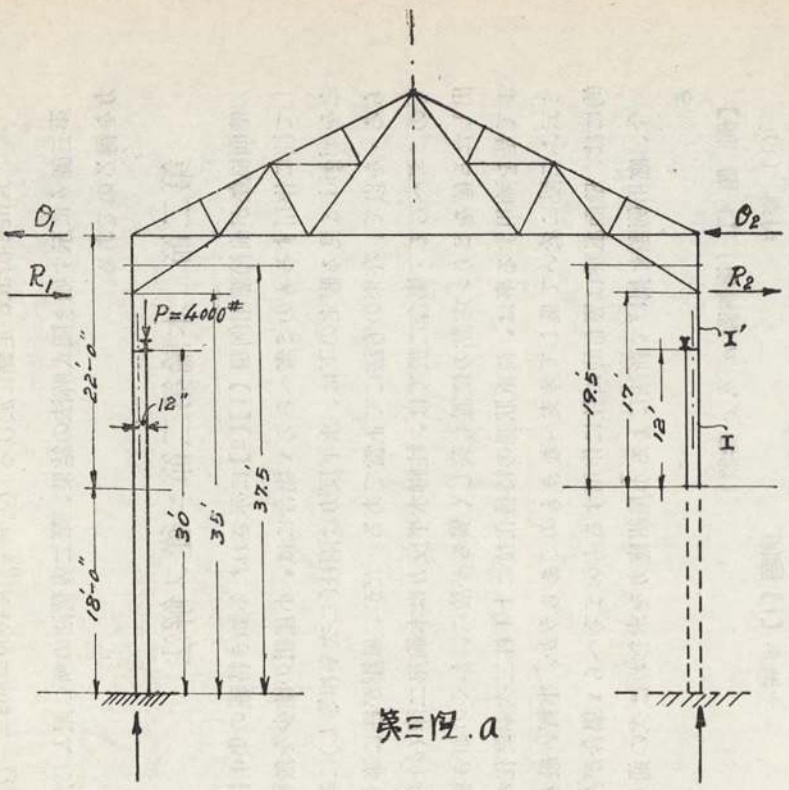
$$\theta_1=\frac{1}{5}(-117\times 17+4000)=402\#$$

$$R_1=402-117=285\#$$

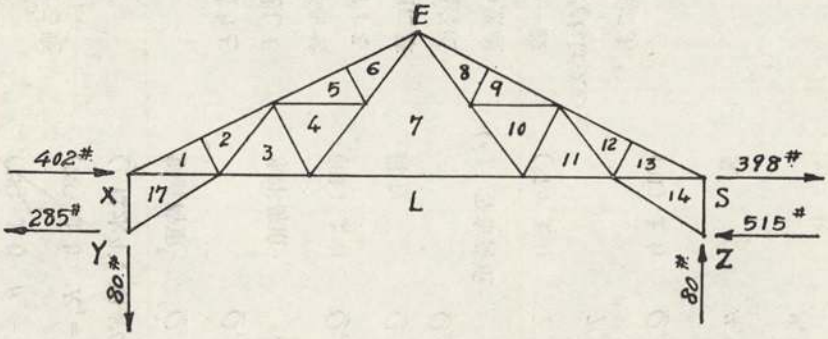

782.5#
1565#
1565#
1565#
782.5#
F
A
B
C
D
E
8060#.
X
6160#
Y
1164#
L
15980#.
S
20680#.
Z
4436#
1 = 500 #.

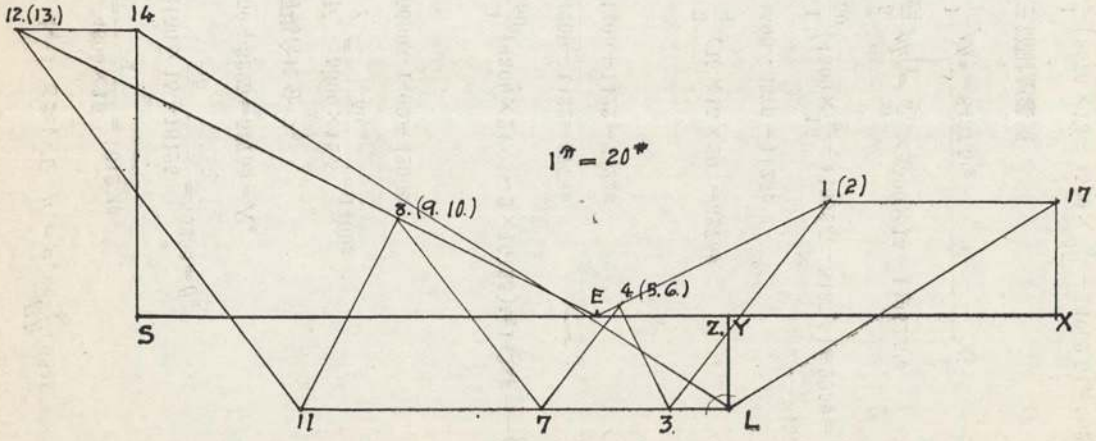

12.(13)
14
8.(9.10.)
S
E
D
C
B
A
F
11.
7
L
Y
3
X
G
4
5
2
17
1

第二図. b.


O_1
R_1
O_2
R_2
P=4000#
22'-6"
12"
18'-6"
30'
35'
37.5'
19.5'
17'
12'
I'
I

英三圖.a


E
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
17
L
X
S
Y
Z
402#
285#
398#
515#
80#
80#


12.(13.)
14
1"=20#
8.(9.10.)
1(2)
17
E
4(5.6)
S
Z
Y
X
11
7
3
L

英三圖, b.

$\theta_2=\frac{1}{5}(117\times17)\fallingdotseq398\#$

$R_2=398+117=515\#$

Knee-brace 足點に於ける $Q_1=\frac{1}{50}\times4000=80\#=-Q_2$

第三圖 b に示す如き圖式解法の結果、第二表舊法の所に記入したる應力を得るのである。

第二節　本論第二節ニ從フ解法

壁面風壓が前節應用例題【1】【2】に示されたる如き特種の集中横力として柱に作用するものニ考へらるゝ場合には、小屋組の縮少を無視して之を rigid ニ見る假定の下に、水平反力は兩柱(二次率相等し)に等布せらるゝを以て、在來の方法にて正當である。だが、風壓が柱に等布するものニ考へらるゝ場合に於ては、柱脚水平反力は本論第二節 (b) 項に算出したる値をニり、虚點の位置も著しく異るが故に、かくの如き場合にまで是を適用する事は、荷重狀態の特種化竝に上下柱二次率變化の無視ニ云ふ二點に於いて果して差支へなきものであらうか。事實、最も一般的には、壁面風壓は等布的に柱に作用するものニ考へらゝ場合が多い。

今、應用例題を揭げて新法による小屋組應力を求むれば次の通りである。

【例　題 4】(第四圖 a, b, c 參照)

(1)　條件　　例題【1】ニ同一

(2)　計算

(a)　集中著重:

(70) より　$T_1=T_2=\frac{2800+1500}{2}=2150\#$

μ は公式 (68) より $k=1$ ニおいて　$\mu_1=\mu_2=\frac{Ph}{4}$ (68)′

(68)′ より　$\mu_1=\mu_2=\frac{4300\times15}{4}=16125'\#$

(72) より　$\theta_1=\frac{-2150\times15+16125}{-5}=3225\#=\theta_2$

(73) より　$R_1=2150+3225=5375\#=R_2$

Q は水平、垂直の兩場合に分つ。

垂直荷重:　$Q_v=\frac{V_a}{l}=\frac{5600\times12.5}{50}=1400\#$

$Q_1=5600-1400=4200\#$

水平荷重:

(91) より　$Q_2=\frac{1}{50}(4300\times24.03-2\times16125)\fallingdotseq1422\#=-Q_1$

即ち　$Q_1=4200-1422=2778\#$

$Q_2=1400+1422=2822\#$

(b)　等布荷重:

(87) より　$T_1=\frac{3}{4}(15\times15\times20)=3375\#$

$T_2=4500-3375=1125\#$

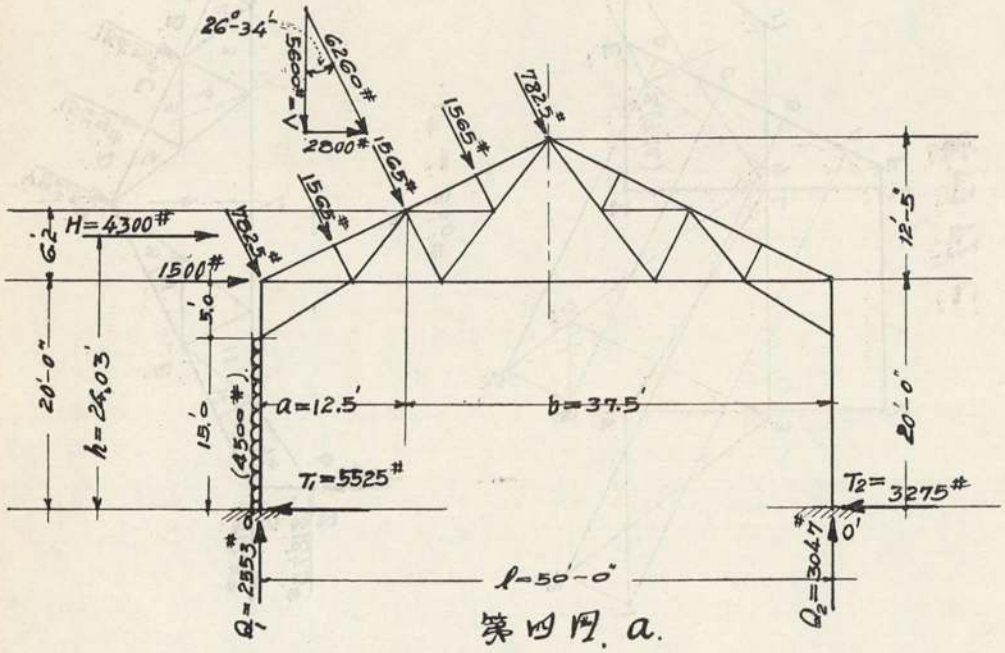
(91) より　$Q_1=\frac{1}{50}\left(4500\times\frac{15}{2}-14062.5-8437.5\right)=225\#=-Q_2$

又　$\mu_1=\frac{5}{24}ph^2=\frac{5}{24}\times4500\times15=14062.5'\#$

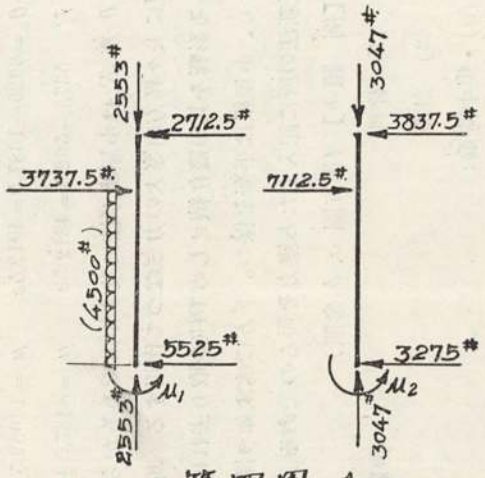
$\mu_2=\frac{1}{8}ph^2=8437.5'\#$

【註】 本式の誘導は第三節附記參照

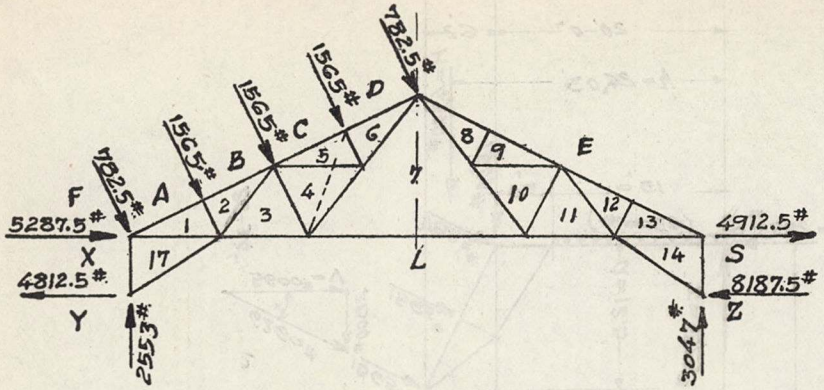
(89) より　$\theta_1=\frac{1}{5}\left(3375\times15-4500\times\frac{15}{2}-14062.5\right)=562.5\#$


26°-34'
6260#
2800#
1565#
1565#
1565#
1782.5#
H=4300#
1500#
1782.5#
6'2"
20'-0"
h=24.03'
5'0"
15'0"
(4500#)
a=12.5'
b=37.5'
12'-5"
20'-0"
T1=5525#
T2=3275#
Q1=2853#
Q2=3047#
l=50'-0"

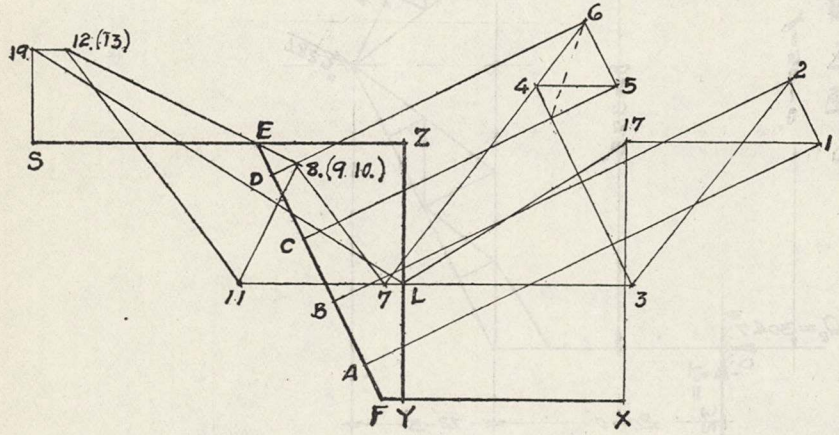
第四圖. a.


2553#
2712.5#
3737.5#
(4500#)
5525#
M1
2553#
3047#
3837.5#
7112.5#
3275#
M2
3047#

第四圖. b.



1分 = 500#



第四圖.C.

$$\theta_2=\frac{1}{5}(1125\times15-8437.5)=1687.5\#$$

(90) より $R_1=3375+562.5-4500=-562.5\#$

$R_2=1125+1687.5=2812.5\#$

(c) 合計

$T_1=2150+3375=5525\#$ $R_2=2812.5+5375=8187.5\#$

$T_2=2150+1125=3275\#$ $Q_1=2778-225=2553\#$

$\theta_1=3225+562.5=3787.5\#$ $Q_2=2822+225=3047\#$

$\theta_2=3225+1687.5=4912.5\#$ $\mu_1=14062.5+16125=30187.5'\#$

$R_1=5375-562.5=4812.5\#$ $\mu_2=8437.5+16125=24562.5'\#$

θ 及 R は小屋組が柱に及す作用であるから、反對に、柱は小屋組に夫々異方向等大の力ニなつて作用する。即ち、柱が小屋組に與ふる影響を其の儘存續せしめて柱を取り去れば第四圖 c 上方の如くなり、小屋組は平衡を保つ。下方に示す如き圖式解法の結果、第一表新法の所に記入したる應力を得るのである。

【例 題 5】(第五圖 a, b 參照)

(1) 條件 例題【2】ニ同一

(2) 計算

(a) 集中荷重:

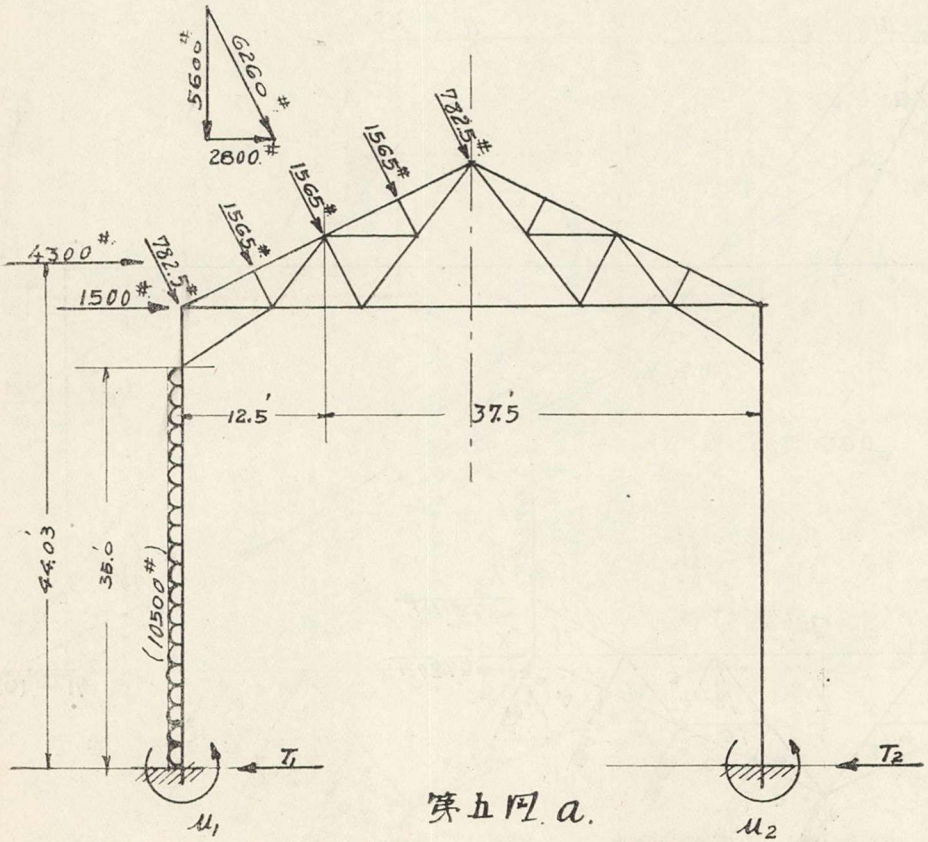
(70) より $T_1=T_2=\frac{4300}{2}=2150\#$

(68)′ より $\mu_1=\mu_2=2150\times17.5=37625'\#$

(72) より $\theta_1=\theta_2=\frac{1}{5}(2150\times35-37625)=7525\#$

(73) より $R_1=2150+3225=5375\#=R_2$

Q は水平、垂直の兩場合に分つ。



第五図 a.

垂直荷重： $Q_2 = \frac{V_a}{l} = \frac{5600 \times 12.5}{50} = 1400\#$

$Q_1 = 5600 - 1400 = 4200\#$

水平荷重：

(91) より $Q_2 = \frac{1}{50}(4300 \times 44.0 \ -2 \times 37625)$

$= 2281.6\# = -Q_1$

即ち $Q_1 = 4200 - 2281.6 = 1918.4\#$

$Q_2 = 1400 + 2281.6 = 3681.6\#$

(*b*) 等布荷重：

(87) より $T_1 = \frac{3}{4} \times 10500 = 7875\#$

$T_2 = \frac{1}{4} \times 10500 = 2625\#$

$\mu_1 = \frac{5}{24} \times 10500 \times 35 = 76562.5\#$

$\mu_2 = \frac{1}{8} \times 10500 \times 35 = 45937.5\#$

(89) より $\theta_1 = \frac{1}{5}(7875 \times 35 - 10500 \times 17.5$

$-76562.5) = 3062.5\#$

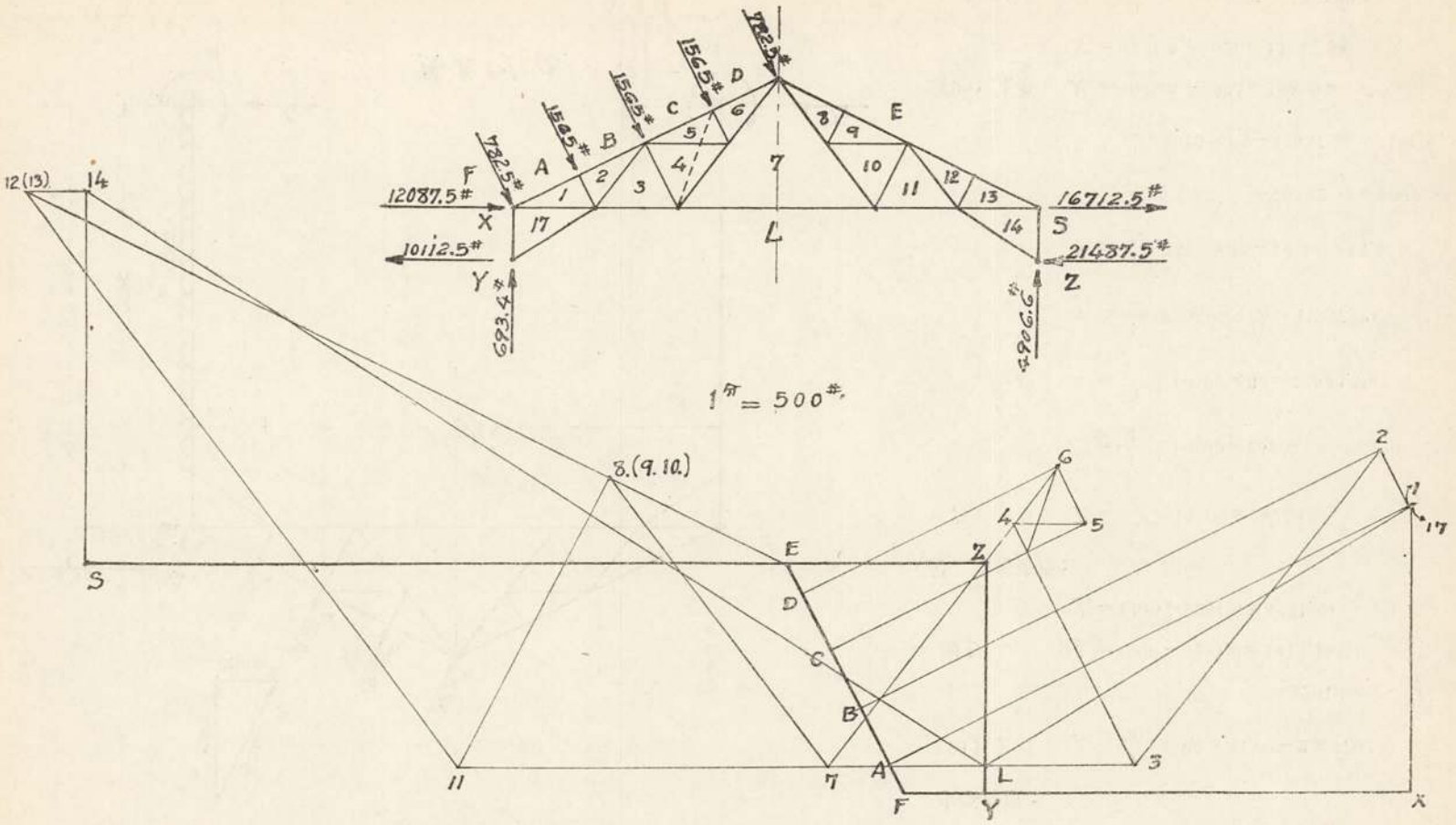
$\theta_2 = \frac{1}{5}(2625 \times 35 - 45937.5) = 9187.5\#$

(90) より $R_1 = 3062.5 + 7875 - 10500 = 437.5\#$

$R_2 = 9187.5 + 2625 = 11812.5\#$

(91) より $Q_2 = \frac{1}{50}(10500 \times 17.5 - 76562.5$

$-45937.5) = 1225\#$


1732.5#
1565#
1565#
1565#
A
B
C
D
E
F
X
Y
S
Z
L
12087.5#
10112.5#
623.4#
16712.5#
21437.5#
1732.5#
1 = 500#
12(13)
14
8.(9.10.)
S
E
Z
D
C
B
A
L
F
Y
11
7
3
2
1
17
4
5
6
X

第五圖. V.

(c) 合計

$T'_1 = 2150 + 7875 = 10025\#$　　$R_2 = 11812.5 + 9675 = 21487.5\#$

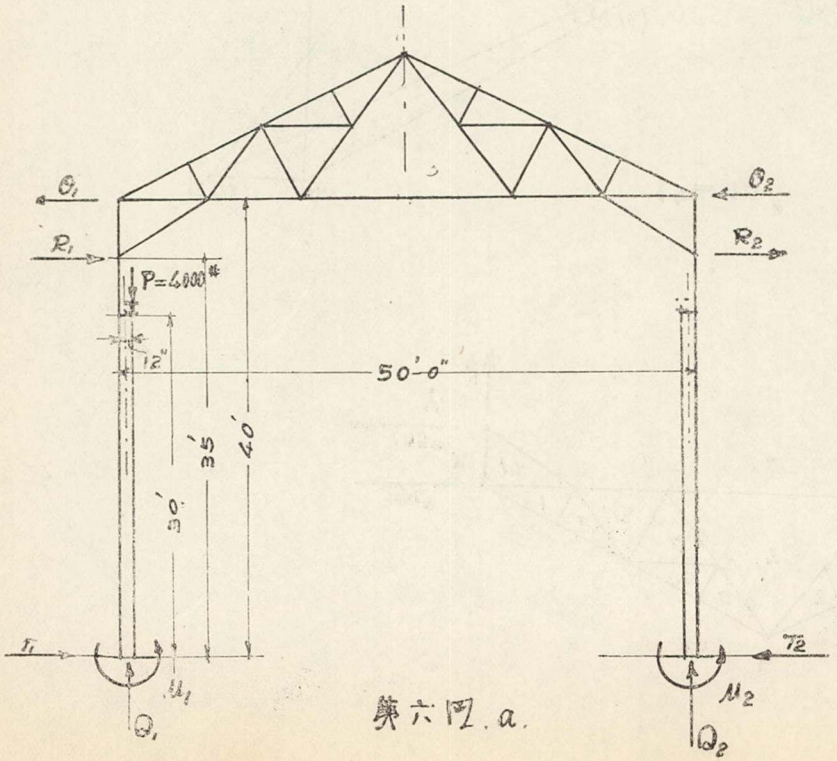
$T_2 = 2150 + 2625 = 4775\#$　　$Q_1 = 1918.4 - 1225 = 693.4\#$

$\theta_1 = 3062.5 + 7525 = 10587.5\#$　　$Q_2 = 3681.6 + 1225 = 4906.6\#$

$\theta_2 = 9187.5 + 7525 = 16712.5\#$　　$\mu_1 = 76562.5 + 37625 = 114187.5'\#$

$R_1 = 437.5 + 9675 = 10112.5\#$　　$\mu_2 = 45937.5 + 37625 = 83562.5'\#$

第五圖 b に示す如き圖式解法の結果、第二表新法 $k=1$ の所に記入



第六圖 a.

したる應力を得るのである。

【例　題 6】（第六圖 a, b 參照）

(1) 條件　　例題【3】と同一

(2) 計算

(121) より

$$F = 5\times\overline{35}^2 - (4)\times\overline{30}^2 = 2525$$

$$A = 30\times(-4) + 5\times 35 = 55$$

$$B = 5\times 4000\times(30-35) = -100000$$

(116) より　$\mu_1 = T\times\dfrac{2525}{2\times 55} - \dfrac{100000}{55} = 22.95\,T - 1818.2$

次に (130) より

$$T = \frac{-12\times\overline{35}^2\left(\dfrac{-100000}{55}+4000\right)+30\left\{12\times 4000\,(2\times 35-30) + 12\dfrac{-100000}{55}\left(2\times 35-\dfrac{4}{5}\times 30\right)\right\}}{4\times\overline{35}^2\left(\dfrac{3\times 2525}{55}-4\times 35\right)+30\left\{\dfrac{-4}{5}\times 30\left(8\times 30-12\dfrac{2525}{55}\right) + 24\times 35\left(35-\dfrac{2525}{55}\right)\right\}}$$

$$= \frac{-4581852}{-62192.6} = 73.67\#$$

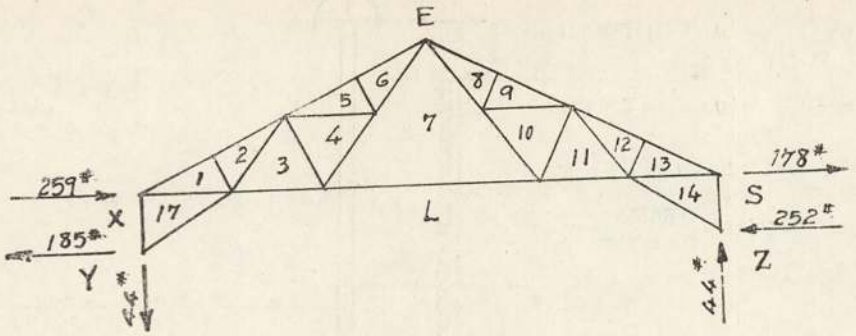
$\therefore\quad \mu_1 = 1690.7 - 1818.2 \fallingdotseq -128'\#$

(124) より　$\theta_1 = \dfrac{1}{5}(-73.67\times 35 - 128 + 4000) \fallingdotseq 259\#$

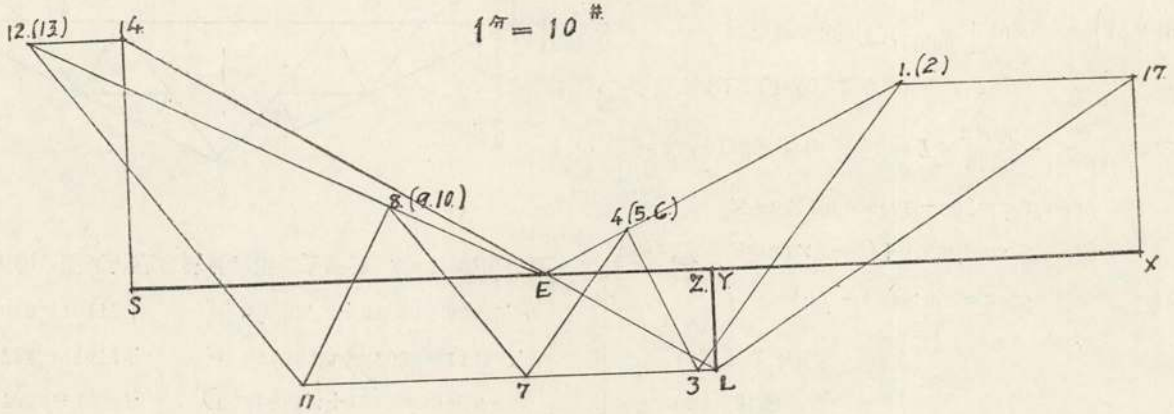
(125) より　$\theta_2 = \dfrac{1}{5}(73.67\times 35 - 1691) \fallingdotseq 178\#$

(126) より　$R_1 = 259 - 73.67 \fallingdotseq 185\#$

$R_2 = 178 + 73.67 \fallingdotseq 252\#$


E
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
17
L
259#
185#
X
Y
178#
252#
S
Z
44#

1分＝10#


12.(13)
4
8(9.10)
4(5.6)
1.(2)
17
S
E
Z
Y
X
11
7
3
L

第六圖.b.

(127) より P を除去し Knee-brace 足點に於ては

$$Q_1=\frac{1}{50}(4000-128-1691)\fallingdotseq 44\#=-Q_2$$

第六圖 b に示す如き圖式解法の結果、第三表新法の所に記入したる應力を得るのである。

【例　題 7】（第七圖 a, b 參照）

(1)　條件　　例題【8】と同一

但、柱は等布風壓を受ける。

(2)　計算

(a)　集中荷重：

(1) より　$T_1=T_2=\frac{4300}{2}=2150\#$

(3) より　$\theta_1=\theta_2=\frac{2150\times 17}{5}=7310$

(4) より　$R_1=R_2=2150+7310=9460\#$

Q は水平、垂直の二場合に分つ。

垂直荷重：　$Q_2=1400\#$,　$Q_1=4200\#$

水平荷重：

(2) より　$Q_2=\frac{4300\times 26.03}{50}=2239\#=-Q_1$

即ち、　$Q_1=4200-2239=1961\#$

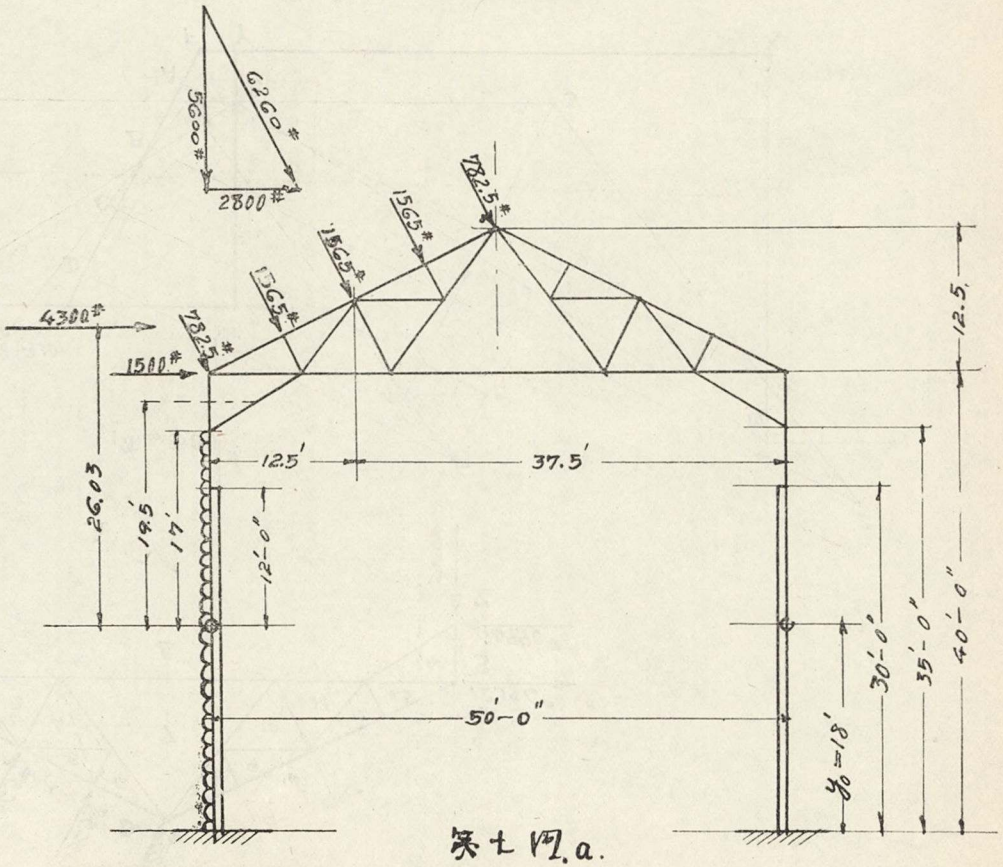
$Q_2=1400+2239=3639\#$

(b)　等布荷重：

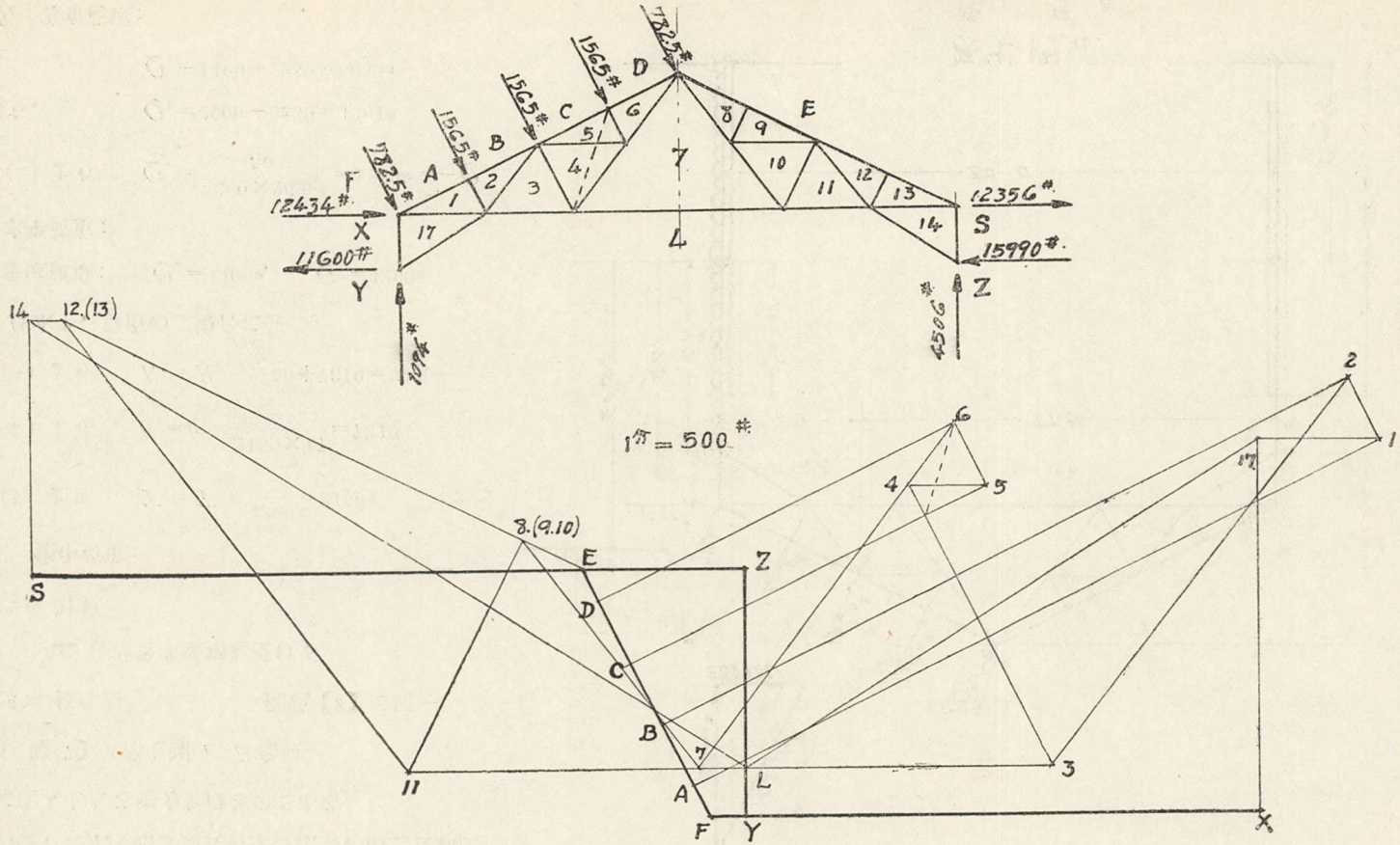
(19) より　$T_1=\frac{300}{16}\left[\frac{11\times 5\times\overline{17}^4-(5-1)(3\times\overline{12}^4+8\times 17\times\overline{12}^3)}{5\times\overline{17}^3-(5-1)\overline{12}^3}\right]$

$=\frac{1021437300}{282448}\fallingdotseq 3616\#$

$T_2=300\times 17-3616=1484\#$



第七圖 a.


1825#
1565#
1565#
1565#
1825#
12434#
11600#
1019#
4506#
12356#
15990#
X
Y
Z
S
L
A
B
C
D
E
F
G
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 17
14
12.(13)
8.(9.10)
1寸=500#

第七四圖

(22) より　$\theta_1=\frac{3616\times17}{5}-\frac{5100\times17}{2\times5}=3624\#$

$\theta_2=\frac{1484\times17}{5}=5046\#$

(23) より　$R_1=3616+3624-5100=2\ 40\#$

$R_2=1484+5046=6530\#$

(c)　合計

$T_1=2150+3616=5766\#$

$T_2=2150+1484=3634$

$\theta_1=7310+3624=10934\#$

$\theta_2=7310+5046=12356\#$

$R_1=9460+2140=11600\#$

$R_2=9460+6530=15990\#$

$Q_1=1931-867=1094\#$

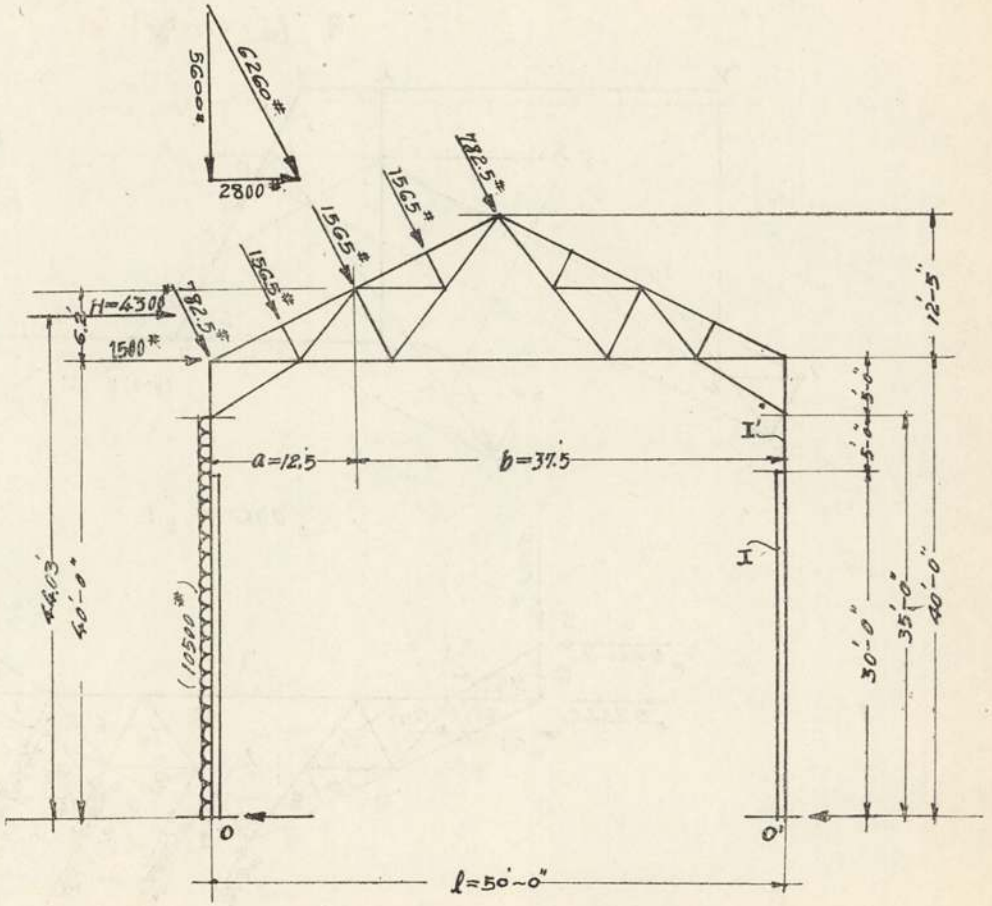
$Q_2=3639+867=4506\#$

第七圖 b に示す如き圖式解法の結果、第二表舊法の所に記入したる應力を得るのである。

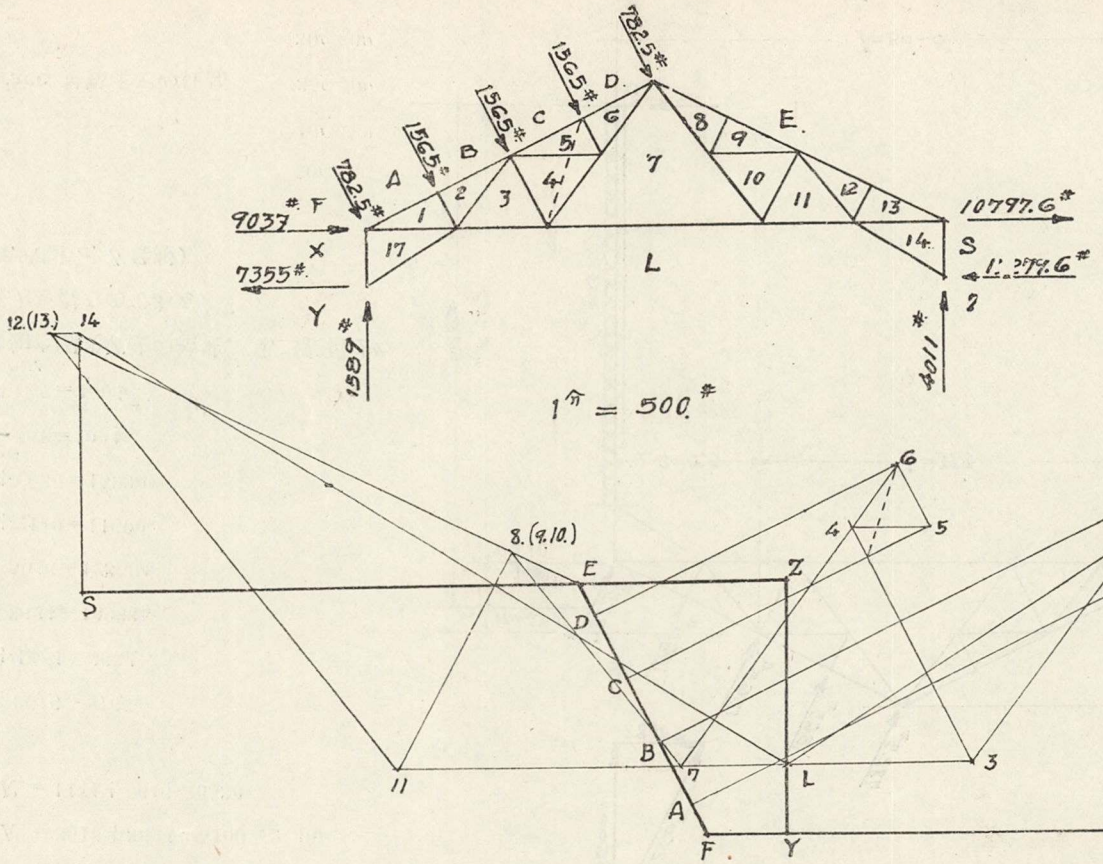
【例　題 8】（第八圖 a, b 參照）

(1)　條件

張間	50′—0″
同柱高	40′—0″
Knee-brace 足點までの柱高	35′—0″
下柱高	30′—0″
Pitch	$\frac{1}{4}$
梁間	15′—0″
風壓(壁面)	20#/□′



第八圖. a.


782.5#
1565#
1565#
1565#
782.5#
A
B
C
D
E
F
9037#
7355#
10797.6#
1:.:297.6#
1587#
4011#
X
Y
S
L
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
17
1分 = 500#
12.(13.)
14
8.(9.10.)
E
S
D
C
B
A
F
Y
X
L
Z
11
7
3
4
5
6
2
17
1

第八圖. b.

風壓(屋根面) Duchmin 式より　　14.9#/□′

柱の二次率一樣ならず　　$k=5$

(2) 計算

(a) 集中荷重:

(70) より　$T_1=T_2=\frac{4300}{2}=2150\#$

(68) より　$\mu_1=\mu_2=\frac{2150\times\overline{30}^2\times4-5\times2150\times\overline{35}^2}{2\times[4\times30-5\times35]}\fallingdotseq49352'\#$

(72) より　$\theta_1=\theta_2=\frac{1}{5}(2150\times35-49352)=5179.6\#$

(73) より　$R_1=R_2=2150+5179.6=7329.6\#$

Q は水平、垂直の二つに分つ。

垂直荷重:　$Q_2=1400\#,\quad Q_1=4200\#$

水平荷重:

(91) より　$Q_2=\frac{1}{50}(4300\times44.03-2\times49352)\fallingdotseq1813\#=-Q_1$

即ち、　$Q_1=4200-1813=2387\#,\quad Q_2=1400+1813=3213\#$

(b) 等布荷重:

(85) より

$A=30\times(-4)+5\times35=55$

$B=(5-1)\times\frac{300\times\overline{30}^3}{6}-\frac{5\times300\times\overline{35}^3}{6}=-5318750$

$F=5\times\overline{35}^2-(5-1)\times\overline{30}^2=2525$

(79)′ より　$\mu_1=T_1\times\frac{2525}{2\times55}-\frac{5318750}{55}=22.9T_1-96704.54$

$$T_1=\frac{\overline{35}^2\left\{11\times300\times\overline{35}^2-\frac{6\times2525}{55}\times300\times35-\frac{12\times5318750}{55}\right\}+30\left[\frac{1-5}{5}\times30\left\{300\times35\left(\frac{6\times2525}{55}-4\times30\right)-\left(300\times\overline{30}^2-\frac{12\times5318750}{55}\right)\right\}-16\times300\times\overline{35}^3+\frac{12\times35}{55}(300\times35\times2525+2\times5318750)\right]}{2\times\left[\overline{35}^2\left(8\times35-\frac{6\times2525}{55}\right)+30\left\{\frac{1-5}{5}\left(\frac{6\times2525}{55}-4\times30\right)\times30+12\times35\left(\frac{2525}{55}-35\right)\right\}\right]}$$

$=\frac{507835355.5}{62174}\fallingdotseq8168\#$

$T_2=10500-8168=3232\#$

従つて　$\mu_1=22.9\times8168-96704.54\fallingdotseq90343'\#$

(68) より　$\mu_2=\frac{2332\times\overline{30}^2\times4-5\times2332\times\overline{35}^2}{2[4\times30-5\times35]}=53530'\#$

(89) より　$\theta_1=\frac{1}{5}(8168\times35-10500\times17.5-90343)=2357.4\#$

$\theta_2=\frac{1}{5}(2332\times35-53530)=5618\#$

(90) より　$R_1=2357.4+8168-10500=25.4\#$

$R_2=5618+2332=7950\#$

(91) より　$Q_2=\frac{1}{50}(10500\times17.5-90343-53530)\fallingdotseq798\#=-Q_1$

(c) 合計

$T_1=2150+8168=10318\#$　　$R_2=7950+7329.6=15279.6\#$

$T_2=2150+2332=4482\#$　　$Q_1=2387-798=1589\#$

$\theta_1=2357.4+5179.6=7537\#$　　$Q_2=3213+798=4011\#$

$\theta_2 = 5618 + 5179.6 = 10797.6\#$　　$\mu_1 = 49352 + 90843 = 139695'\#$

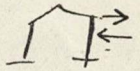
$R_1 = 25.4 + 7329.6 = 7355\#$　　$\mu_2 = 49352 + 53530 = 102882'\#$

第八圖 b に示す如き圖式解法の結果、第二表新法 $k=5$ の $d=30$ の所に記入したる應力を得るのである。

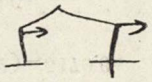
（以下次號）

前號訂正

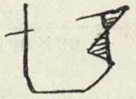
(1) 58 頁 11 圖は次圖の如くす



(2) 62 頁 13 圖は次圖の如くす



(3) 64 頁 15 圖は次圖の如くす



三月號訂正

	誤	正
66 頁公式 (72)	$\theta_1 = \theta_2 = \frac{\mu m}{b}$	$\theta_1 = \theta_2 = \frac{\mu m}{-b}$

（正　　誤）

三月號　66 頁公式 (72)　$\theta_1 = \theta_2 = \frac{\mu m}{b}$ は $\frac{\mu m}{-b}$ こす。

四月號　58 頁第十一圖 θ_2, R_2 及 62 頁第十三圖 $\theta_1 R_2$ の矢印は夫々方向反對とす。

又 64 頁第十五圖は下圖の誤りである。

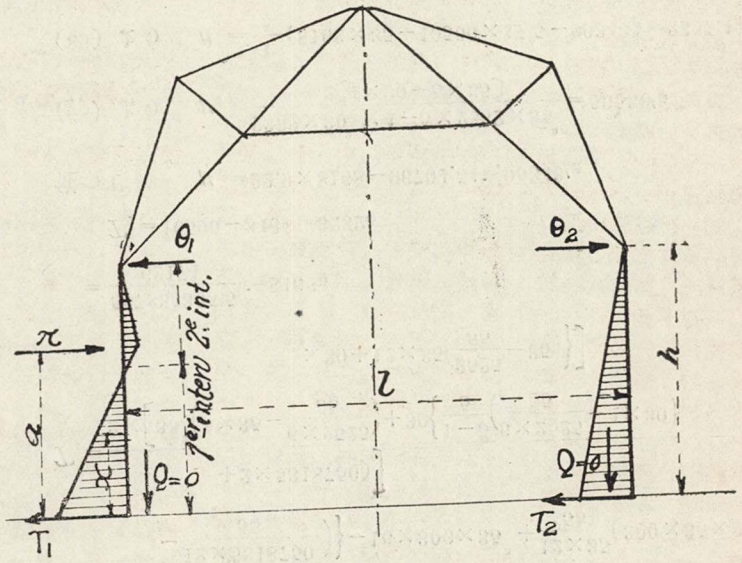


FIG. 15. — Ferme Mansart.

新刊紹介

—宗　教—

◇社會生活と宗教宣傳（田中豐著）現代は宣傳の時代である、毎年内地のみにて宣傳の爲の費用五億、各國を合すれば五十億を超えるといふ、まこと宣傳時代なるかなである、本書はその宣傳の本質に立入つてそれを學術的に系統的に研究したもので、少しく語句に難解な文字を使用しすぎる傾向があるが現及將來の時代に新しく生活し雄飛せんとするものにとつて欠くべからざる宣傳を知る爲にその本質的系統的宣傳學ともいひ得べき本書は讀まるべきであらう（價一圓六十錢市外代々幡町幡ヶ谷五六宣傳研究所）

◇大日蓮（木村鷹太郎著）今日までの日蓮は日本國の小日蓮であつた、一天四海を舞臺とした大日蓮はもつと大きい人物である、世界歷史に現はれた偉人は殘らず日蓮上人と關係をもつてゐるといふ素晴しい考へ方を說いたもの（二圓五十錢

—建　築—

◇明治工業史建築編（明治工業史編纂委員編）この方面の歷史的研究はわが國では皆無といつてもよいほど少いとき、この度十年餘の刻苦を重ね、百二十餘人の人々がそれ〳〵の部門を擔當してなつたもので、維新前後から明治の後期に至るまでの建築の沿革、建築行政、建築教育から宮殿建築、官廳舍、公共建物、劇場、神社の建築發達史を詳述した七百五十ページのもの（十五圓東京麹町八重洲一丁目一工學會）

◇應用本位建築材料集覽（松本甚三著）著者は錢高組の技師で、建築材料を實地に活用せんとする人のため、また學生の參考書として編まれたもの。

—園　藝—

◇最新園藝講座　講座概要、園藝總論三講、園藝基礎學四講、植物の病氣と害蟲六講、造園學十講、溫室建築と暖房四講、果樹園藝五講、蔬菜園藝六講、花卉園藝八講、特別講座八講、園藝關係の農博、林學、理學、文學、工學、博士學士教授技師實際家六十名執筆本講座の内容菊版上質紙三色版、アート紙寫眞版數十葉一般挿繪寫眞版二千餘個全卷四千五百頁の大冊各卷約三百頁、開講方法十類五十九科目各卷三四講座を講義し每月一冊づゝ配本し、最後には夫々課目別に製本せば園藝百科全書となる、完了者には實費にて製本の需めに應ず（東京神田錦町一ノ一九　誠文堂實際園藝社）

◇指定庭園調査報告（内務省編纂農學博士原熙著）京都府に於ける著名な庭園の調査を寫眞と現況圖版を用ひて說明したもので珍貴なる出版物である。四六倍版總布裝（定價二圓八十錢送料二十七錢東京市神田區駿河台北甲賀町二十三刀江書院）

—圖　案—

◇萬國圖案大辭典　各方面にわたる代表的意匠は古今東西を通じて其數約五萬個、染織、陶磁器、金工、建築、刺繡等の廣汎なる應用に材料豐富。萬國圖案大辭典内容ノ一部　柱頭飾、パネル、織物、希臘陶器、染皮、金唐皮、支那銅器模樣、緣模樣、農民工藝、刺繡、中央模樣、モザイツクトロフイー、欄間、木材加工、古錢、建築裝飾、波斯陶器、鍔、目貫、鋲、裝幀イニシアル、華紋、鳥類、風俗、習慣、經濟等凡そ當時の社會世相と關係せざるものなく興味津々、而も史料豐富正確にして我國文化變遷の狀態は挿圖と共に手に取るが如し、實に得難き珍書である學校圖書館等は勿論廣く江湖の士に薦む。體裁と會費二六倍判脊皮天金裝幀堅牢優雅全一冊九百頁金拾二圓（申込所東京市麹町區大手町内閣印刷局内朝陽會、京都市一條通衣笠園表現社）

—交　通—

◇交通總論（增井幸雄著）交通政策の全般をまづ詳細に說いたものでしかる後各部門について續卷で述べると著者はいつてゐる、それは實際的といふよりも純然たる經濟論として論じたもので、在來の簡單なる類書と異り總論において基礎的にその學問的立場を打立ててゐる（價三圓八十錢日本橋通三丁目丸善株式會社）

◇大日本交通史（遞信省編纂）原名驛遞志稿、本書は我國唯一の國内交通史であつて往古よりの驛宿往還道路、公私旅行の狀態人馬驛遞の事情、信書往復の變遷郵便制度の創始等一切の史實を明かにしたもので其關係する處極めて多岐人情風俗、經濟等凡そ當時の社會世相と關係せざるものなく興味津々、而も史料豐富正確にして我國文化變遷の狀態は挿圖と共に手に取るが如し、實に得難き珍書である學校圖書館等は勿論廣く江湖の士に薦む。體裁と會費二六倍判脊皮天金裝幀堅牢優雅全一冊九百頁金拾二圓（申込所東京市麹町區大手町内閣印刷局内朝陽會、京都市一條通衣笠園表現社）

編輯後記

五月號も無事豫定の期日に編輯を終りました原稿を印刷所に廻はすまでは食事中でも電車中でも原稿！原稿！で頭中が一杯になつてゐる編輯子の苦節をお察し下さい。お陰様で今月も大變順調に行きました。

サアこれからゆつくり葉櫻でも樂みませう。

× × ×

今月號はモツト寫眞版が多くてまるで『建築と社會畫報』と改題せねばならぬ所でしたが、限られた豫算で致し方なく次月に割愛したものに、シエークスピアの記念劇場の競技案に就ての記事（木村氏）內外の新築紹介等があります。餘り一度に立派にし過ぎて、後が續かないと物笑ひですからね。

× × ×

六月號の豫定を一寸漏らしませう。ホントの事は蓋を開けて見ねばわかりませんが、

空中に伸びゆく都市——航空や防空の問題を遺憾なく取り入れた都市計畫や建築を主題にして夫々專門諸家に大氣焰を擧げて頂く心算です

× × ×

原稿を頂いてゐる諸氏に、一寸お詫びを致しておきます。といふのは頂いても早速載せないので御不審の方もお在りでせうが、編輯の主義として、毎月何か主題を置いてそれに連關した記事を纏めたいので、つまり立てゝおる計畫に合至した原稿はなるべく其月まで蓄へさせて頂きたいのです。そんな譯ですから、好題目がありましたらドシ〳〵御投稿を願ひます。決して粗末にしてゐる譯ではなく虎の子のやうに大事にしまひこんでゐる次第なのです。

次に每號連載の誌上講座渡部圭吾氏の建築工事實施方法は筆者諸君より非常な歡迎を受けてゐますが本月號に限り著者の都合で休載いたします來月號からは引續き連載の計畫であります

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	七拾五錢	貳錢
十二冊	九圓	貳拾四錢

昭和三年四月卅日印刷
昭和三年五月一日發行（每月壹回一日發行）

兵庫縣武庫郡本山村字北畑
發行兼編輯人 薦田夏次郎
兼印刷人

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所 大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所 社團法人 日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三、九九七五

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店 柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

社團法人日本建築協會會報

役員會

○臨時常務會

昭和三年三月廿二日自後五時至同六時半
出席者
片岡君　宗　君　坪井君　岡部君
八木君　木間君　木村君

一、決議事項
一、春季大會に關する件
春季大會委員會案通（四月號會誌豫告通）可決
二、展覽會實行委員追加依囑の件
加藤　善吉君　川村種三郎君
須川廉太郎君　德政　金吾君
增山　新平君　岡部　顯則君
右記六君に同委員依囑のことに決定
三、春季大會委員追加依囑の件
今林彦太郎君　小笠原　銅君
野村　敬一君　須川廉太郎君
右記四君に同委員依囑のことに決定
四、會員入退會の件

○常務會

昭和三年四月十日自後五時半至同八時半
出席者
宗　君　野村君　橫濱君　坪井君
和田君　岡部君　八木君　木村君

一、報告
一、三月分會計報告
一、決議事項
一、古代住宅建築研究の爲吉村邸見學
出張の件（第二部委員會要求）
承認
二、春季講習會の代りに通俗的講演會開催の件（同上）
保留
三、日本建築士會關西支部貸室料減額の件
四、會誌寄贈に關する件
承認
五、會員入退會の件
六、山口助手退職願出の件
承認

委員會

○第一部（法制）委員會

昭和三年三月十日自後五時至同八時半
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
今林君　德政君　加藤君　竹中君
高木君　津田君

一、議事
委員長及幹事選擧の結果左の通當選
委員長　池田　實君
幹　事　今林彦太郎君　野呂長四郎君

○第一部（法制）委員會

昭和三年三月二十七日自後五時半至同八時
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
池田君　今林君　德政君

一、議事
本委員會を左の四分科に分つことに決定
第一分科（都市計畫に關する分科）
第二分科（建築法規に關する分科）
第三分科（建築士法案に關する分科）
第四分科（工事施行規定及契約に關する分科）

○第二部（敎化）委員會

昭和三年三月十日自後五時至同八時半
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
池田谷君　小川君　松本君　小西君
酒井君　姬野君

一、議事
一、委員長及幹事選擧の結果左の通當選
委員長　古宇田　實君
幹　事　池田谷久吉君　小笠原銅君
二、第一分科及第二分科委員配置の件
三、其他

○第二部（敎化）委員會

昭和三年三月二十四日自後五時半至同七時半
出席者
古宇田君　池田谷君　小笠原君
小川君　松本君　增山君　小西君

一、議事
一、春季講習會の件
二、其他

○第三部（資料）委員會

昭和三年三月十日自後五時至同八時半
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
大澤君　片山君　呼子君　谷　君
松室君　佐藤君　須川君

一、議事
一、委員長及幹事選擧の結果左の通當選
委員長　松室　重光君
幹　事　谷　民藏君　下浦光衛君
二、其他

○第三部（資料）委員會

昭和三年三月十七日自後五時半至同八時
場　所　大同ビル、ライオン食堂
松室君　谷　君　大澤君　渡部君
片山君　呼子君　佐藤君　須川君
島田硝子製造所
日本スレート販賣株式會社大阪支店
大阪窯業株式會社
日本ペイント製造株式會社
大阪陶業株式會社
中村グラニツト商會
淺野物産株式會社大阪支店

一、議事
一、建築資料陳列場開設の件
二、其他

○第三部（資料）委員會

昭和三年四月二日自後五時半至同七時十分

場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
松室君　大澤君　片山君　呼子君
佐藤君　須川君
須賀商會
大阪窯業株式會社
高松平太郎商店
淺野物産株式會社大阪支店
一、議事
一、建築資料陳列場開設の件（前回續）
二、其他

○第三部（資料）委員會

昭和三年四月十六日自後五時半至同七時十分
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
松室君　大澤君　片山君　佐藤君
須川君
東京建鐵株式會社大阪支店
日本スレート販賣株式會社大阪支店
大阪窯業株式會社
熊取谷熊次郎商店
大阪陶業株式會社
淺野物産株式會社大阪支店
一、議事
一、建築材料を分類（十八項目に分類）研究するの件
二、建築材料の規格調査に要する一切の資料蒐集の件
三、其他

○第四部（災害）委員會

昭和三年三月十日自後五時至同八時半
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
池田君　石井君　中島君　黒田君
增田君　塘路君
一、議事
一、委員長及幹事選擧の件
委員長　光安梶之助君
幹　事　中島　智喜君
二、前年度研究題目「木造家屋耐震構造」整理の件
三、前年度研究題目「大阪市災害地圖」後始末の件
四、其他

○第四部（災害）委員會

昭和三年三月二十七日自後五時半至同八時
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
光安君　中島君　池田君　永澤君
能村君　黒田君　塘路君
一、議事
一、建築展覽會第三室出品に關する件
二、今年度委員會研究題目の件
「地質と地耐力の研究」を先づ研究することに決定
三、其他

○第四部（災害委員會）

昭和三年四月六日自後五時半至同九時
出席者
光安君　池田君
一、議事
一、建築展覽會第三室出品に關する件（前回續）
二、其他

○定款改正調査委員會

昭和三年三月十四日自後五時至同七時二十分
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
德政君　横濱君　前島君
一、議事
一、會員提出定款改正意見調査の件
二、其他

○春季大會委員會

昭和三年三月十五日自後五時至同八時
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
小川君　谷　君　竹内君　佐藤君
片岡君　横濱君　坪井君　岡部君
八木君
一、議事
一、委員長選擧の件
谷　民藏君當選
二、目的地、開催月日決定の件
三、其他

○展覽會實行委員會

昭和三年三月十四日自後五時至同九時
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
池田君　岡崎君　谷　君　宗　君
津田君　坪井君　八木君　松本君
古宇田君　酒井君　宮本君　下浦君
樋口君　姫野君

○展覽會幹事會

昭和三年三月十六日自後五時至同八時半
出席者
池田君　谷　君　坪井君

○展覽會實行委員會

昭和三年三月十九日自後五時至同八時十分
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
宗　君　池田君　小笠原君　坪井君
吉井君　津田君　中島君　久保田君
八木君　松本君　藤井君　古宇田君
下浦君

○展覽會幹事會

昭和三年三月二十九日自後五時半至同八時半
出席者
宗　君　池田君　小笠原君　坪井君

○展覽會第一部委員會

昭和三年四月七日自後五時半至同十時
出席者
加藤君　酒井君　姫野君　增山君

○展覽會第二部委員會

昭和三年四月四日自後五時半至同十時
出席者
坪井君　岡崎君　須川君

○展覽會第三部委員會

昭和三年四月七日自後五時半至同八時
出席者
池田君

○展覽會第四部委員會

昭和三年四月五日自後五時半至同八時
出席者
小笠原君　松本君　德政君

○展覽會第五部委員會

昭和三年四月五日自後五時半至同八時
出席者
下浦君　久保田君　岡部君

○展覽會幹事會

昭和三年四月九日自後五時半至同九時
出席者
宗　君　池田君　小笠原君　坪井君
加藤君　岡部君

○展覽會實行委員會

昭和三年四月十一日自後五時半至同八時
場　所　大同ビル、ライオン食堂
出席者
宗　君　小笠原君　坪井君　岡崎君
中島君　久保田君　八木君　藤井君
古宇田君　酒井君　下浦君　姫野君
岡部君　增山君　須川君

○展覽會幹事會

昭和三年四月十三日自後五時半至同八時四十分
出席者
宗　君　池田君　坪井君　加藤君
德政君　岡部君

會合

○三月例會

昭和三年三年二十二日自後六時半至同八時十分
講演者　醫學博士　佐多愛彦氏
演題　『文化の相違』
出席者
德政君外二十九名

新入會者

△會員

住友榮逸君　東區道修町二武田商店建築場大林組出張所内
井戸田國松君　名古屋市東區杉村町深田一七四　勤先　愛知縣建築課
福留恒吉君　山口縣玖珂郡和木村瀨田四七一ノ一　勤先　日本紙業株式會社建築科

△特賛

山田文次君　東淀川區今里町二五七
藤田重太郎君　西區靱下通一ノ二二
鶴丸梅太郎君　東區谷町二ノ五

△普賛

藤井修君　府下阪急線服部穗積一四〇二　勤先　岡部建築事務所
宮崎玉喜君　西區靱南通二岡部建築事務所
堀川竹雄君　同上
牧元淳男君　住吉區北田邊町六四九　勤先　大丸呉服店室内裝飾設計部
前田憲彦君　住吉區上住吉町一五六　勤先　岡部建築事務所
櫻井孝君　天王寺區寺田町九　農林省門司倉庫新設工事場大阪橋本組作業場
姫田新太郎君　天王寺區石ヶ辻町一一九　勤先　大阪市立都島工業學校
片倉尙太郎君　住吉區天王寺町二〇六三　勤先　同上
清水末雄君　甲府市横近習町六二　勤先　山梨縣土木課建築係
小宮山實君　山梨縣中巨摩郡敷島村一六九　勤先　同上
江平勳君　甲府市横澤町兵石森館内　勤先　同上
武井德松君　東成區中濱町三七六　勤先　米田建築事務所
末本豐吉君　福井市日之出中町八　勤先　福井縣營繕課
錫谷榮次郎君　西區靱北通三ノ四　勤先　杉村倉庫工務係

退會者

△會員

小田島兵吉君

△普賛

中野忠君
森義弘君　兵庫縣今津町津門字開七七四ノ一　勤先　門司市大久保海岸農林省門司倉庫新設工事場大阪橋本組作業場
工藤榮治郎君　府下豐能郡池田町菅原町五八二
昆眞造君　名古屋市東區杉村町一一二
中田幸一郎君　京都市上京區鹿ヶ谷法然院町一四
堀本兵一君　和歌山縣西牟婁郡周參見村周參見一四四八
岡本茂樹君　住吉區天王寺町二七〇八
杉浦喜三郎君　京都市上京區堺町通三條上ル
川口一二君　西宮市大井出
木村寬一君　天王寺區堂ヶ芝町九〇（二葉幼稚園東隣ノ電南一九二番）
山本喜一君　東京府下野方町上沼袋一八六
佐々木莊一君　住吉區杭全町市營住宅一三四
岡本茂樹君　住吉區天王寺町二七〇八
杉浦喜三郎君　京都市上京區堺町通三條上ル
川口一二君　西宮市大井出
木村寬一君　天王寺區堂ヶ芝町九〇（二葉幼稚園東隣ノ電南一九二番）
山本喜一君　東京府下野方町上沼袋一八六
佐々木莊一君　住吉區杭全町市營住宅一三四

轉居轉勤

△會員

安達收一君　廣島縣豐田郡上北方村
山田重藏君　東區内久寶寺町一ノ一五
松本榮吉君　東京府下王子町東洋紡績株式會社内
布袋惣平君　住吉區天王寺町苗代田二七二〇電天王寺六八一番

△普賛

石田晴治君　住吉區住吉町一〇三〇
田中新之助君　東京市芝區愛宕町三ノ一三榮商會内建築所

須惠　德朗君　東京市麴町區大手町二農林省建築場大林組出張所

太田　信夫君　府下中河内郡高井田村森河内川北社宅

大武　美德君　山梨縣東山梨郡加納岩村大野

細川　正君　府下三島郡吹田町上新田乾製紙增築工事場大林組出張所

日方　悅治君　東成區生野國分町二〇八ノ一

永井　義方君　横濱市中區山下町五八ヲイシングサン內

松山　愛三君　兵庫縣赤穗郡赤穗町大阪合同紡績株式會社建築場竹中工務店出張所內

辰己　常治君　京都市下京區朱雀正會町二五

竹內新兵衛君　堺市市之町一二（電一九〇五番）

阪本　佳明君　神戸市東須磨磯馴町三ノ六

足立　正雄君　兵庫縣今津町津門字開七七四ノ一

樋渡　純良君　北區國分寺町三八大林組宿舍

林　健雄君　臺北市書院町高等法院官舍建築工事場事務所內

○歸朝

會員井原國三君は昨年十一月渡歐、歐米各地に於ける建築界視察を終へ三月廿七日無事歸朝の由

○渡歐

會員和田信君（池田組）は歐米建築界視察研究の爲三月廿九日橫濱港出帆渡歐されたが歸朝は今年十一月末の豫定の由

○建築事務所開設

會員安部萬助君は今回安部建築所を東區京橋二ノ四八京阪ビル三三號室に設け一般建築設計監督事務に當たらるゝ由電話は東五二五三番

住所不明者

左記諸君住所不明に付現住所御承知の御方は本會事務所まで御通知を乞ふ

會員　足立圓次郎君

同　重本政次郎君

普贊　丸小野貞治君

同　佐倉達司君

同　和田房藏君

同　東與惣次君

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其　社

都人　每號　其　社

學士會月報　每號　學　士　會

建築世界　每號　其　社

朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會

セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會

住宅　每號　住宅改良會

建築雜誌　每號　建築學會

工政　每號　其　會

經濟資料　每號　東亞經濟調査局

土木建築　每號　其　社

建築新潮　每號　洪洋社

大阪工業俱樂部　每號　大阪工業俱樂部

通俗衞生　每號　大阪府衞生會

帝國鐵道協會報　每號　其　會

工業評論　每號　其　社

電氣學會雜誌　每號　其　會

鐵道軌道經營資料　每號　鐵道同志會

趣味ノ園藝　每號　關西園藝會

土木建築之日本　每號　其　社

工業ト社會　每號　東京工業會

工業　每號　大阪工業會

滿州建築協會雜誌　每號　其　協會

庭園と風景　每號　日本庭園協會

圖書室月報　每號　東京市政調査會

大阪綱島工業會誌　每號　其　會

エンヂニヤリング　每號　其　社

工業要錄　每號　其　發行所

都市研究　每號　兵庫縣都市研究會

名古屋工業會々報　每號　其　會

大阪　每號　大阪都市協會

生活　每號　生活改善同盟會

建設　每號　其　社

都市問題　每號　東京市政調査會

新建築　每號　其　社

京都の實業　每號　京都商工會議所

都市創作　每號　其　會

木材彙報　每號　大阪木材協會

建築學研究　每號　其　會

大阪土木建築業組合報　每號　其　組合

木材新聞　每號　關西木材商報社

工業新聞　每號　其　社

日本建材新聞　每號　其　他

役員

會長　理事　片岡安

副會長　理事　宗兵藏

副會長　理事　野村一郎

監事　池田實

主記　常務　松本禹象

同　常務　橫濱勉

同　常務　坪井誠一

同　常務　和田貞治郎

主計　常務　浦英之助

同　常務　吉井長七

同　常務　岡部顯則

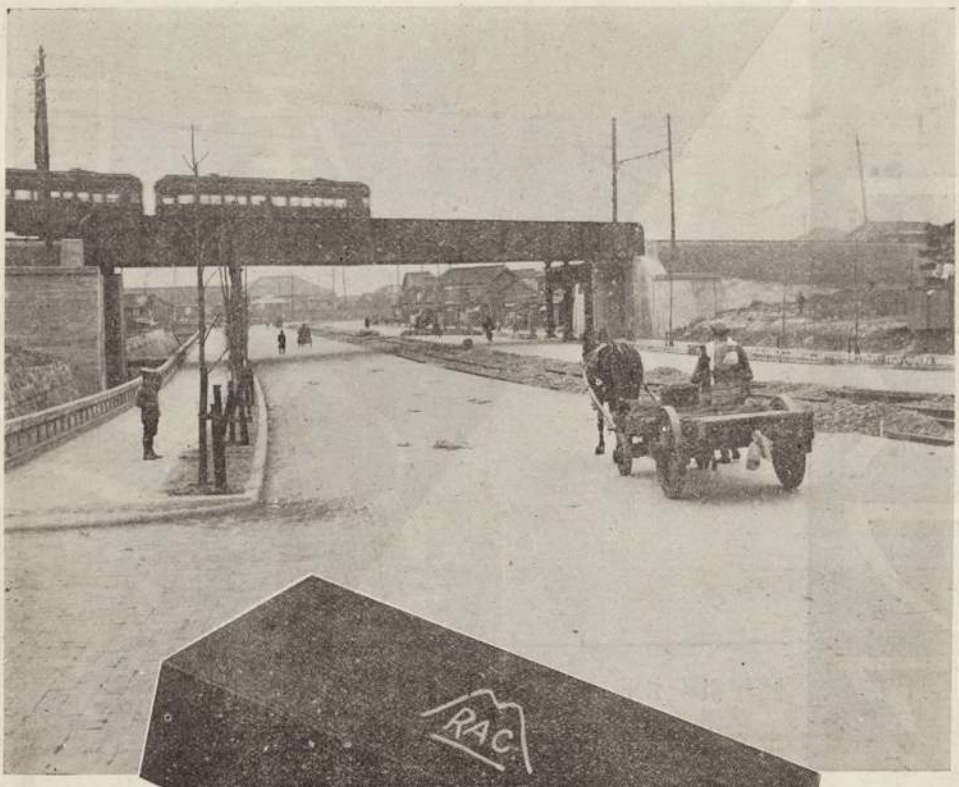
編輯　常務　本間乙彥

同　常務　波江悌夫

同　常務　八木幸次郎

同　常務　木村寬一

阪神國道（大正十五年五月施工）





道路、橋梁、諸建築、停車場、
其他床面鋪裝及防水用

現存諸官衙及一般建築業者ニ愛用
セラレツツアリ

威權の界裝鋪

ロック
アスフアルト・ブロック

東京出張所
東京市麹町區八重洲町一丁目一
昭和ビルデイング三階三一〇號室
電話丸ノ内七一番

東京分工場　東京府下龜戸町八丁目

本社及工場
大阪市港區新炭屋町三二
ロックアスフアルト工業株式會社
電話櫻川（六一五番）（三七九一番）

國産



アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御參考上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目
東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 工學士 池田實

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市西成區有樂町37

建築設計竝監督

大阪建築所

大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長二二八〇番）六一〇三番

パチエロプー・オフ・サイエンス カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング第八階

橋本建築事務所

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルディング第四十一號

建築設計監督 小笠原建築事務所

電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉚（マスイ）

住所 大阪市此花區酉島町北濱住宅二一〇號
電話土佐堀三一〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士 和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士 片岡安
工學士 石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險物建三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士 横河民輔
工學士 松井貴太郎
田中綱

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 宗 兵 藏
工學士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士
工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

鐵筋コンクリート建築

設計監督計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング

増田建築事務所

工學士 増田清

電話本局 2673 3176

東京市本郷區本郷三丁目八番地

建築士設計監督

眞水工務所

電話小石川三九六三番

建築士工學士 眞水英夫

工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏

太田正之

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

西原式 汚水淨化裝置

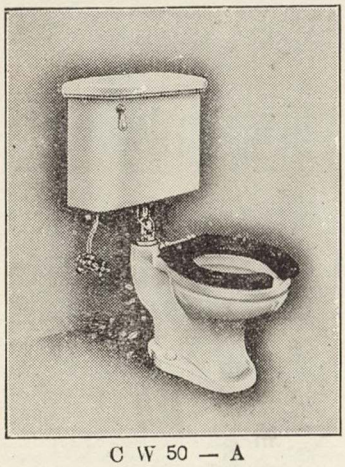
專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三三二一號 第六六一三五四號 第六六一四二三號 第六六〇七二號

國產優良品

パイロット衛生器具

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する尠なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、



C W 50 — A

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所大阪支店

大阪市北區中之島五丁目三十番地

電話土佐堀三七一八番 七八一五番

營業所 名古屋

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

京都出張店

電話下一三四五番

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地
三丁目拾三番
電話長北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 **大阪橋本組**
代表者 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

福岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話日本橋(24)三四六〇番 三四六一番

大阪市東區釣鐘町二丁目百二十八番屋敷
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話東二〇六番

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料　損料
鳶方（手傳）　工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北（局）一五三番
東京市神田區猿樂町
東京出張所　貳丁目壹番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ内郵船ビル　丸ノ内（23）長一二五〇
神戸市熊内町六丁目　萱合　八〇六
名古屋市西區幾原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九
長濱町屬番（三）

製作所
大阪市港區南境川町　西長八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社
佐伯組

本店　大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所
福岡市外馬出上町　電話長二二四二番
大分市南新地　電話長三七〇番
熊本市相撲町　電話長三九四番
小倉市中島町　電話長六一〇番
宮崎市宮田町　電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三地

久保田組
久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

株式會社
野村組
野村亥之助

東區京橋二丁目四八
京阪ビルヂング二四號室
電話東四八三番

諸石材販賣彫刻請負業

（黃龍石（人造石用）石粉各種
幷ニ
一手販賣
（高島產鏽色（人造石用）石粉各種
（黃龍石材各種

通名石佐事
熊取谷熊次郎

本店　大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所　東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長）三一一七番 三一一七番 三五三三番

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
長二五七五番 九八六番 二六八八番 五八四八番
電話牛込

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話局櫻川一五五八番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐報通二丁目二番地
電話局土佐堀（六六六番 六六七番）

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

特許ORC式
鐵筋混凝土煙突水槽工事設計施工

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川局一〇八六・二六二二
神戸出張所 電兵庫一四六九
名古屋出張所 電南局一五九八

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歳生命ビルヂング四三號
電話東一四七一

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社 **錢高組**

電話土佐堀（長三四一七／三四一八）

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（四二九二番／長四二八三番／長二三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所

電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所

電話本局三〇七六番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社 **大林組**

支店　東京、横濱、名古屋、小倉
營業所　京都、神戸、
工作所　大阪、東京、

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋

岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

有山組

大阪府東淀川區十三東之町
電話 自宅用 北二〇五〇
事務所用 三〇五一

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六
合資會社 **山田大理石製作所**
電話土佐堀四三四二番
長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電語ニテ御一報次第御伺仕可候

淺沼組

本店 奈良縣郡山町字今井 電郡山二五番
工作所 奈良縣郡山町字高田 電郡山二四一番
大阪支店 大阪市東成區東小橋町六六ノ一四 電南二七九〇番
大阪出張所 大阪市港區鶴町四丁目一八二 電櫻川二九〇七番
製材部 大阪市港區小林町一九五番地 電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目五一
電話土佐堀長（二六二番 二六三番）

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（長一九九〇番 一九九一番）

製材所 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八番 二八八六番）

安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

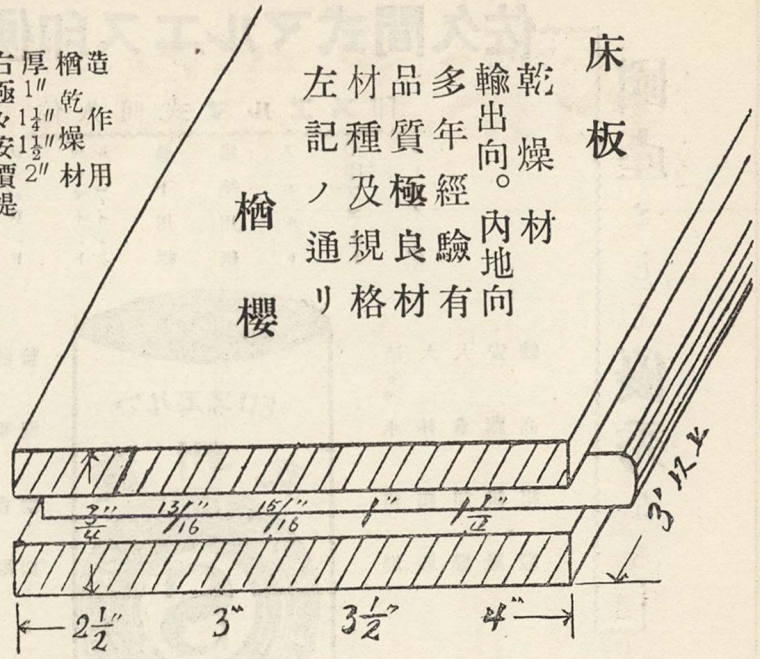
東京支店
東京市芝區白金三光町二三番地
電話高輪八一六七番

大阪市南區高津三番丁二番地
電話長戎二八一〇番

床板

乾燥材
輸出向。内地向
多年經驗有
品質極良材
材種及規格
左記ノ通リ

楢櫻



造作用
楢乾燥材
厚1″ 1¼″ 1½″ 2″
右極々安價提
供是非當店へ
御引合願上候

福原工場大阪販賣店
港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

福原床板製造工場
小樽市入舟町二丁目三十四番地
電話二七二三、一二三
振口小樽二五六七

建築用鐵材

丸鐵、鐵板
角鐵、アングル鋼
平鐵、ジヨイスト鋼
チヤンネル鋼

大阪市西區立賣堀北通二丁目

山本東作商店

電話 新町七四番
同同七五番
同七六番

受電略號オサカ、ナニワヅ

鐵筋用丸鐵

在庫豐富見積書御一報次第提出可仕候

佐久間式マルエス印便利瓦

國産として優秀なる

佐久間式マルエス印

- コンパウンド
- パーマネントルーフイング
- 疊下用紙
- 建築用紙
- フェルト
- C印フエルト
- ルーフイング



御用命

三菱地所部殿
東京府殿
大東京市殿
文藏省殿
鐵道省殿
陸軍省殿
警視廳殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
錢高組殿

橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿

（其他土木建築界各方面）

東京工業試驗所報告

品名	抗張力 縱	抗張力 橫	水壓力 氣壓	屈曲試驗 丸棒直徑	屈曲試驗 廻轉度	屈曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	瓦 70·5	瓦 42.9	1.4	糎 0·5	° 180	生ゼズ	大正十四年二月二十六日
某舶來一流(½)ブライルーフイング	同 53.7	同 21.8	1.2	同 1.3	° 180	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印半號ルーフイング	同 74.4	同 55.9	1.7	同 0.5	° 180	生ゼズ	大正十五年二月十日
某舶來一流(½)ブライルーフイング	同 80.3	同 39.3	1.2	同 1.0	° 180	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

東京府南足立郡千住町三丁目三百七十番地

佐久間建材工業所

所主 佐久間榮吉

電話淺草五〇六番・千住四〇二番

榮進社ノ

戸火防上捲　シュッサルーチス
類戸鐵種各　機降昇動手



營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二二九番

出張所　横濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町　二、七〇九番

合資會社　榮進社

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

安價　鐵筋コンクリート土管
　　ブロツクタイル
　　電纜埋設用トラフ
　　其他各種製品應御注文

迅速　鐵筋コンクリート煙突
　　一般土木建築工事
　　特殊ブロツク建築
　　ブロツク塀

カタログ進呈

大阪市西淀川区海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話土佐堀三八三四番

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲ 公私水道、**ポンプ**、屋外給水裝置。
▼防火▲ 防火栓裝置、**スプリンクラーシステム**、消防用器具、**サイヤーミンスコンネクション**、**ミニマツクス**消火器。
▼衛生▲ 洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲ 蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲ 自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲ リフリゼレーター。
▼眞空式掃除裝置▲ セントラル、バキユーム、クリーニングシステム。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國**スタンダード**衛生器具製造會社
米國**スローンバルブ**製造會社日本總代理店
米國**シカゴポンプ**製造會社

米國**スペンサークリーナー**會社
米國**ベージボイラー**製造會社日本總代理店
獨國**ミニマツクス**消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮内省御用達

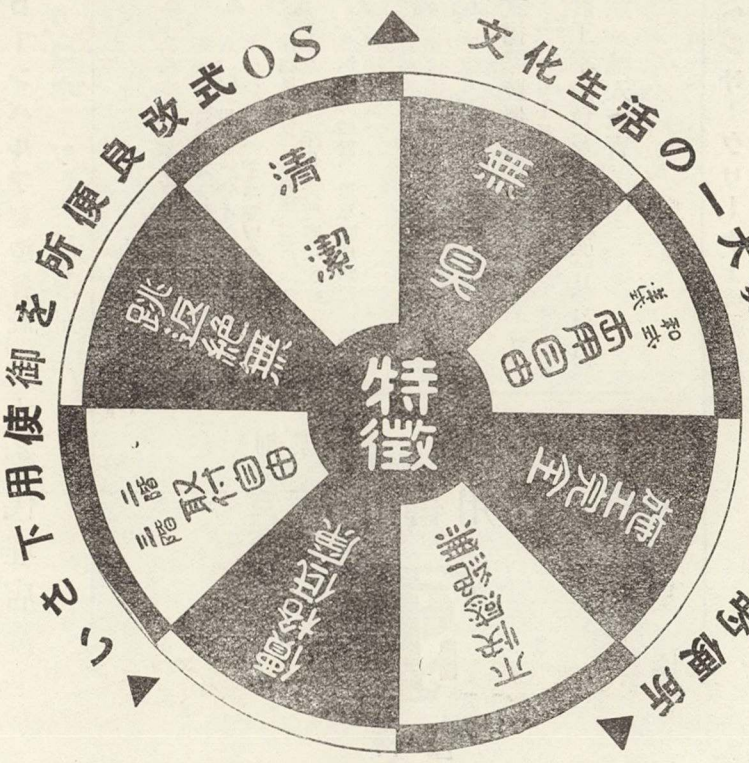
株式會社 **須賀商會**

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番 一一八九四番 一一八九五番）

支店	
東京	住吉
名古屋	神戸
京都	博多

所便改良

特許



設備費　金七拾五圓（大便所ノ㎜）
　　金九拾五圓（大小便所共設ノ場合）

大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社　須賀商會内

OS商會

電話本局　三四五番　九九九　八八八　一一一

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム
セメントプロツク
ドロマイト
㊫プラスター

特許ストンプロツク
特許ポースイ
マグネシヤ
セメント

葛生石灰株式會社發賣
㊫プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

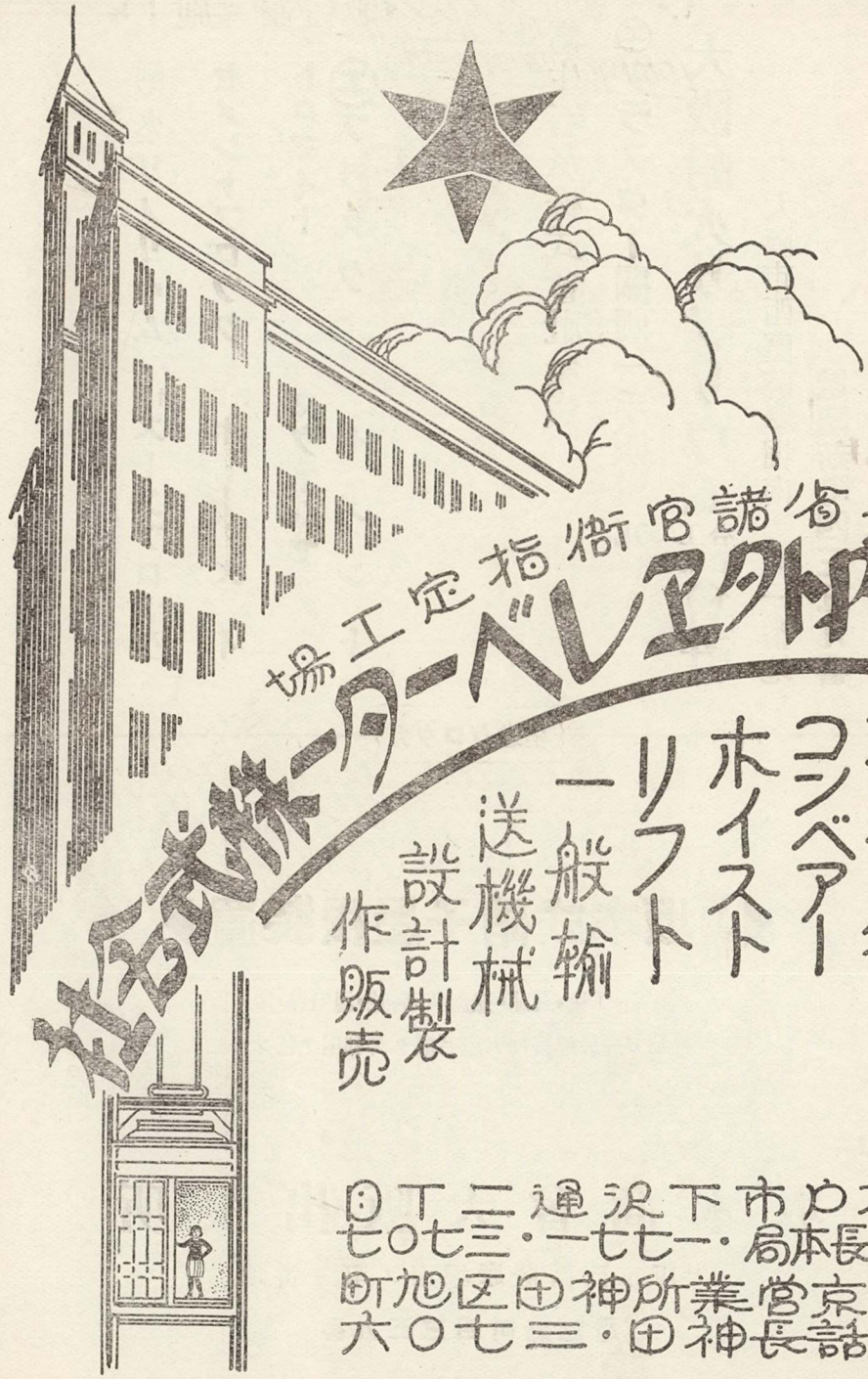
カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋
根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番



株式會社 内外エレベーター

各省諸官衙指定工場

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通二丁目
電話長田一七七一・一七〇三
本局
東京営業所
電話神田三・〇七〇六
神田区旭町

Nippon
DIAMOND RIB LATH.

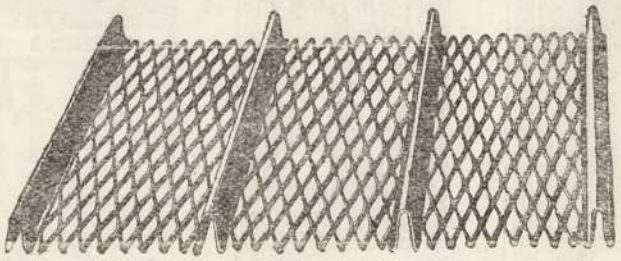
日本で……

初めて出來た

日本

ダイヤモンド

リブラス



厚、重量

錆止其他品質一切輸入品以上なりと大好評を得ております。是非共御採用の程を……價格低廉……

◎見本、型錄、御申越次第進呈

製造發賣元

大阪市此花區四貫島旭町一丁目

合名會社 **日進製作所**

電話土佐堀 二八四一番 三一三三番

販賣店

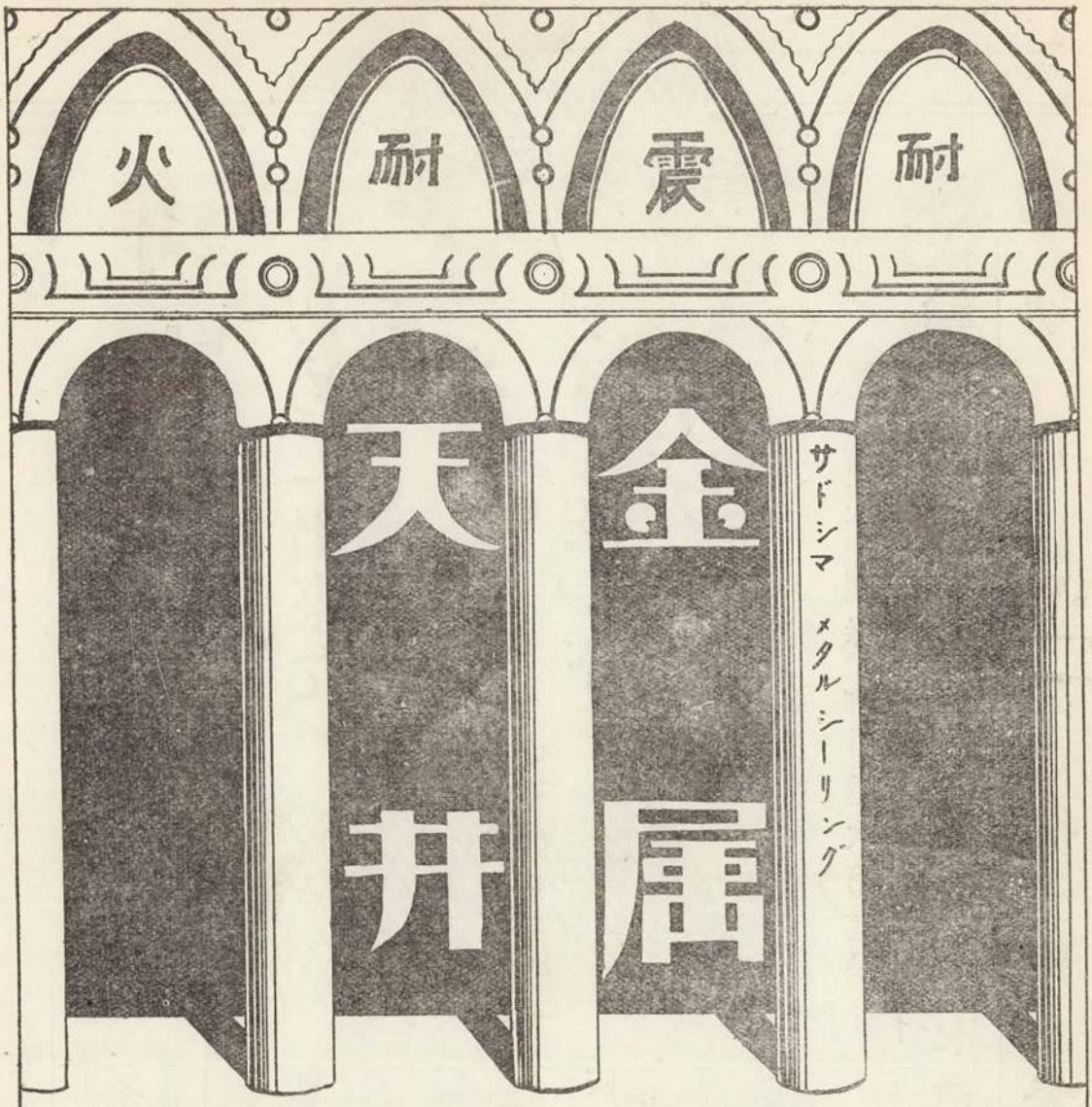
大阪市北區中ノ島六丁目

奥村重兵衛商店

電話土佐堀四六一番

輸入品使用の時代は既に已に去れり。

切に國產品の御愛用を希上ます。



御希望により亞鉛引平板。銅板。亞鉛板にても御用命に應じます。
尚又特殊御希望模様製作にも御相談に預ります。

營業品目

金屬天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鐵力板
洋釘
泪目浪板
薄鐵板
セラー釘

型錄贈呈

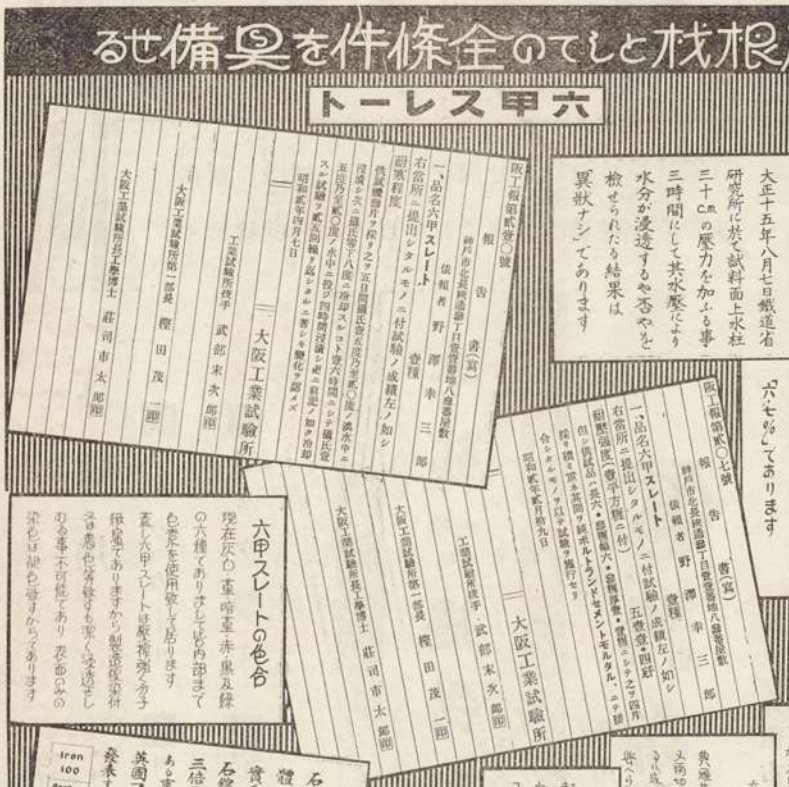
金屬天井板(羽目浪板)製造發賣元
大阪市南區安堂寺橋通り三丁目
佐渡島西店
金屬天井部
電話船場 九二一一番 九三一一番 九三二番
薩摩堀倉庫用新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番

屋根材としての全條件を具備せる

六甲スレート

六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省研究所に於て試料面上水柱二十cmの壓力を加ふる事三時間にして其水壓により水分が浸透するや否やを檢せられたる結果は「異狀ナシ」であります

六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の試驗成績報告書によれば「六・七%」であります



六甲スレートの色合
現在灰白・暗褐・赤・黒及緑の六種でありますが内部まで色素を使用致して居ります
若し六甲スレートが破損する場合でありますから耐候性染料は悪色せず又日光に曝しても褪色する事不可能であり表面のみの染色は絶対致さないからであります

六甲スレートの導熱
石綿盤はコルク次ぐ不良導體であることは世間周知の事實であります六甲スレートは石綿盤を兩面であつて厚さ約三倍でありますから「層造板の効ある事申迄もないと存じます
英國アスフセメントシンヂケートの發表する處に依りますれば反通すること



弊社の特許權

專賣特許	No. 29305	大正五年十一月四日	
〃	No. 30344	〃	
〃	No. 67558	大正十五年十二月六日	
〃	No. 68522	〃	
〃	No. 68644	〃	
實用新案	No. 99921	〃	
〃	No. 101526	〃	

六甲スレートの伸縮
膨張係數は〇・〇〇二四四ぢ一萬分の三強の伸縮あるのみであります

道具屋
軒先ケラバ用各種附屬品切斷鬼板・巴・緒等各種取揃居り各「其甲」をも製作致し居ります

維持費不要
耐壓力の強大と凍寒試驗をパスせる六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益多少でありませぬ

六甲スレート
普通の使方は
典雅荘重の四字であります
又雨のうつ事も碍ぬ氷柱りも滑かもしくは成功致し形狀かに對して二つの特色を備へて居ります

錄型
寫眞入美本御沙汰次第贈呈

製造 日本石綿盤製造株式會社
發売 野澤幸三郎商店

神戸 北長狹三丁目 電6 2830 2831
東京 丸ノ内 昭和ビル内 Rあ3670
大阪 船場 大江ビル内
福岡 舊川端丁三六 北5994
振替 大阪 415 東京 503 1945

コルクタイル

最新の機械と製法を發明せる我社は品質優良
と價格低廉なる点に於て他社の追從を許さず

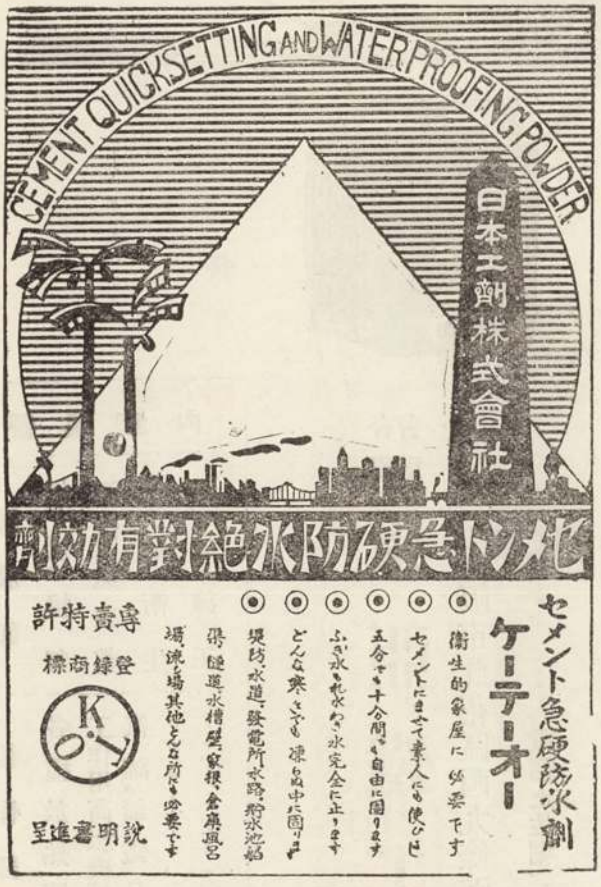
床敷用
■コルク、タイル　■リノ、タイル　下敷用コルク板
■コルク疊床　■絶縁用コルタ　其他一般

半額で提供す
他社製品と同等品ならば

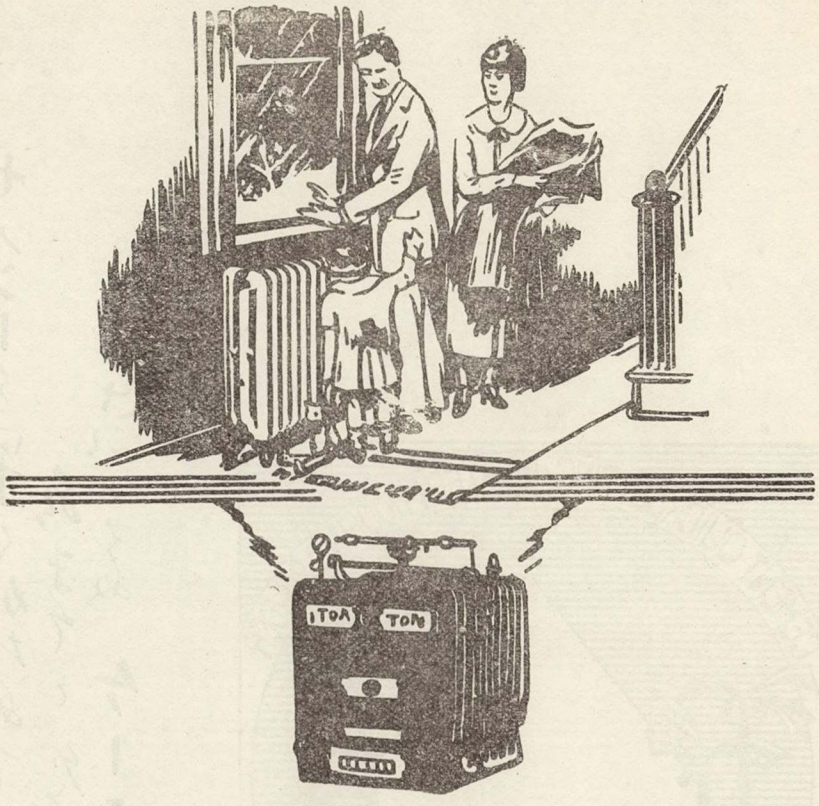
製造所
大阪市東成區中濱町三九四番地
大阪コルク工業合資會社
電話東(三二三六番)(五七六九番)

株式會社 高島屋呉服店裝飾部
大阪市南區長堀橋一丁目
電話南(三一一、三二、三三、長三四、三五、三八二三)(六三一〇、六三一一、六三一二、七八八二、七八八三)

セメントを早くかたまらせ
強さ永くたもつ ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番



合資會社

東亞鐵工所

大阪市此花區西九條濱通一〇

電話土佐堀(一一)三七番
(三)九六七番

合資會社

東亞鐵工所東京出張所

東京市麹町區丸ノ内ビル八七五

電話丸ノ内(23)一七九六番

營業案内

煖房部

煖房、換氣
溫濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部

各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町　電話五

出張所

東京市麹町區八重洲町一丁目九ノ内十號館五號
電話丸ノ内四六三九番

大阪市東區北濱四丁目三十三番地
電話本局㊁五三一九

京城府光化門通一九〇

玻子

ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

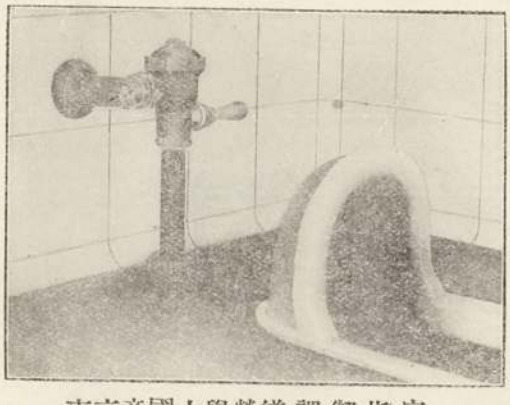
大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四
東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

木三寅　内崎瀧　眞彌邦　太三太　郎郎郎

社

辨滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京・阪大・京東

米本商店　元賣發造製

大阪市西區幸町三丁目二番地
電話 櫻川三八八〇番

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音内壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元 三井物産株式會社

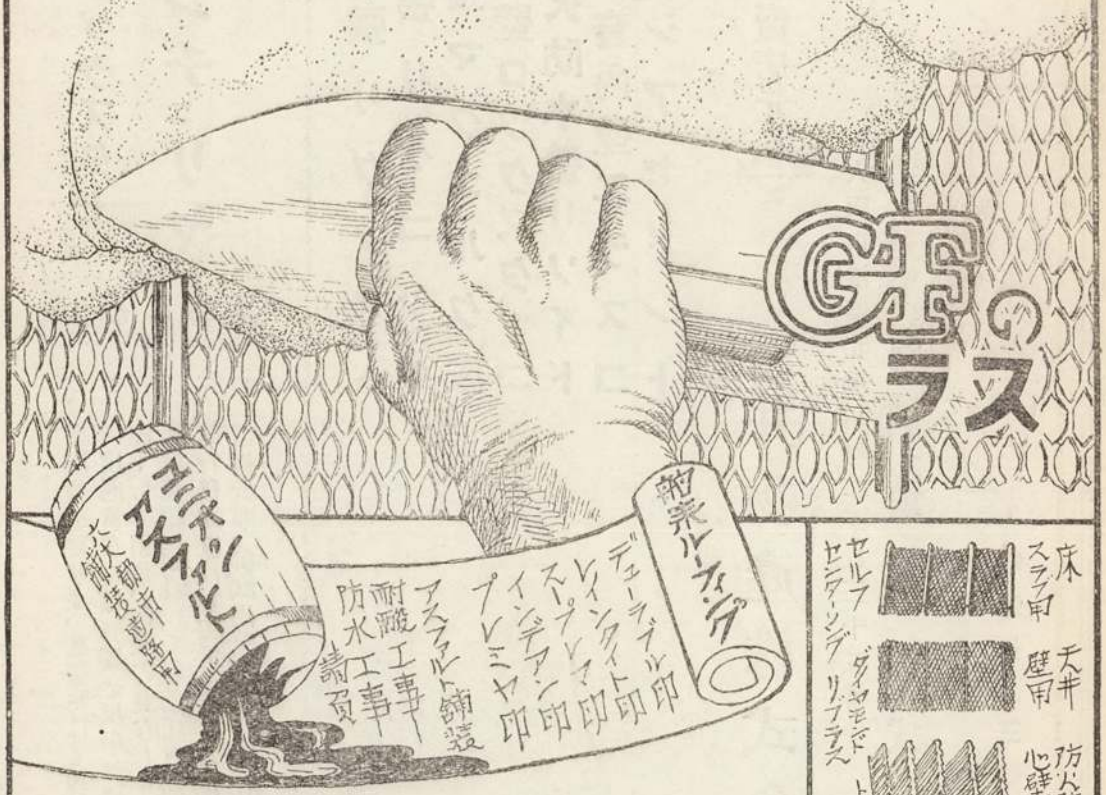
製造元 大阪市港區北境川町二丁目三十五番地
南滿鑛業株式會社
大阪出張所
電話長西三四八九番

既ニ！既ニ！漆喰壁ノ時代ハ去レリ。

大連ドロマイト

防火 耐水 硬性 プラスター

ABC建材月報
各種建材型錄
進呈



社長 淺野總一郎

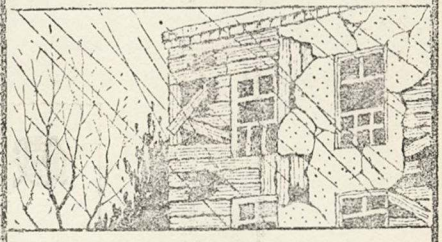
淺野物産株式會社

本店 東京市麹町區丸ノ内ビルヂング 電話 丸ノ内(六)二〇一一
支店 大阪市東區北濱五丁目至上ビル 電話 局(六)二八七〇
山本 牛込區矢來町一五 電話 牛込(七)三五六三

建築ノ耐久保健ト衛生

專賣特許 防水劑 マノール

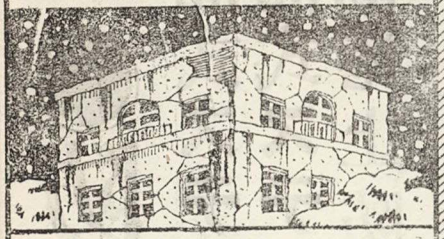
建築に濕氣は大敵なり



日本は世界一雨量の多い國
日本は世界一濕氣の多い國
日本は世界一蒸し暑い國
日本は世界一病菌の發生する國
日本は世界一建築の腐朽する國
日本は世界一地震の多い國
日本は世界一建築の難しい國

雨や溫氣の爲に害菌の損害を被り易い事が世界に比類ない日本では建築物の耐久と保健衛生上完全な防水劑を使用して木材壁材、鐵材等の腐蝕腐朽を防ぎ床屋壁等の氣孔中に發生する恐ろしい病菌を防止せなければなりません、特許**マノール**防水劑を御使用になれば、**セメント**石灰の鹽類と黴菌より受ける損害を完全に防止して耐久と衛生を兼ねた美しい建物が出來上ります。

腐蝕も病菌も濕氣から



特許**マノール**は屋壁等に使用せらるゝばかりでなく地下室、貯水池、隧道等水壓の加る**モルタル**、**コンクリート**の防水防濕用として今や全國的に應用されて居ます

用途

◎地下室の防水
◎壁屋根の防水
◎床井戸側の防水
◎炊事浴室の防水
◎地下鐵道の防水
◎水道貯水池の防水
◎船底船渠の防水
◎便所糞池の防水
◎高架鐵道の防水
◎水力工事の防水
◎醬油**タンク**の防水
◎其他衞生的工事

製造元 油脂化工社

特約店 建築材料合資會社
大阪市西區西道頓堀通二ノ六
電話長堀川二五六九番
振替大阪七四八〇七番

特約店 木下謹三商店
大阪市西區江戸堀北通五ノ三五
電話土佐堀二一六六番

◉防火宣傳◉

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江町三五四ノ一
電話土佐堀 長一八一四番 三〇〇八一四番
振替口座大阪四八〇〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

飛行機印



アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絶縁材料

大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長土佐堀五六〇一番

日洋的未來の屋トレース新材



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊀3468番・3469番
本社東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊀684・841(專用)1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
支店 門司市東本町四丁目 電話㊀548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

地下根屋陸

室用防水布



専賣許特
富士印
クロースルーフ井ング

本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度仲度滲透歷に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場　大阪住吉
大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

營業科目

- ◉和洋式建築金物
- ◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
- ◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
- ◉釘針金平浪板諸材料
- ◉鋼鐵自優防火シャッター

製作＝請負＝直輸入

大阪市北區南森町
合名會社
西孫南店建築金物部

電話北二八五〇番

直輸出入

大阪市南區順慶町二丁目
電話船一九六・一九七番
三〇二九番

スチールドアー各種

安價に

迅速に

叮嚀に

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

大阪鐵扉製作所

電話土佐堀五九二〇番

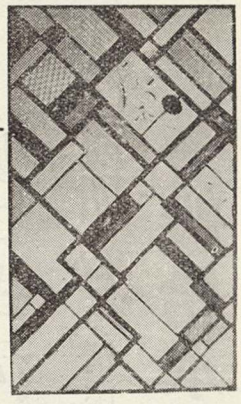
東京丸ノ內時事新報社四階

大阪鐵扉製作所東京出張所

電話丸ノ內三六二七番

ステインドグラス

グラスモザイク



VENUS STUDIO

大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

ルイタル品 S.S

最近當社獨特の
新製品嶄新なる
高級マット

奕秋（エキシュウ）タイルの出現

各種タイル販賣

大阪市西區靱北通一丁目二六
品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

電話土佐堀七一一番

便所之改善

専賣特許第三二七九八號

大正便所

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絶對皆無
現在汲取式の理想的便所

専賣特許第三六七一五號

特長

株式會社 城口研究所大阪支店

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 三一九五 八六番

本店 東京市神田區千代田町十八番地 電話神田 特長 二五二三番 二五二二番

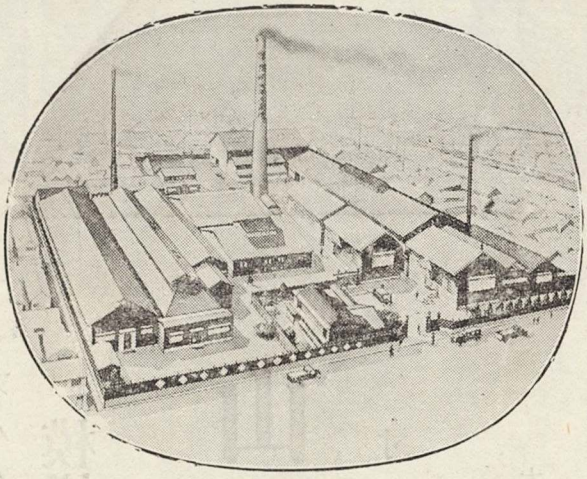
出張所 名古屋市西區本町三丁目五番地 東話 二三七〇番
同 京都市大和大路前佛 下話 四七二四番
同 神戸市三宮町一丁目百七十番地 電話三宮 一六八九番
同 横濱市常盤町五丁目八十一番地
同 廣島市竹屋町百三十五番地 電話 二八〇八番

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用
ペイント用
染色用
陶磁器用
漆器用
建築用
皮革用
防水布用
製紙用
リノリユーム用
燐寸用
ゴム製造配合用
電線被覆用
印刷インキ用
印刷製版用
スレート用

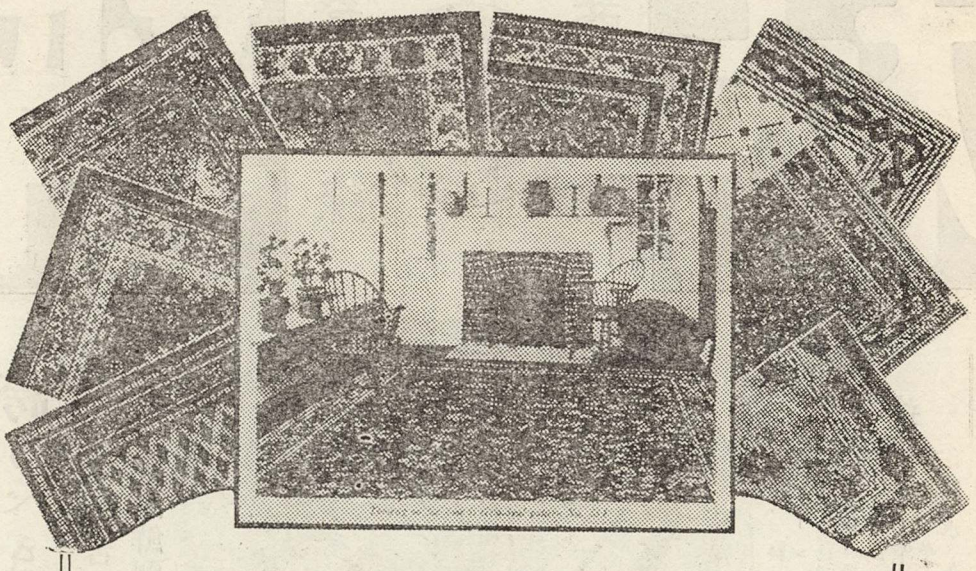
製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印	丹頂印	四十鳥印	隼印	鴎印	鵠印

（見本進呈）

大阪市西成區長橋通四丁目
發賣元　合資會社　**大平工業所**
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

大阪市東區道修町二丁目
代理店　**藤澤友吉商店**
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱電話避雷針工事
設計監督工事請負

淺海商店

店主　淺海治平
主任技師　工學士　齋藤應理

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
大江ビルヂング二階十九號
電話　北(一五七六)一二一五

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目一七三
出張店　下關市田中町本通三丁目
電話一六五三
大分市西町
福岡縣戸畑町
東京工場　東京市芝區愛宕下町二目丁



檜實剝繼手付

櫻 **床板**

同上羽目板

同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式バーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產樅材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番

三熊製疊所

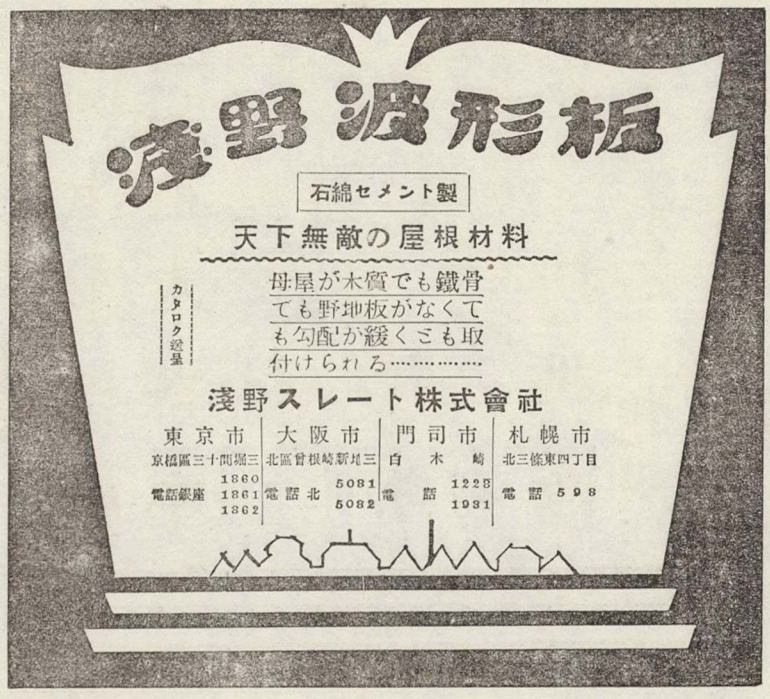
創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲本品は現に我國屈指の建築技師及技術家を始め別莊住宅各官廳及重要會社の設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長
製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀

當所ハ各種疊製品ヲ製造納入スルノミナラズ疊一切ノ材料例ヘバ疊床疊表疊緣地等ノ如キハ各種全部取揃申居候間疊一切ノ御入用品ハ多少ニ係ラズ御下命御願上候也

販路—關西關東ヲ始メ全國各地一圓現場納入
▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はば委細御說明申上候
價格表御一報次第送呈仕候
出張所々在地　大阪　京都



建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀(二)二一六六番
七一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

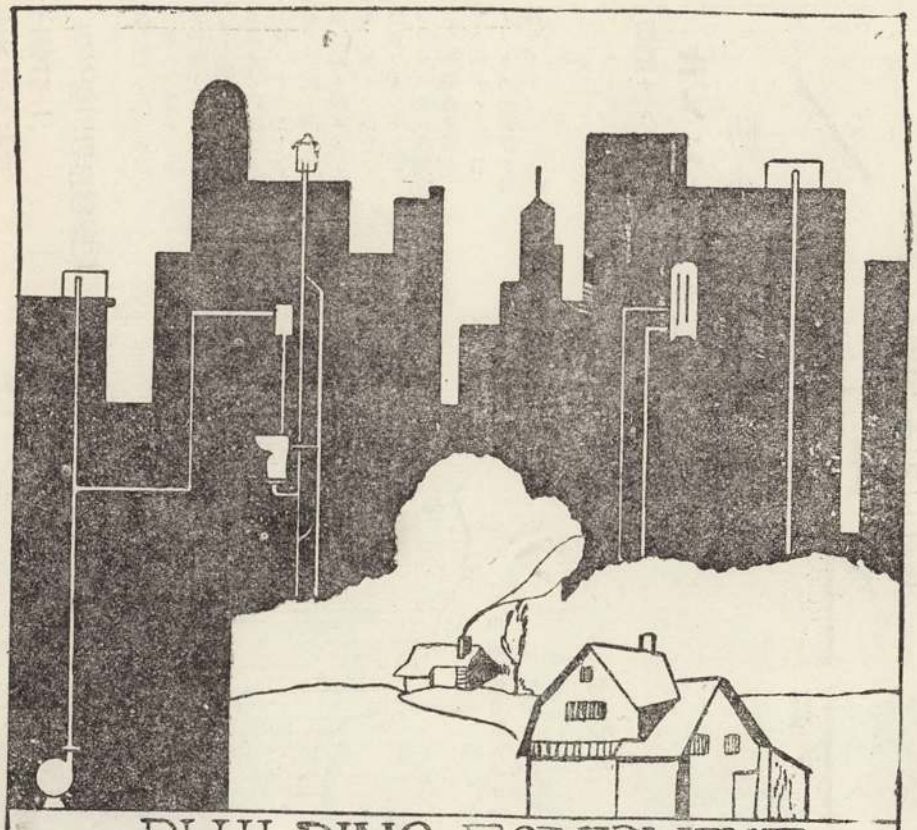
十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要

セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話 北(二一一五五)六番



BUILDING EQUIPMENT.

都市水道
衞生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

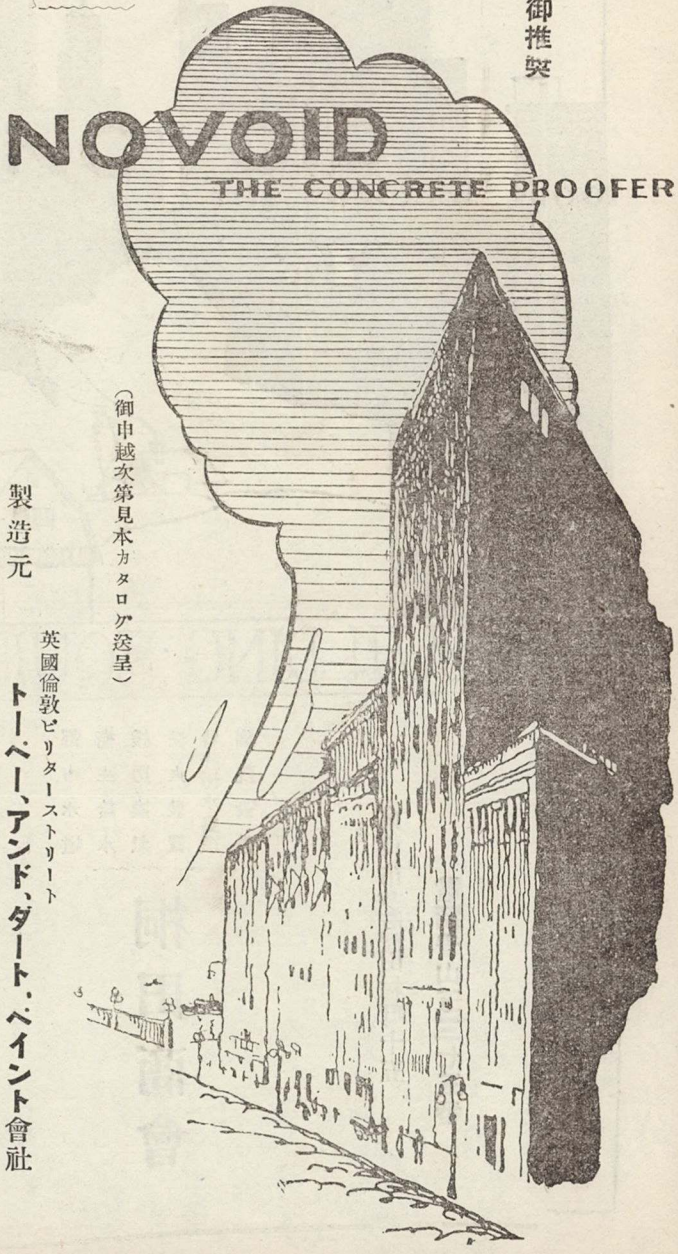
桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

土木界の權威
工學博士
吉本龜三郎氏御推奨

幾多防水劑中永遠ニ効果ヲ顯ハスモノ皆無ナル中ニ「ノーボイド」ハ吉本博士ノ詳細ナル調査ノ末大正十年輸入ヲ試ミ博士管掌ニ係ル總ユル工事ニ用ヒテ出色ノ價値アルコトヲ認メラレタル防水劑ニシテ本品ヲ得タルハ斯界ノ大福音ナリトノ御賞讃ヲ博セリ。



（御申越次第見本カタログ差呈）

英國倫敦ビリターストリート
トーベー、アンド、ダート、ペイント會社
製造元

日、鮮、滿、一手販賣元
兵庫縣明石市王子
日本工具製作株式會社
電話 明石四五〇番
振替口座 大阪五四〇五六番

大阪出張所
大阪市南區安堂寺橋通一ノ二六
電話 大阪船場七七三

新發明ナル理想的
セメント補強劑
防水、耐火、耐酸、防油。

ノーボイド

英國政府 專賣特許 第一四一一三號
日本政府 專賣特許 第四五二四九號

トンボ印（スコツブ、シヨベル）製造元
（建築金物、土工用具）

TRADE  MARK

高級藥掛タイル
專門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

㊫ 佐治タイル合資會社

電話長東 二二二三 六三三四 四四四〇 五二一番

工場電話東 四三四一 一二二番



塗裝工事請負
計設ニ並
賣販料材

松本商店

美壽本松主店

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内

電話土佐堀二九一・二一一五・三五〇九番

優良國産屋根材の權威

日之出便利瓦（ルーフイング）

◇耐水耐酸耐久
◇屋根葺用
◇地下室防水用

見本進呈

特許第二〇〇三四號

特許第三一〇二四號

（客貨車屋根用）
日之出印 パーマネントルーフ井ング
日之出印 アスファルトヘッシャン
日之出印 ビルデイングペーパー
日之出印 ルーフ井ング
日之出印 アスフワルトフエルト
日之出印 KSKアスクロース
日之出印 衛生疊下用紙

▲アスファルト防水工事請負

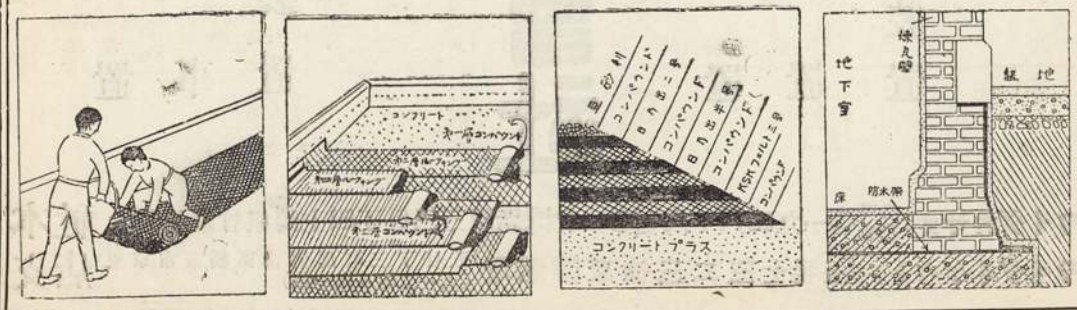
日本建築紙工株式會社

大阪出張所 大阪市南區塩町通リ二ノ一七
電話船場一六九〇番 三一二五番 四二七五番
振替口座大阪一〇一七六番

本社 東京市神田區小川町一番地
電話神田(25)□六三六、□六六三
振替口座東京二七〇五九番
電信略號（トウケフケイ）

工場 東京府北千住町四丁目元宿
話話千住七六番

（況實水防面斷室下地及根屋陸）



HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.

大和工業株式會社（ダイワ）

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置

以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

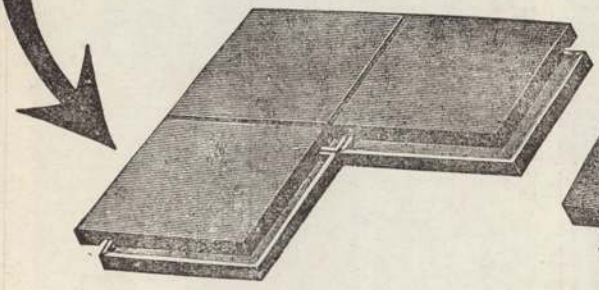
本社　大阪北區曾根崎上四丁目三三番地　電話北長一〇七八・六二九一番　略受語電（オサカサオ）
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五（六一二館互相一第）　電話京長三二三七番　略受語電（トウケウダイワ）

理想ノ陸屋根タイル現ハル

専賣特許　新案登録

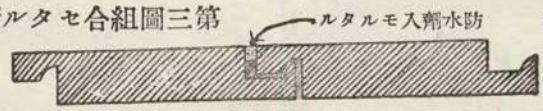
王子組合セタイル

第一圖組合セタイル表面　第二圖組合セ施工ノ圖

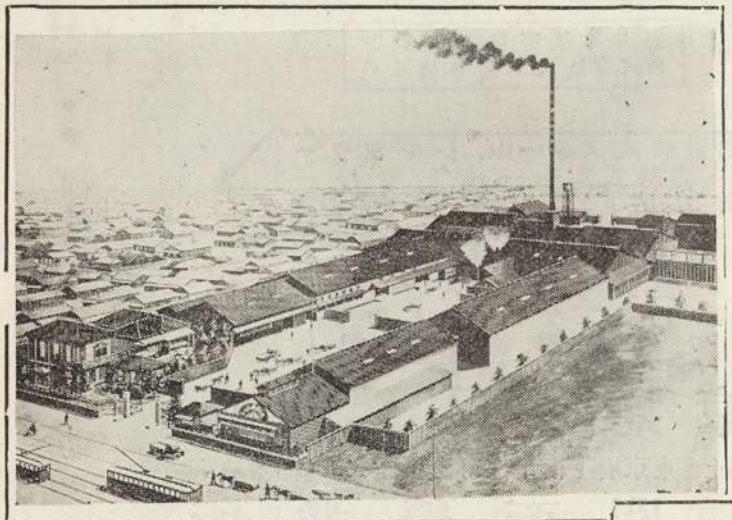


カタログ進呈

第三圖組合セタルノ斷面圖



敢テ專門各位ノ御比判ヲ乞フ



特長

原量は砂セメント防水劑及び石綿を配合す。

製造は一吋平方、四千ポンドの高壓なれば堅牢なり。

理想組合セ式なれば漏水の虞れなし。

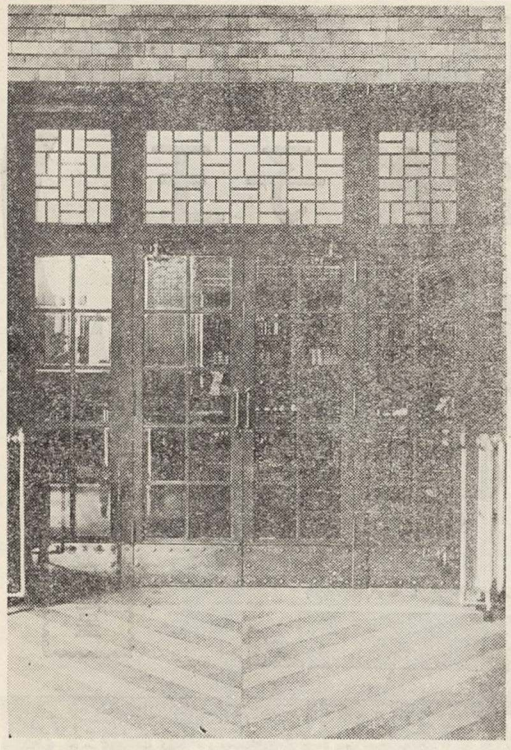
東京　王子

王子製瓦株式會社

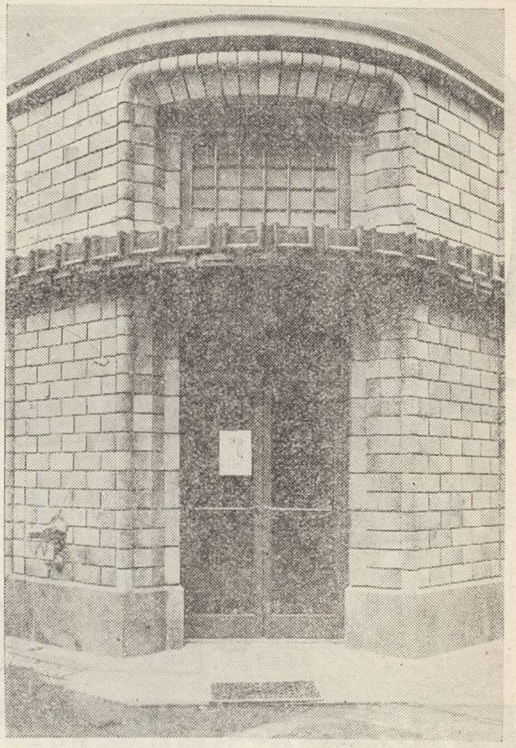
電話　特長小石川　一一番
　　長王子　二五一番
　　五一五五番
　　五七五番

◇營業品目◇

王子セメント瓦
王子組合セタイル
王子ストレート
石綿スレート
各種ツロプ



大阪高麗橋ビルデイング　玄關内スクリーン
弊製作所施工
資生堂森永ショーウインド造作工事



大阪高麗橋ビルデイング　南丸隅資生堂出入口
弊製作所施工

安井建築事務所御設計
株式會社大林組本店請負

◉建築ノ進歩ト防火ノ設備◉

請負

特許壽崎式スチール、シヤツター
特許壽崎式スチールドウワー
特許壽崎式上ケ下ケスチールサツシユ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製ショーウインドー
鋼鐵製スクリーン並ニ造作
鋼鐵製コンクリートドウワー
一般建築製飾金物製作

設計

◉東京横濱大阪ヲ主トシテ全國都市百卅數個所ニ御使用先ヲ有ス◉

東京鋼鐵扉製作所

本社　東京府下南千住町南千住433. 434番地

全關西營業所

大阪市東區上本町一丁目六番地
電話局東1309. 1310番

營業代表者　米山淺治
工場代表者　壽崎源太郎

優等防水材料

サーテンティード便利瓦（ルーフィング）

本品特徴
品質優秀
價格至廉

Certain-teed
Roofing



サーテンティード物産會社ハ世界ニ於ル最大ノ便利瓦製造業者ニシテ其ノ製品ハ世界各國代表的建物ニ使用セラレ如何ナル寒熱ノ氣候ニモ順應シテ其中心ニ軟質ヲ保チ永久ノ保存力ヲ維持スルハ建築界ニ於ケル衆知ノ事實ナリ

サーテンティード リノリユーム

本品ハ質ニ於テ和製品ヲ凌駕スルコト數等價又タ至テ廉ナリ



主なる御使用先

丸之内ビルヂング	三菱鑛業會社
日本郵船ビルヂング	久原鑛業會社
有樂館	横濱ユーナイテッド倶樂部
東京帝國大學	横濱スタンダード會社
駒場農科大學	横濱ライジングサン會社
同潤會柳島アパートメント	清水組
東北帝國大學	大林組
早稲田大學講堂	竹中工務店
上野松坂屋本舗	戸田組
三越呉服店	安藤組
東京女子大學	大倉土木會社
アメリカン、スクール	
三菱地所部	

日本總代理店　合資會社 **デゥエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番
大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

ミッウロコタイル

陶器タイル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミッウロコタイル	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		

専賣特許　硬質ビトロ人造大理石

ミッウロコタイル　現代式理想材料

玲瓏乳白色各色

陶器にあらず、硝子にあらず、練物にあらず。
絶對酸化せず耐電性なり。
永久に汚染、浸透、磨滅、傷損の憂ひ無し。
攝氏零度以下の長時間耐寒。
千度以下の熱に溶解せず。
壓力は鍛鐵壹倍半を有す。
硬化、風化の爲め龜裂は毫も呈せず。
耐酸の爲め副作用を起さず。
膠着モルタル、セメントにて頗る自在。
色澤全部均一にして變色不揃一切無し。
萬代不朽にして堅牢無比價額低廉。
五寸角尺角あり切斷自在。
張上の感じ高尚優雅大理石以上
硬度モール氏硬度計6。
重量五寸角廿七匁運搬安全荷造

使用最適應着側張敷張共陶器タイルと同様にして最も良き使用向は、商品陳列臺、溫泉浴場、外科手術室、治療室、醫院藥局、病室、洗面場、浴室、便所、內外壁張、床廊下敷、カウント臺、銀行客溜、學校化學室、天秤臺、ストブ前飾張、ソーダファウンテン、食堂、食卓、理髮店、牛乳店、電話板、玉臺用、炊事場、等。
大理石と比べ光澤消滅、錆、磨滅の怖れ無し張付仕樣圖面御送付あれば長三尺巾二尺厚三分以上二寸迄仕上設計見積致候

専賣特許　三ッウロコタイル工業所

大阪市西區新町南通一丁目四番地

電話新町四三五四番

中國九州北海道朝滿鮮洲　代理店

岡山市紺屋町一丁目　小倉市大阪町十目　函館市末廣町　朝鮮忠清南道公州常盤町

太田周作商店
杉本商店
金森商事株式會社
谷源次郎廣



製産額東洋第一
模範的品質優良

淺野セメント株式會社

資本金壹億六百參拾壹萬圓
年産額壹千貳百萬樽

本店　東京市麹町區永樂町
支店及工場　東京、門司、川崎
北海道、臺灣、大阪

大阪支店

營業所　大阪市北區堂島ビルヂング三階
電話　北三一九八番
工場　大阪市西成區津守町二九一
電話　櫻川九〇八番
九三五番

新革之料材"壁"

特許

専賣

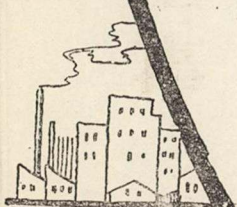
品質優良

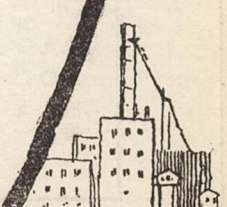
價格低廉

アサダセメント・プラスター

飾磨化學工業株式會社

アサダ・白色ポートランド・セメント





兵庫縣　飾磨町

新案

平安瓦發賣元

瓦

佐村木勝吉

品目
各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業
土管各種
壺、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

大阪市東區材木町五十一番地
（入へ北詰東橋寺寶久）
電話東三六一〇番

電燈
電熱
配線工事

器具製作請負

大阪市北區相生町一〇一番地

波根田電氣商會

電話東一六九五番

（設計見積ノ御用命ハ當店へ）

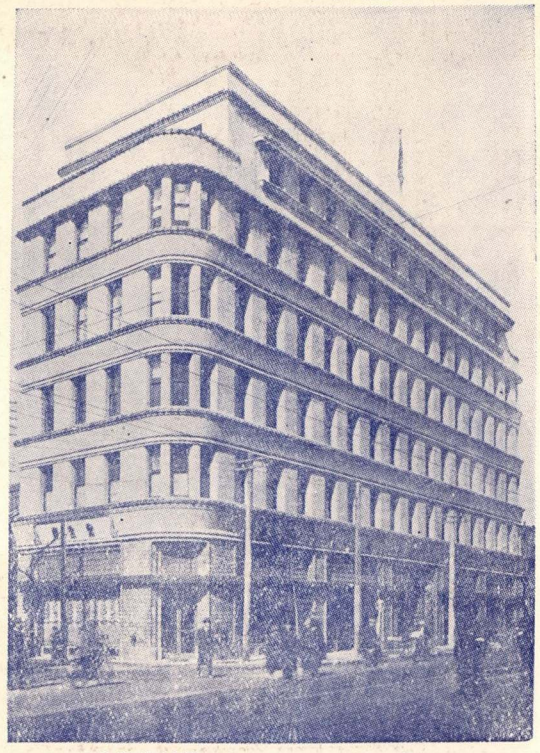
電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐
設計製作
据付諸工事

..TRADE MARK..

資本金 大阪東区今橋貳丁目一三番地
株式會社 オキナ商店
代表社員 小川繁太郎
電話本局 一三一八九 五九三二番
振替大阪 二〇六一一番

特約 インターナショナル石油發動機
おのくち式A1型渦巻ポンプ
深井戸用各種ポンプ・ベリル
グラインダー・マグネット・ヘッチール

高麗橋野村ビルデング



東京建鐵◆◆◆製造◆

三機工業◆◆◆販賣◆

田島式スチールサッシ及各種製品御使用

営業種目ノ一部

特許田島式スチールサッシ	
同	スチールファイヤーカーテン
同	スチールドアー
同	スチールシャター
同	防火扉及一般建具金物
特許瀬川式スチールバランスサッシ	

東京建鐵株式會社
東京鋼板工業株式會社

三機工業株式會社 總代理店

本店　東京市麹町區內幸町大阪ビル內
　　電話銀座(57)五三三〇(5)
支店　大阪市東區備後町野村ビル內
　　電話本町(24)一一六六
　　一五二五

特約店

函館市會所町	清水營業所
名古屋市中區西瓦町	鈴木商店
福岡市春吉一番丁	木村商店
臺北市京町三丁目	高進商會

産業ノ合理化
事業經營ノ分業
優秀品ノ廉價提供

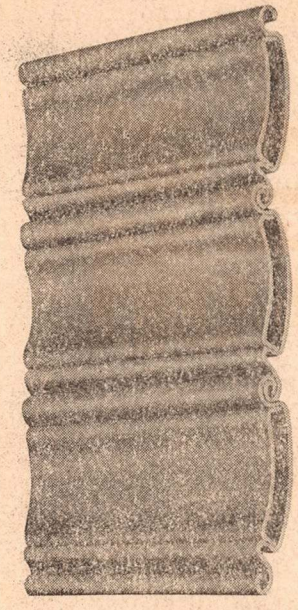
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

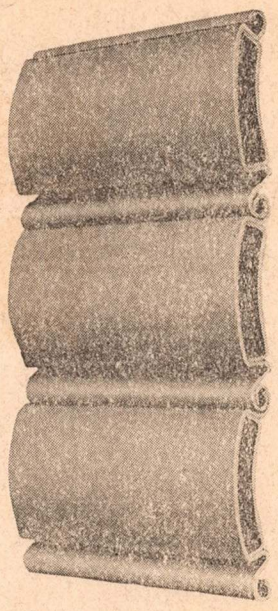
米國特許出願

日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）





大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果熟の傳導の遲いのか著しい特徴であつた。

2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。

3 ホロー式を DREADNOUGHT SHUTTER と英國人は評した。

4 ホロー式は卷徑が少さく素直に釋れて下る。

5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。

6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。

7 機械は精巧、函蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日

◉名古屋市御器所町

南消防署

◉昭和貳年參月廿五日

1 ホローシヤタア三號型鎖引

2 巾 二十二尺 高 十二尺出來上り寸法

3 シヤタア重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百

4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ

5 上下時間 輕く手繰て廿秒

◉取付けの結果◉

丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎してゐる

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五

建築金物商會

支店 京都市東山通月見町二